

第七十四回帝國議會
衆議院
森林法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第五回

付託議案
森林法中改正法律案(政府提出)
林業種苗法案(政府提出)

會議

昭和十四年二月十六日(木曜日)午前十時十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 小山邦太郎君

理事長野 綱良君 理事馬岡 次郎君

理事池田 清秋君 理事北 勝太郎君

理事小山田義孝君

松尾 四郎君 松浦周太郎君

伊藤 五郎君 深澤 吉平君

北原阿智之助君 卯尾田毅太郎君

村瀨 武男君 篠原 義政君

松尾 孝之君 猪野毛利榮君

森 榮藏君 山川頼三郎君

稻田 直道君 中田 儀直君

永山 忠則君 伊禮 肇君

川俣 清音君 小田 榮君

出席國務大臣左ノ如シ

文部大臣 男爵荒木 貞夫君

出席政府委員左ノ如シ

農林政務次官 松村 謙三君

農林省山林局長 村上富士太郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

農林技師 太田勇治郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

森林法中改正法律案(政府提出)

林業種苗法案(政府提出)

○小山委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、伊藤君ノ發言ヲ求メマス、伊藤君ニ御願ヒ致シマスルガ、文部大臣ハ他ノ委員會ニ御出席ノ都合ガアリマスルノデ、文部大臣ニ對スル御質問ガアリマシタラバソレカラ初メニ御發言ヲ願ヒタイト思ヒマス

○伊藤委員 私ハ先ヅ一番最初ニ文部大臣ニ御尋フ致シタイト思フノデアリマス、今更申上ゲルマデモナク、森林ハ治山治水ノ根源デアリマシテ、國土ノ荒廢ヲ防ギ、重要ナル資源ノ供給ニ缺クベカラザルコトハ勿論デアリマスケレドモ、一面山林地方ハ愛國土心ニ富ンデ居ル所ノ、健全ニシテ而モ忍耐力、強イ軍隊ヲ養成スル搖籃ノ土地デアアルノデアリマス、曾テ「ムッソリニ」ハ山林地方ノ軍隊ハ國寶ナリト絶叫致シタコトガアルノデアリマス、私ハ是ト同様ニ、我國ニ於テモ亦山林地方ノ軍隊ハ國ノ至寶デアルト斷言ヲ致シマシテモ敢テ過言デハナイト確信ヲ致シテ居ル者デアリマス、此ノ觀點ヨリ見マスルナラバ、森林政策ハ正ニ

戰時體制下ニ於ケル最も重要ナル國策ノ一ツトナツテ參ツタノデアリマス、而シテ此ノ國策ヲ遂行セントスルニ當リマシテハ、私ハ先ヅ小學生ハ勿論ノコト、國民全般ニ對シマシテ、愛國愛國土ノ精神ヲ涵養シ、舉國一體トナツテ造林ニ精進スベキコトヲ教ヘナケレバナラナイト存ズルノデアリマス、斯ル意味ヲ以テ私ハ昨年ノ第七十三帝國議會ニ於テ、全國一千万人ノ小學兒童ニ對シマシテ、植樹ヲナサシメ、小學校林ノ造成ヲナサントスル所ノ建議案ヲ提出致シタノデゴザイマス、小學校林ノ目的トスル所ハ、集團的勤勞奉仕ノ作業ニ依リマシテ、小學兒童ニ春秋二季植樹ヲナサシメ、以テ森林ハ治山治水治國ノ大本タルコトヲ兒童ニ認識セシメ、愛國土、愛林心ヲ養成シ、且ツ植付ケタ所ノ樹木ガ、風雨霜雪其ノ他幾多ノ困難ト闘ヒナガラモ、尙且ツ著々トシテ成長シ、遂ニ國家有用ノ材トナルコトヲ兒童ニ示シ、忍耐、建設、向上ノ心ヲ涵養シ、健全ナル精神力ト強健ナル體力ヲ有スル所ノ大國民ヲ作り、而シテ併セテ四五十年後ニハ一小學校少クトモ一萬圓以上ノ基本財産ヲ造成シ、行詰ツテ居ル教育費ノ一

助ニ資セント致シタノデアリマス、是レ即チ小學校林ノ目的トスル所デアツタノデアリマス、而シテ昨年ノ議會ニ於キマシテ今日オ居デニナツテ居リマスル所ノ村上山林局長ハ、私ノ此ノ提案ニ對シマシテ雙手ヲ舉ゲテ御贊成シテ下サレマシテ、一日モ早ク之ヲ實現スル旨ヲ誓ハレタノデゴザイマス、其ノ後農林當局ハ此ノ議會ノ一言明ヲ實現セント致シマシテ、直チニ小學校及ビ分教場ニ對シマシテ、一町歩以內ノ國有林ヲ五十年ノ間無償ニテ貸付ケマシテ、財政ノ豊カナラザル所ノ小學校ニ對シマシテハ、無償ニテ苗木ヲ交付シテ、小學校林ヲ造成スルコトニ御努力ナサツテ居ラレルノデアリマス、而シテ今ヤ全國各地ニ著々トシテ其ノ實現ヲ見ツツアルト云フコトハ、正ニ農林當局、特ニ村上山林局長ノ一大英斷デアリマシテ、私ハ眞ニ感謝感激ニ堪ヘナイノデアリマス、私ハ茲ニ全國小學校長ヲ代表致シマシテ厚ク御禮ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、就キマシテハ、私ハ此ノ際文部大臣ニ御願致シタイノハ、文部大臣ハ毎年四月十六日ノ植樹「デー」ニハ必ず自ラ樹ヲ植エラレマシテ、天下ニ愛林思想ノ必

要ナルコトヲ御示シニナツテ居ラレルト云フコトヲ聞キマシテ、私ハ洵ニ敬服致シテ居ルノデアリマス、此ノ際荒木文部大臣ハ、櫻内農林大臣ト協力セラレマシテ、直チニ全國小學校長ニ對シマシテ通牒ヲ發シ、小學校林ノ造成ヲ勸說致シ、而シテ第二ノ國民タル所ノ全國一千万人ノ小學校兒童ニ對シマシテ、悉ク樹植ヲナサシメ、而シテ集團的勤勞奉仕ノ作業ヲ體得セシメ、以テ愛林、愛國土ノ精神ヲ涵養シ、大國民タルノ素地ヲ作ル考ハアリマセヌデアリマセウカ、願ハクハ荒木文部大臣ハ、此ノ際小學校林ノ目的ヲ能ク御酌取り下サイマシテ、教育ノ刷新ノ意味ニ於テモ一日モ速ニ此ノ小學校林ノ造成ニ付テ一大努力ヲセラレンコトヲ私ハ希望シテ、荒木文部大臣ノ御答辯ヲ得タイト思フノデアリマス

○荒木國務大臣 愛林、造林ノ國家興隆ノ上ニ必要ナ點ニ付キマシテハ全然御同感デアリマス、西班牙ノ過去、支那ノ過去、明カニ此ノ點ヲ物語ツテ居ルノデアリマシテ、殊ニ我國ニ於テハ、斯ノ如キ地勢ノ上カラ、若シ夫レ林業ガ荒レテ無統制ニ濫伐ヲセラレル時ニハ非常ナ恐ルベキ結果ヲ生ジテ、急速ニ我ガ此ノ天然ノ寶庫ハ荒レ果テルモノト私ハ深く信ジテ、此ノ點ニ付テハ全然

御同感デアリマス、隨テ小學校ニ林業ニ關スル思想ヲ植付ケ、又今御提案ニナツテ居リマスル小學校ノ所有林ヲ全國ニ普及スルコトニ付テモ全然御同感デアリマス、現在二万六千校バカリノ小學校ノ約四分ノ一即チ五千校量カラ考ヘマスルナラバ、又所有面積等カラ考ヘマスルナラバ、必ズシモ大トハ言ヘナイノデアリマス、豫ネテ、造林ニ依ル小學校ノ收入ト云フモノガ、約十五年後ニハ十分ノ收入ヲ得テ、其ノ結果可ナリ成績ヲ擧ゲテ居ル所モアルヤウニ聞イテ居リマス、昨年來前農林大臣トモ此ノ點ニ付テハ常ニ交渉モシ、話合モシ、諒解ヲ得テ居ルノデアリマス、昨年集團勤勞ノ際ニモ此ノ點ニ觸レテ特ニ此ノ事ヲ獎勵シタノデアリマス、隨テ今御要望ノ點ハ一ニ農林省ノ方デソレダケノモノガ融通出來ルカ否ヤノ問題デアリマス、ソレカラ或ハ地方的ニモ見合セテ出來得ル限り速ニ全小學校ガ悉ク學校林ヲ有スルヤウニスルト云フコトニ付テハ十分ノ努力ヲ拂ツテ見タイト思ヒマス、同時ニ愛林思想ニ付テハ、昨年モ、休暇若クハ夏季ノ林間教育ト云フヤウナ際ニモ、苟モ山ニ行クナラバ、或ハ神社ニ行クナラバ、或ハ荒地ニ行クナラバ、一本ヅツ木ヲ持ツ

テ行ツテ植エタラ宜カラウ、其ノ苗木ノ準備ガ取敢ヘズ必要デアル、是ハ地方ノ資産家、名望家ニ苗木ヲ一ツ準備シテ戴ク必要ガアルノデヤナイカ、斯様ナ方法ヲ以テ此ノ點ヲ十分ニ普及サセタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、御意見ノ點ハ出來ルダケ農林省ノ方ト能ク打合セマシテ實現ヲスルヤウニ圖リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○伊藤委員 文部大臣ノ御理解アル御答辯ヲ戴キマシテ洵ニ感謝ヲ致シマス、就デハ御承知ノ如ク小學校林ハ大體今日一町歩ト決ツテ居ルノデアリマス、一町歩デハ一小學校全生徒ニ對シマシテ植林ヲ爲サシムルニ洵ニ狭イノデアリマス、ソレデハ此ノ小學校林ノ眞ノ目的ヲ達成スルコトハ中々難カシイト思フノデアリマスルカラ、此ノ際文部大臣ハ一ツ國策ノ見地カラ農林大臣ニ相談ナサレマシテ、一町歩ヲ三町歩乃至五町歩マデ擴張シテ戴ク所ノ御熱意ヲ持ツテ戴キタイト思フノデアリマス、之ニ對シマシテドウ云フ考ヲ御持チデゴザイマセウカ

○荒木國務大臣 事ハ農林省ノ方ノ關係ガ多クナルト思ヒマス、十分農林大臣ト相談ヲ致シマス、又豫ネテ聞イタ所デハ或ル程度マデサウ云フコトガ出來ルヤウニモ聞イテ居リマシタケレドモ、又細カイ數字ニ互

ツテ居リマスカラ、農林當局ノ意見モアラウト思ヒマス、能ク打合セマシテソレ等ノ點ニ付テモ十分考慮シテ見タイト思ヒマス

○伊藤委員 此ノ小學校林ノ造成ニ付テハ非常ニ農林當局ガ御奔走下ツテ居ルノデアリマスルケレドモ、實ハ此ノ管轄ハ文部大臣ニナツテ居ルノデアリマス、隨テ文部大臣ヨリ全國小學校長ニ對シマシテ、一日モ早く小學校林ヲ造ルト云フ一ツノ通牒ヲ發セラレナイト、中々其ノ實現ガムヅカシイノデアリマス、私ハ大體全國ヲ廻リマシテ様子ヲ聞キマシタ所ガ、文部省カラマダ何等御話ガナイ爲ニ實ハサウ云フコトヲヤツテ宜イノカ惡イノカ分ラナイノデ躊躇シテ居ルト云フ所ガ非常ニ多カツタノデアリマス、ソコデ此ノ際文部大臣ハ一日モ早く即刻全國ノ小學校長ニ此ノ御通牒ヲ御發シ下サル御熱意ガゴザイマセウカ、之ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○荒木國務大臣 今御話ノ學校ノ方デ文部省カラ言ツテ來ルノヲ待ツト云フヤウナ學校ノ熱意デハ、與ヘマシテモ枯果テタ所ガ出來ルノデハアリマスマイカ、是等ニ付テハ昨年十分意思ハ通ジテアル筈ダト思ツテ居リマス、公式ニ斯様ナコトヲ言ウテ地方デ困ル場合モアリハシナイカト云フヤウナ

コトヲ顧慮シテ——サウ云フコトヲヤル意
思ガアレバ、尙ホ速ニ其ノコトニ著手シタ
イト思ヒマス、尙ホ今ノヤウナ事情ガアリ
マスレバ、能クソレ等アタリモ考ヘマシテ、
或ハコナカラ農林省ノ方ト打合セマシテ、
十分ニサウ云フヤウナコトガ出來ルコトノ
見込ガ付キマシタラ、コナカラ積極的ニ
指導スルヤウニ致スコトモ考ヘテ見タイト
思ヒマス

○伊藤委員 更ニ文部大臣ニ御伺致シタイ
ノハ皇紀二千六百年ヲ記念ト致シマシテ、
此ノ小學校林ノ外ニ、全國小學校ハ勿論ノ
コト、青年學校、中學校、高等學校、大學
校或ハ高等女學校ニ對シテマデモ、一ツ記
念事業林ヲ御設定ニナツテ、愛林愛國土ノ
精神ヲ涵養シテ、大國民ヲ作ルト云フ御意
思ハゴザイマセヌデセウカ

○荒木國務大臣 現在若干ノ學校デハ持ツ
テ居ル所ガアルヤウデアリマス、是モ非常
ニ宜イ記念ノ問題デアリマス、而シテ何年、
何十年、何百年、手ヲ觸ルベカラザルト云
フヤウナ記念的ノモノヲ作りマシタナラバ、
非常ニ意義ノアルコトト思ツテ居リマス、
ソレモ一ツ十分ニ考ヘテ、出來得ル限リサ
ウ云フヤウナ實現モ圖ツテ見タイト思ツテ
居リマス

○小山委員長 伊藤君、一寸申上ゲマスガ、
文部大臣ハ是カラ貴族院ノ方ニ御出席ニナ
ルコトニナツテ居リマスガ、宜シウゴザイ
マスカ

○伊藤委員 ソレデハモウ一點ダケ御伺致
シマシテ私ノ文部大臣ニ對スル質問ヲ終リ
タイト思ヒマス、私ハ小學校ニ於ケル教科
書ヲ全部調べテ見タノデアリマス、然ル所
殆ド愛林思想ニ關スル教材ガ掲載セラレテ
居ラナイノデアリマス、是ハ私ハ是カラノ
日本ニ於テハ果シテドウデアアルカト頗ル疑
ツテ居ルノデアリマス、就テハ此ノ際何等
カノ方法ニ於テモウ少シ愛林、愛國土ノ精
神ヲ涵養スル所ノ教材ヲ載セテ載キタイト
云フコトヲ考ヘマスガ、之ニ對シテ文部大
臣ハ如何ニ御考ニナリマスカ

○荒木國務大臣 學校林ヲ有スルコト、竝
ニ森林ニ對スル理解ヲ持タスコトハ、單ニ
國ヲ治メル上ニ、或ハ財産ノ上ノミナラズ、
情操教育ノ上ニモ非常ニ必要デアリマス、
是等ニ對シテハ最近ハ殊ニ力ヲ入レテ居リ
マスルガ、今マデノ教科書アタリハ、殊ニ
國定教科書制定ノ理由カラ致シマシテ、一
般ノ知識涵養ニアル爲ニ細カイ所ニハ行届
キ兼ねテ居ル點ガアツクラウト思ヒマス、
而シテ又多少林業等ニ關シテハ書イテアリ

マスルガ、愛林ト云フヤウナ所マデ徹底シ
テ居ラスコトハ御話ノ通りデアリマス、只
今申述べタヤウニ、殊ニ昨今ハ此ノ必要ヲ
私ハ痛切ニ感じマスノデ、今後ノ教科書ノ
改訂等ニ當ツテハ十分考慮シテ、サウ云フ
ヤウナコトモ入レテ見タイト考ヘテ居リマ
ス、又御熱心ナ御質問ガアリマシテ、丁度
好イ機會デアリマスノデ、私ノ方カラモ一
ツ御願シテ置キタイト思ヒマスコトハ、小
學校ノ生徒ニ愛林思想ヲ植付ケルコトモ結
構デアリマスガ、小學校ノ生徒ガ生長スル
マデニ私等ハ我國ノ森林ニ對シテ一ツノ
危機ヲ感ズルノデアリマス、御承知ノヤウ
ニ、最近外國ノ「パルプ」モ入ツテ來スト云
フヤウナ爲ニ、可ナリノ各方面ノ森林ハ伐
採セラレル契約ニナツテ居リマスガ、無論
計畫的ニハ出來テ居ルヤウデアリマスケレ
ドモ、之ヲ本當ニ監視スルコトガ困難デア
ル爲ニ思ハザル障礙ガ起ラナイカト思フ、
國策的ニ「パルプ」ヲ得ル必要ガアルノデアリ
マスルガ、一ツ大人教育ヲ此ノ際シテ、子
供ガ大キクナルマデニ森林ガ無クナラヌヤ
ウナコトモ大イニ考ヘテ貫ヒタイト思フノ
デアリマス、吾々モ十分ニサウ云フコトニ
對シテ努力モ致シマスガ、サウ云フ方面カ
ラモ一ツ十分ニ普及サセルヤウニ御願モ致

シテ見タイト、斯ウ云フヤウナ考ヲ持ツテ
居リマス

○伊藤委員 只今文部大臣ニ對スル質問中
ニモ申上ゲマシタ通り、私ハ小學校林ノ造
成ニ付テ農林當局ノ御執リ下サツタ英斷ニ
對シマシテ滿腔ノ謝意ヲ表スル者デアリマ
スケレドモ、實ハ一小學校一町步デハ洵
ニ狹隘デアアルノデアリマス、ドウカ此ノ際
一步ヲ進メマシテ、一小學校ニ對シテ少ク
トモ三町步乃至五町步ノ國有林ヲ無償ニテ
貸付ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、是ハ
決シテ私人ノ要望デハナクテ、實ハ本委
員長小山代議士モ亦熱烈ニ之ヲ要望致サレ
テ居ル所デアリマス、全ク委員全部ガ斯ウ
云フコトヲ熱烈ニ要望致シテ居ルノデアリ
マスルカラ、一ツ特ニ此ノ際農林政務次官
カラ御答辯ヲ得タイト思フノデアリマス
○松村政府委員 其ノ點ニ付キマシテハ皆
サンノ御希望モアリマスシ、又實際學校ノ
必要ニ應ジテハ吾々モ考慮ヲ致シタイト思
ヒマス、果シテサウ云フノヲ全部無料デ出
來ルカ否カト云フコトハ別デアリマスケレ
ドモ、必要ナ面積ヲ心配致シマスコトハ只
今文部大臣カラモ御答辯ガアリマシテ、農
林當局ト篤ト相談スルト云フコトデモア
リマシタカラ、私ノ方モ文部省ト打合セテ

致シマシテ、其ノ必要ガアルヤウデアリマシタナラバ、殊ニ委員會ノ御希望ガサウデアリマスナラバ、能ク考慮ヲ致スコトデゴザイマス

○伊藤委員 次ニ御同致シタイノハ、先程ヤハリ文部大臣ニモ質問致シタノデアリマスガ、此ノ皇紀二千六百年記念事業ト致シマシテ、此ノ際農林當局ニ於テハ市町村青年團、消防組其ノ他ノ公共團體ニ對シマシテ、部分林ノ性質ヲ有スル大規模ナル一大記念事業林ヲ設定スル御意思ガアルカドウ

カト云フコトデアリマス、私ハ是ハ愛林愛國土ノ精神ヲ涵養スル上ニ於テモ、最モ必要デハナイカト痛感ヲ致シテ斯ウ云フ質問ヲスルノデアリマスカラ、ドウカ御答辯ヲ願ヒタイと思ヒマス

○松村政府委員 此ノ國ノ大キナ記念ニ當リマシテ、斯ノ如キ企テハ先程文部大臣モ御答辯ニナリマシタ通り、極メテ適切ナ事業デアルト考ヘマス、隨テ只今御話ノ通り部分林ト致シテ相當ナ面積ヲ地方ノ町村或ハ公共ノ團體ニ提供致シマスコトハ、當局モ考慮致シテ居リマス、併シナガラソレハ其ノ町村ニアリマス國有林ノ状態ニモ依ルコトデアリマスシ致シマスカラ、一樣ニハ參リ兼ネルトハ思ヒマスケレドモ、相當

ナ廣イ面積、例ヘバ二三十町歩ト云フヤウナ一ツノ範圍ニ於キマシテ、斯ウ云フ國ノ祝ノ本當ノ記念ニナルヤウナコトハ、當局トシテモ考ヘタイと思ツテ居リマス

○伊藤委員 只今農林政務次官ヨリ、サウ云フ記念事業林ヲ造ル計畫ノアルコトヲ承リマシテ、洵ニ私ハ有難ク思ツテ居ル次第デアリマス、願ハクハ一日モ早く是ガ造成ニ御努力アラシコトヲ希望致シマス、次ニ……

○松村政府委員 一寸御話中デアリマスガ、只今ノ事ニ付キマシテ、當局ヨリ今少シク詳シイ考ヘ方ヲ申上ゲテモ宜シウゴザイマス

○伊藤委員 是非此ノ際山林局長ヨリ詳シイ計畫ノ内容ヲ御發表セラレンコトヲ希望スルノデアリマス

○村上政府委員 是ハ町村ノ希望ニ依リマスコトデアリマシテ、私共ノ方カラ押付ケルト云フヤウナコトハ致サヌノデアリマス、ソコデ勿論其處ニ適當ナ國有林ガ無ケレバイケナイノデアリマス、國有林ガアツテモソレガ保安林等デ今造林ニ適スルヤウナ土地ガ無イト云フヤウナ所ハ是ハドウモ出來マセヌガ、適當ニ造林ニ適スルヤウナ土地ガアリマスナラバ、大體今政務次官ノ申サ

レマシタヤウニ、一町村二三十町歩位ヲ所デ、地元ノ町村又ハ青年團、在郷軍人其ノ他適切ナル所ノ公共團體、要スルニ此ノ二千六百年ノ記念ノ爲ニ造林スルニ適切ナル所ノ、サウ云フヤウナ市町村若クハ地元ノ團體カラ出願ガアリマス場合ニ於テハ、之ヲ部分林トシテ設置ヲ認メヨウ、サウシテ是ハ苗木ノ手配其ノ他ノコトモアリマスカラ、出來得レバ此ノ春植エカラ實行ガ出來レバ一番都合ガ宜シイ、斯ク思ツテ居リマス、ソレデ私共ノ方モ之ニ對應スルヤウニ既ニ手配ヲシテ居リマス、ソレデ苗木等ニ付キマシテモ出來得レバ私共ノ方デ養成シマシタ苗木ノ一部過剩ニナリマシタモノヲ拂下ゲテ、割合ニ廉價ニ手ニ入ルヤウニ致シタイト、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○伊藤委員 村上山林局長ノ重ネノ御英斷ニ對シマシテ敬意ヲ表シマス

次ニ私ハ愈々此ノ森林法中改正法律案ノ本問題ニ入ラウト思フノデアリマス、此ノ改正法律案ヲ拜讀致シマシテ、私ガ一番感じタコトハ、農林當局ハ何故ニ此ノ公私有林或ハ社寺林ガ無立木地トシテ放任セラレテ、而シテ何故ニ斯ノ如ク早伐濫伐ガ行ハレテ居ルト云フコトヲ檢討セラレテ居ナカッタカト云フコトヲ疑フノデアリマス、我國内

地ノ各府縣市町村、公私有林、其ノ中無立木地トシテ是カラ造林ヲシナケレバナライ場所ハ約三百万町歩モアルト云フコトハ既ニ御承知ノコトト思フノデアリマス、而シテ此ノ三百万町歩以上ノ莫大ナ荒廢林野ヲ多年放任スルノ已ムナキニ至ツタ所ノ根本ノ理由ハ、正シク資金難ニアルト信ズルモノデアリマス、今此ノ公私有林其ノ他ノ社寺林ガ造林ヲ急務トスルモノ三百万町歩ナリトスル時ハ、造林資金ハ少クトモ三億圓以上四億圓カラノ資金ヲ準備シナケレバ到底是ガ實行ハムヅカシイト私ハ思フノデアリマス、假ニ之ヲ二十箇年ノ繼續事業トスルナラバ、一年二千万圓以上ノ造林資金ヲ準備シナケレバ、到底此ノ造林事業ノ完成ハ不可能デアラウト考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、併シナガラ今日ノ市町村公共團體ノ現在ノ財政状態ニ於テハ到底自力ヲ以テ造林資金ヲ捻出スル方法ハ殆ド絶望ノ状態ニアルノデアリマス、私有林モ亦是ト同様デアツテ、自分ノ力ヲ以テシテハ造林ヲスルコトハ絶對ニ出來ナイト言ツテモ過言デハナイト私ハ思ヒマス、之ヲ要スルニ現在ノ如ク財政状態ガ窮乏シテ居ル所ノ山林經濟ノ實情デハ、年々伐採スル所ノ跡地ノ造林費ヲ、或ハ幾分支出シ得ル所ノ力ハアル

カモ知レマセヌケレドモ、在來ノ三百万町歩ト云フヤウナ廣大ナル荒廢林野ヲ造林スル所ノ造林資金ハ全ク無イモノト私ハ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、然ルニ此ノ法案ヲ見マスルト、此ノ根本的ナ問題ニ觸レテ居ナイノデアリマス、農林當局ハ一年百

云フ荒廢地ハ其ノ儘放任シナケレバナラナイト云フコトニナルノデアアル、然ラバ此ノ森林法改正ノ根本目的ハ達成出來ナイ、私ハドウシテモサウ思ハザルヲ得ナイノデアリマス、之ニ對シマシテ農林當局ハ如何御考ニナツテ居リマセウカ

○松村政府委員 御話ハ御尤デアリマス、

併シナガラ實際ニ於テハ三百万町歩ト申ス數字ニハナラヌノデアリマシテ、私共ノ見テ居リマスノハ約百六十町歩ヲヤリマスレバ大體造林ノ目的ガ達成スルノダ、斯ウ云フ風ニ見テ居リマス、併シナガラ三百万町歩デアリマセウトモ、百六十町歩デアリマセウトモ、御話ノ通りニ金融ノ途ノ如何ガヤハリ此ノ事業ノ目的ヲ達スルカ達セヌカト云フ大キナ原因ヲ成スコトハ申スマデモアリマセヌ、併シナガラ其ノ造林費ノ總テヲ國ガ心配シナケレバナラヌト云フ位ニハ吾々ハ考ヘマセヌノデ、助成スベキ點ハ只今ノ金額デハ足りマセヌカラ、是ハ年々増スト云フ考ヲ持ツテ居リマスケレドモ、又民間ニ於キマシテモ、相當ニ此ノ資金ニ付テハ經營者自身ガ考ヘナケレバナラヌコトト思ヒマス、現ニ造林ノ中ニモ今日マデト雖モ相當ニヤハリ無立木地ヲ栽植シマストカ、伐採ノ跡ヲ自分デ植樹致シテ居

ル譯デアリマスカラ、民間ニ全然其ノ力ガ無イトハ私共ハ申サレスト思ヒマス、隨テ之ニ對シテハ其ノ安イ資金ヲ如何ニ供給シテヤルカト云フコトガ、大切ナ問題デアリマシテ、是ハ昨日モ申上ゲマシタ通りニ此ノ森林金融ノ機關ヲ特ニ設ケテ、サウシテ造林ニ遺憾ナカラシムルコトガ何ヨリ必要デアアル、昨日モドナタカラカ御話ガアリマシタガ、寧ロ其ノ方ガ先キデハナイカト云フ御話ガアツテ出來得ルナラバ、是ト並行シテヤルコトガ出來タラ手際ガ宜カツタカモ知レマセヌガ、事實ニ於テハ是ハ此ノ方ガ先キニナリマシタガ、併シ省內ニ於キマシテモ既ニ調査會ヲ設ケテ研究ヲ致シテ居リマスカラ、次ノ機會ニハ必ズ其ノ金融ノ方法ヲ確立スルト云フコトガ出來得ルト吾々ハ思ツテ居リマス

○伊藤委員 農林省ニ於テモ既ニ此公私有林、社寺林所有者ニ對シマシテ金融ノ途ヲ講ジナカツタナラバ完全ナル造林國策ノ徹底ヲ期スルト云フコトハ不可能デアルト云フコトハ御認ニナツテ居ルヤウデアリマス、仍テ私モ農林政務次官ト同様一日モ早ク此ノ金融機關ヲ設立スルト云フコトガ一番ノ急務デハナイカト信ズル者デアリマスガ故ニ、願クハ直ニ是ガ設立ノ爲ニ御努力アラ

シコトヲ御願致スノデアリマス
儲テ私ハ此ノ改正案ニ付テ最モ根本的ノ缺陷ハ金融難デアラウト思ヒマスカラシテ、之ニ關聯致シマシテ、次ノ質問ヲ致シテ見タイト思フノデアリマス、第九條ノ此ノ「命令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ所ノ命令ノ規定事項ヲ私ハ讀ミマシテ、實ハ聊カ驚イタノデアリマス、施業案ニ關スル命令ノ内容ヲ見マスルト、斯ウ云フコトガ書イテアリマス「施業案ノ内容ハ森林ノ生産力ト森林所有者ノ經濟的能力ニ即應シタル造林及伐採ノ計畫ヲ定ムルモノトスルコト」ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、是ハスラスト讀ンデ見マスルト疑問ガナイノデアリマスケレドモ、之ヲ靜ニ嚙ミ碎イテ見マスルト、斯ウ云フ命令デハ到底造林ノ根本目的ヲ達スルコトハ出來ナイト云フコトハ何人モ異論ガナイト思フノデアリマス、眞ニ造林國策ヲ徹底セントスルナラバ、今日ノ私有林、社寺有林、公共團體林等ガ何故ニ造林ヲシナイカト云フ根本ノ問題ヲ究明致シマシテ、其ノ根本ノ問題ハ資金難デアルト云フコトニ思フ致シマシテ、而シテ其ノ資金難ヲ救済シ、是等ノモノニ對シマシテ金融ノ途ヲ講ジテ、然ル後ニ此ノ造林國策ニ協力スルト云フ風ニシナケレバナラナ

イノデアアルニ拘ラズ、此ノ命令ノ内容ヲ見マスト、森林ノ生産力ト森林所有者ノ經濟的能力ニ即應スル造林計畫ヲ立テルト云フコトハ全く無意味ニナツテ來ルト思フノデアリマス、即チ私ノ考フル所ニ依リマスナラバ、此ノ森林ノ生産力ニ即應シタル所ノ造林計畫ヲ立テマシテ而シテ此ノ計畫ヲ遂行スル爲ニハ、私ガ先程申上ゲマシタ通り、森林所有者ノ經濟的窮乏ヲ察知致シマシテ之ヲ補給シ、或ハ立替ヲ致シテ造林ヲスルト云フ風ニ計畫ヲ進メルコトガ最モ急務デアラウト思フノデアリマス、此ノ命令ノ内容ハ森林所有者ノ經濟的能力ニ即應スル、然ルニ今ノ經濟的能力ト云フモノハ全く零デアリマス、此ノ零デアル所ノ經濟的能力ニ即應シタル所ノ施業案ヲ立テルナラバ、是ハ造林ガ出來ナイト云フコトニナル、斯ウ云フ風ニ命令案ヲ讀マナケレバナライト思フノデアリマス、之ニ對シマシテ農林當局ハ如何ニ御考ニナツテ居ルデアリマセウカ

○松村政府委員 御話デアリマスガ、私共ハソレ程マデ個人ノ經濟能力ヲ超越シテ、國ノ力デ之ヲヤツテ行クト云フコトガ出來マスナラバ、是ハ理想的デアリマスケレドモ、今日ソレハ中々容易ナラヌコトデアリマスカラ、ヤハリ施業案ノ内容ハ、其ノ土地ノ生産力ト個人ノ經濟的能力等ヲ見マシテ、併セテ考ヘテ、之ニ適當ナ方策ヲ講ジナクテハナライノダ、勿論是ニハ國家ガ或ル程度マデノ助成ヲスルコトハ致シマスケレドモ、全然個人ノ經濟能力ヲ無視シテ、國ノ力デ理想的ニ總テヤツテ行クト云フコトハ、是ハ一寸出來兼ネルコトデアリマスカラ、其處マデ考ヘテ居ナイノデアリマス、個人ノ經濟能力ヲ出來ルダケ利用シテ、ソレガ及バナイ所ヲ國ガ或ル程度助成ヲスル、此ノ建前デ行キタイト思フノデアリマス

○伊藤委員 只今農林政務次官ノ御話ニ依リマスルト、森林所有者ノ經濟的能力ニ即應シタル施業案ヲ立テルト云フコトニナリマスガ、先程申上ゲマシタ通り、今日ノ森林所有者ノ經濟的能力ト云フモノハ殆ド零ニ近イノデアリマスカラ、其ノ零ニ近イ者ガ假令百町歩、二百町歩ノ無立木地帯ヲ持ツテ居ツテモ、是ニハ造林ヲシナイト云フコトニナルノデアリマセヌカ、之ヲ御伺シタイノデアリマス

○松村政府委員 今山林當局カラ御答シマスカラ、私ガ蛇足ヲ添ヘルマデモアリマセヌガ、併シ私ハ森林ノ所有者ガ皆經濟的ニハ無能力者ダトハ考ヘテ居リマセヌ、無能力者モ多イカモ知レマセヌケレドモ、有能力者モ相當ニ多イコトト思ヒマスカラ、其處ハヤハリ經濟的ノ能力ト云フモノハ相當ニ見ルベキモノデアルト思ヒマス、當局カラモ御答ヲ致シマス

○村上政府委員 只今マデノ農林省ノ造林ニ對スル所ノ助成策ガ尙ホ完全デナイコトハ、私共モ甚ダ遺憾トスル所デアリマス、併シナガラ御承知ノ通り差出シマシタ資料ニ依リマシテモ、一年ニ二十四万五千町歩位マデハ今マデノ所出來テ居リマスカラ、今後ト雖モ全然他ノ環境ガ變更セザル以上、今マデ通りノ助成金デモ二十四万町歩位ノモノハ出來ルダラウト思ヒマス、併シナガラ御承知ノ通り昭和三四年カラ林業ガ非常ナ不況ニ陥リマシテ、外材ノ壓迫等ノ爲ニ、一時森林ノ價格ハ、昭和三年ヲ百ト致シマスルト、其ノ半分ニ下ツテシマツタ、斯様な時代ニハドウシテモ造林スル人ガ少クナル、是ハドウモサウナル、目先悲觀ノ爲ニドウシテモ造林スル者ガナイ、是ガ現實ノヤウニ植伐ノ均衡ガ破レテ、約四十万町歩モ無立木地ガ出來タノダト思ヒマス、而シテ木材ノ値段ハ只今相當ニ回復シテ居リマス、併シナガラ是デモ昭和三年ノ木材

ノ價格ノ稍、上ニ廻ツタト云フ位ノ所ニ達シテ居ル程度デアリマスガ、先ヅ〳〵今後ノ木材ノ價格ノ見透シハ、私共モ此處デハツキリ申上ゲル譯ニハ行キマセヌガ、昔ノヤウニ下ルコトモナカラウ、斯様な關係モアリマスノデ、大體資力ノアル人ハ先ヅ見越シテ相當造林スルモノト思ハレマス、併シナガラ從來ノ無立木地ニナツテ居ルヤウナ所ハ、是ハ國家ニ於テ相當助成シナイト、中々此ノ無立木地ヲ一氣ニ回復スルト云フコトハ、出來兼ネルダラウト思ヒマス、又伐採跡地ニ付テモ、本年度ヨリヤツト一万町歩ダケノ補助ヲ開始致シマシタ、ソレマデハ全然補助ガ無カツタノデアリマスガ、是等ニ對シテハ今後更ニ擴張シテ行ク必要ガアルダラウ、昨日モ申上ゲマシタヤウニ、明年度ノ豫算ニ六十五萬圓バカリ増加致シマシタガ、是ハ今後ノ造林獎勵計畫ノ一端ヲ現ハシタモノデアリマシテ、毎年六十五萬圓ヅツ増額シテ行ケバ、今マデノ造林ノ不振ヲ取返ス、斯様なコトヲ申上ゲル譯デハゴサイマセヌノデ、更ニ是ハ一層豫算ヲ増額シテ行カナケレバナラス、又其ノ方法ト致シマシテモ、今公有林ニ付テハ官行造林、ソレカラ治水費デ造林ヲ實行シテ居リマス、而シテ其ノ計畫ニ依リマシテ今ノ官行造林

計畫が終ツタ後ニ於キマシテモ、相當ノ面

積が餘リマスノデ、是等ノモノニ付テハ第二
次ノ官行造林ト云フヤウナコトヲ計畫シ
ナケレバイカヌグラウト思ヒマス、又私有
林ニ付キマシテモ、是ハ直接國ガ私有林ト
契約シテ、私有林ニ對シテ官行造林ヲスル
コトガ宜イカドウカ、是ハ餘程考慮ノ餘地
ノアル問題デアリマシテ、只今サウ云フ事
ヲ實行スルト云フコトハ申上デラレマセヌ、
併シナガラ縣トカ或ハ町村トカ、サウ云フ
モノヲ通シテ私有林野ニ對シテ縣行造林ヲ
ヤルト云フヤウナコトニ付テハ、モウ少シ
積極的ニ獎勵ヲ加ヘテ行キタイト思ヒマス、
サウスレバ私有林ノ所有者ハ自ラ直チニ造
林費ヲ出スコトガナク、造林木ガ賣レタ時
ニ於テ收益ヲ分收スルト云フコトニナリマ
スカラ、結局初メハ資金ヲ投資シテモ資金
ガ固定スルト云フコトハナイ、斯ウ思ヒマ
ス、私有林ハ御承知ノ通りサウ大キナ面積
ガナイノデゴザイマスカラ、國デ之ヲヤル
ト云フコトハ中々困難ト思ヒマスガ、地方
公共團體等ヲシテ、サウ云フヤウナ方法ヲ
更ニ徹底スルヤウナコトモ必要デヤナイ
カ、無論之ニモ相當豫算ノ増額ヲ必要トス
ルノデ、直チニサウ云フコトハ實行ハ中々
出來マセヌガ、サウ云フ方法ニ進ミタイト

思ヒマス

○伊藤委員 農林當局ノ御苦心ノ程ハ私能
ク分ツテ居リマスケレドモ、此ノ命令ノ内
容ヲ見マシテ、果シテ農林國策ヲ實現スル
ダケノ力ガアルカドウカト云フコトヲ、私
ハ疑問ニ思フカラ御尋シタノデス、ダカラ
シテ農林當局ガ將來此ノ命令ノ規定事項ヲ
改正シテ、是等ノ無立木地帯ニ付テハ大體
ニ於テ、森林ノ生産力ニ即應シタ造林計畫
ヲ立テルンダ、其ノ爲ニハ相當ノ資金ヲ融
通スルノデアルト云フ風ニシナケレバ、本
當ノ對策ヲ實現スルコトハ出來ナイデハナ
イカト私ハ思フノデス、私ハソレヲ憂ヘテ
實ハ御注意申上ゲルノデアリマス
次ニ是ト關聯致シマシテ御尋ヲ致シタイ
ノハ、第十一條ノ二デアリマス、第十條ノ
規定ニ依ツテ、地方長官ハ森林ノ所有者ニ
對シマシテ、造林ニ必要ナル事項ヲ指定ス
ルコトガ出來ルノデアリマス、而シテ第十
一條ノ二ニ於テ、若シ此ノ指定ニ應ジナイ
場合ニハ、地方長官ガ勝手ニ造林ガ出來ル
ノデアリマス、而シテ其ノ費用ト云フモノ
ヲ行政執行法第六條ニ依ツテ徵收スルコト
ガ出來ルノデアリマス、先ヅ質問スル前
ニ、サウ云フ風ナ考ヲシテモ宜シウゴザイ
マスカ

○村上政府委員 大體左様ニ考ヘマス

○伊藤委員 サウスルト私ハ洵ニ此ノ山林
ノ所有者ニ對シテハ御氣ノ毒デハナイカト
思フ、只今申上ゲマシタ通り今日ノ公共團
體、社寺、或ハ森林ノ所有者ト云フモノハ、
全ク木ヲ植エタイケレドモ植エラレナイヤ
ウナ狀態ニナツテ居ル、其ノ日ノ生活ニ困
ツテ植エラレナイ所ノ窮乏ニアル、之ニ對
シマシテ地方長官ガ造林計畫ヲ命ジテ勝手
ニ造林計畫ヲ施行シ、而シテ其ノ造林計畫
ニ基イテ施行シタ此ノ費用ト云フモノハ、
少クトモ溫情ト云フ立場カラ言フナラバ、
國家ガ立替ヘテ、サウシテ造林ノ成功スル
マデ之ヲ貸付ケテヤルコトガ私ハ最モ正シ
キ政治ノヤリ方ダト思フ、然ルニ此ノ造林
計畫ニ基イテ要シタ費用ト云フモノヲ、此
ノ貧乏人ノ植林ノ出來ナイ人カラ勝手ニ行
政執行法ノ第六條ヲ適用致シマシテ、而シ
テ其ノ財産ヲ差押ヘテ競賣スルト云フコ
トハ、是ハ少シ御考ニナラナケレバナラナ
イ問題デハナイカト思フ、若シサウ云フコ
トヲヤルナラバ、私ハ恐ラク憲法第二十七
條ノ精神ニ牴觸シハシナイカト思フ、憲法
第二十七條ニハドウ云フコトガ書イテアリ
マスカ、此ノ憲法第二十七條ニ於テハ吾々
ハ財産權ノ保障ヲ受ケテ居リマス、日本臣

民ハ其ノ所有權ヲ侵サル、コトナシ公益ノ

爲必要ナル處分ハ法律ノ定ムル所ニ依
ル」ト規定サレテ居ルノデアリマス、此ノ
所謂所有權ト云フモノハ、一切ノ財産權
ヲ包含シテ居リマス、然ルニ只今ノヤ
ウナ造林ノ出來ナイ一般ノ人々ニ對シマ
シテ地方長官ガ勝手ニ造林ヲシテ、其ノ
造林ニ要シタ所ノ費用ヲ行政執行法第六條ヲ
適用シテ、サウシテ財産ヲ差押ヘ競賣ラシ
テ、其ノ費用ヲ取ルト云フコトナラバ、私
ハ洵ニ其ノ結果由々シキ所ノ問題ヲ惹起ス
ルモノデアラウト思フノデアリマス、假ニ
百町歩ノ森林ノ所有者ガ造林シナカツタ場
合ニ、之ニ對シテ地方長官ガ要シタ所ノ費
用ヲ一町歩百圓ト假定致シマスト一万圓掛
カリマス、此ノ一万圓ノ造林費ヲ行政執行法
第六條ニ依ツテ此ノ公共團體ナリ或ハ其他ノ
所有者ナリニ對シマシテ差押ヘラスルト云
フコトニナレバ、私ハ洵ニ恐シイ問題デア
ラウト思フノデアリマスルガ、之ニ對シマ
シテ御當局ハ一體御考ニナツテ居ツタノデ
ゴザイマセウカ、或ハサウ云フコトヲ御氣
付ニナラナカツタノデアリマセウカ、是コ
ソ全ク私ハ餘程御考慮ヲシナケレバ大ナル
問題ヲ惹起スルモノデアルト思フ
○村上政府委員 此ノ十一條ノ規定ハ現行

法ノ十條ノ規定ト殆ド變ラナイ規定デゴザイマシテ、十條ニ既ニ斯ウ云フコトガ規定ガアリマス、勿論是ハ非常ニ重大ナル事柄デアリマシテ、濫用スベキコトデハナイト思ヒマス、ソレデ前ニ御説明申シマシタヤウニ、普通ノ場合デ百町歩ノ造林ヲ急ツテ居ル者ガアル、斯様ナ場合ニ於テハ其ノ人ト縣ト契約シテ縣ガ造林費ヲ立替ヘル意味ニ於テ造林スル、サウシテ其ノ造林費ニ當ルモノヲ分收ニ依ツテ取ル、是ハ今デモ各縣ニ相當縣行造林ト云フモノガアリマス、是ハ國カラ補助ヲ出シテヤツテ居リマスカラ、其ノ方法ヲ活用スレバ此ノ十一條ノヤウナモノハ普通ノ場合ニハ起ル必要ハナイ、是ハ特別ノ場合ニ於キマシテ最後ノ締括リトシテ此處ニ置イテアルノデアリマス、是ハ總テ行政命令ニ對シテドウシテモ之ヲ肯カナイ者ニ付テハ行政執行法ニ依ツテ代行者ガ其ノ經費ヲ取立テルト云フノハ、是ハ總テノ行政法規ノ最後ノ手段トシテ執ツテ居ルノデ、之ヲ此處ニ掲ゲテアルノデアリマシテ、之ヲ常ニ濫用致シマスレバ、山村ニ於ケル所ノ官民ノ協調ハ破レ、此ノ森林法ノ圓滿ナル施行ハ到底出來ナイト思ヒマス

○伊藤委員 山林局長ハ總テガ御分リニナ

ツテ居ルコトト思ヒマスカラ私カラ申上ゲルコトハドウカト思ヒマスガ、ソレナラバ大體ニ於テ此ノ十一條ノ二ト云フモノハ適用シナイノダ、最モ悪性ノモノニノミ適用スルノダト云フ風ニ解シテ宜シウゴザイマズネ

〔委員長退席北委員長代理著席〕

○村上政府委員 大體左様ニ御解釋下スツテ宜シウゴザイマス

○伊藤委員 私ハ此ノ十一條ノ二ハ殆ド適用シナイト云フ風ニシテ戴キタイト思ヒマス、サウシテ適用スル場合ハ造林シタ其ノ森林ガ成長スルマデ國家ガ大體ニ於テ金融ヲシテヤルト云フヤウナ溫イ心ヲ以テヤツテ貰ハナイト、此ノ法案ト云フモノハ非常ニ亂暴ナモノニナルト思ヒマスカラシテ、此ノ點ハ吳々モ御注意サレンコトヲ私ハ希望致シマス

次ニ私ハ此ノ第七章ノ罰則ノ點ニ付テ御質疑ヲ申上ゲタイト思フ、此ノ罰則ニ付テハマダ誰方カラモ御尋ニナラナカツタヤウデアリマスカラシテ、私カラ御尋ヲ致シタイト思フノデアリマス、第七章ノ罰則ヲ通覽致シマシテ私ハ非常ニ奇異ニ感ジタノデアリマス、ドノ條文モドノ條文モ皆刑ヲ重クシテ居ルノデアリマス、八十三條ニ於テ

モ、或ハ八十四條ニ於テモ、殊ニ八十四條ノ如キハ森林竊盜ニ付テハ今マデハ重禁錮三年以下デアツタモノヲ、今度ノ改正案ニ於テハ之ニ對シマシテ五年以下ノ懲役若クハ五千圓以下ノ罰金ト云フ風ニ改正ニナツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ風ニ皆ドノ犯罪ニ付テモ總テ重ク罰シテ居ルヤウニナラザル問題デアラウト思フノデアリマス、特ニ私ハ森林ニ關スル犯罪ハ大半東北ニ於テ行ハレルト云フコトヲ知ツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ規定ハ吾々東北民ニ取リマシテハ、最モ重大ナル問題ト相成ツテ來ルノデアリマス、山林局長モ東北地方ニ森林ニ關スル犯罪ガ非常ニ多イコトハ既ニ御承知ノコトト思ヒマス、山林局長ハ如何ナル場合ト雖モ何ガ故ニ東北地方或ハ其ノ他ノ山村地方ニ於テ斯ル犯罪ガ起ルノデアアルカト云フコトヲ一ツ御研究ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、果シテ利慾ノ爲ニ山林ヲ竊盜スル者ガ一人デモアリマセウカ、眞ニ生活ニ困リマシテ、涙ヲ吞ンデ一身ノ犧牲ヲ覺悟シテ自分ノ一家ヲ救ハンガ爲ニ、自分ノ一村ヲ救ハンガ爲ニ斯ル犯罪ヲ起シテ居ルト云フコトヲ聞ク時ニ於テ、吾々ハ此ノ罰則ノ改正ト云フモノハ洵ニ無情ナル改

正デアラウト考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、嘗テ東北地方ノ一村ニ起ツタ所ノ山林竊伐事件ニ付テ私ハ簡單ニ申上ゲタイト思フ、是ハ一村悉ク犯罪ヲ犯シタノデアリマス、而シテ其ノ動機ト云フモノハ總テガ生活難ヨリ來テ居ルノデアリマス、時恰モ冷害ニ遭ツテ東北民ハ食フニ食ナク着ルニ着物ガナイト云フヤウナ憐ナル狀態ニアツタノデアリマシテ、此ノ急場ヲ免レンガ爲ニ其ノ村ニ於テハ或ル犧牲者ヲ作ツテ森林ヲ竊盜セシメ、代ルノ犧牲者ヲ作ツテ其ノ日ノ生活ヲ送ツテ居ツタト云フ憐ムベキ所ノ事實ガアツタノデアリマス、東北ノ森林竊盜ハ總テ殆ド正ニ此ノ通りデアリマス、憐ムベキ所ノ同情スベキ所ノ動機ニ依ツテ此ノ犯罪ヲ犯シテ居ルノデアリマス、然ラバ農林當局ニ於テハ何故ニ東北ニダケスル特異性ノアル犯罪ガ起ルカト云フコトヲ一ツ御研究ニナツテ、其ノ原因ヲ除去スルコトガ最モ大事ナ問題デハナイカト私ハ痛感スルノデアリマス、東北地方ハ御承知ノ如ク他地方ニ比シマシテ非常ニ國有林ガ多イノデアリマスガ、軒下マデ國有林ニ圍マレテ居ルト云フコトハ既ニ御承知ノコトト思ヒマス、他ノ地方ニアツテハ私有林ガ六割アリマス、東北地方ニ

アツテハ私有林ガ三割デアリマス、他ハ大體國有林ト相成ツテ居ルノデアリマス、而シテ此ノ東北地方ノ國有林ガドウシテコンナニ多イカト云フコトヲ考ヘテ見マスル時ニ、明治初期ノ地租改正ニ當リマシテ、東北ノ地方民ガ租税ノ賦課ヲ恨レテ入會地等ノ占有權ヲ主張シナカツタ爲ニ是ガ國有林ニ編入セラレタト云フコトハ、今更申上ゲル必要モナイト思ヒマス、斯ル特殊ナル事情ニ依ツテ東北ノ國有林ト云フモノハ斯ノ如ク多イノデアリマシテ、元ハ實ハ東北ノ私有林デアツタト云フコトヲ考ヘテ戴キタイト思フノデアリマス、斯ル情勢下ニアツテ東北ノ人々ハ國有林ノ多イ爲ニ非常ナル惱ミヲ續ケテ居ルノデアリマス、而シテ一方東北ハ御承知ノ如ク年々冷害ニ見舞ハレテ居ルノデアリマス、此ノ冷害ト國有林ノ多イコトニ依ツテ益、東北ノ疲弊困憊ヲ齎シツツアルト云フコトハ是ハ一般ノ輿論ト相成ツテ居ルノデアリマス、隨テ當局ニ於テハ東北地方ノ森林竊盜ニ對シテ重罰ヲ科スルト云フコトヲ考ヘル前ニ東北ノ特異性ニ鑑ミマシテ、生活ノ困ラナイヤウニ、一定國有林ヲ解放、若クハ解放ノ形ニ於テ東北ノ民ニ之ヲ利用サセルコトガ私ハ眞ノ爲政者ノ執ルベキ態度デハナイカト痛感スル

ノデアリマス、然ルニ徒ニ森林法ノ罰則ヲ改正致シマシテ重刑ヲ科スコトハ特ニ東北ノ人ニ對シマシテ私ハ洵ニ困ツタ問題デハナイカト痛感スルノデ、是ハ何トカシテ一ツ當局ノ御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ヤハリ從前通りノ規定ニ致シマシテ、此ノ犯罪ノ根本原因ヲ除去シテ、東北ノ民モ總テガ他ノ地方ト同ジヤウニ均霑シ得ルヤウナ方策ヲ講ズルコトガ大事ナ問題デハナイカト私ハ痛感致シテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテ農林當局ノ溫情ノアル御答辯ヲ得タイト思フノデアリマス

○村上政府委員 刑期ヲ増シマシタコトニ付テハ、是ハ現行刑法ノ竊盜罪ト均衡ヲ取ラセタ譯デアリマス、御承知ノ通り現行ノ刑法ハ竊盜罪ノ一番上ガ十年マデニナツテ居リマス、今ノ森林ノ竊盜罪ハ舊刑法デ竊盜罪ノ懲役ガ十年ヨリモツト低イ時ニ、ソレト均衡ヲ取ツテ三年トナツテ居ツタ、ソコデ竊盜罪デモ累犯デ惡性ノ強イモノニ付テハ十年ニスルト云ウヤウナ刑法理論カラ竊盜罪ガ十年ニナリマシタ、ソレニ均衡ヲ取ラセテ茲ニ斯ウ云フヤウニ上ゲタ譯デス、尙ホ此ノ點ニ付テハ司法省ノ政府委員カラモ御説明ガアラウト思ヒマス、サウ云フ譯デアリマシテ、現行ノ刑法ニ均衡ヲ取ツテ

刑ノ整理ヲ致シタ、決シテ特ニ重罰ヲ科スルト云フ意味デ上ゲタ譯デハアリマセス、唯刑ノ量定ノ範圍ヲ廣クスルコトガ現行ノ刑法ノ理論ニナツテ居リマスノデ、ソレデヤツタ譯デアリマス、尙ホ東北地方ニ於キマシテ國有林ガ多イ、ソレガ爲ニ山村窮乏ノ因ヲ作ツテ居ル、斯ウ云フヤウナ御話デアリマスガ、是ハサウ云フ御見方モアルノデアリマスガ、私共ハサウハ考ヘテ居ナイマシテモ、出來得ル限リ地元ノ住民ノ福利ノ經營ニ付テハ、一方地元住民ノ國有林ニ對スル愛護心ト云フモノヲ涵養シテ、官民一致トナリマシテ國有林ノ經營ノ完璧ヲ期シナケレバナラスノデアリマス、地元住民ヲマルデ他人扱ニシテ國有林ヲ經營スルト云フコトハ非常ニ間違ツタコトデアル、斯ウ云フ考ヘ方モ、或ハ今カラ二十年前マデハアツタカモ知レマセス、ソレガ爲ニ或ル場合ニ於テハ多少地元ノ住民ニ對シテ苛酷ナル取扱ノアツタコトモアツタラウト思ヒマス、併シナガラ現在ニ於キマシテハサウ云フ弊ハ嚴シク改メタルコトニ致シマシテ、現ニ委託林トシテ東北地方ニ設定シテ居ルモノハ五五百町歩、簡易委託林ガ百二十

一万町歩ゴザイマシテ、是ハ御承知ノ通り簡易委託林ニ對シマシテハ落枝、落葉、生草、菌茸、斯ウ云フモノノ無償交付ヲ認メテ居リマス、又委託林ニ於キマシテハ、是ハ委託義務ガ附ク代リニ、自家用薪炭材ノ半分マデハ無償讓與ヲスル、斯ウ云フ制度デアリマス、其ノ他ニ開墾適地等ノ爲ニ貸シタモノモ四万五千町歩、ソレカラ放牧地等モアリマス、自家用、稼用薪炭ノ供給林トシテ設定シタモノガ九十一万町歩ゴザイマス、尙ホ將來ハ東北ノミナラズ全國デゴザイマスガ、地元ニ近い國有林ノ一部ハ國有林ノ經營ト云フヨリハ地元ノ産業ノ増進、地元住民ノ福利ノ増進ト云フ見地カラ之ヲ經營スル、特ニ一部ヲ割イテ農林用地ヲ設定シ、其處ニ特ニ薪炭林ヲ作ルトカ、或ハ桐ヲ植エルトカ、其ノ他地元ノ希望ニ應ジテ、普通ノ國有林ノ經營ト離レテ地元ノ爲ニ特別ノ經營ヲスルト云フ所ノ施業方法ヲ執リタイト思ツテ、各村々々ニ於テ地元ニ近い便利ノ所ニハ特ニサウ云フ施業方法ヲヤル考デアリマス、之ニハ豫算ヲ要スルコトデアリマスガ、一部ハ本年カラデモ實行シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○伊藤委員 只今山林局長ノ御答辯ニ依リマシテ、此ノ罰則ヲ上ゲタノハ他意ガナイ

ト云フ御話デアリマスケレドモ、吾々ノ如ク東北ニ育チ、東北ノ實情ヲ知ツテ居ル者ハ、ヤハリ前ノ儘ニシテ戴イタ方ガ安心デアルノデアリマス、サウシテ根本ノ問題ト致シマシテ、何故ニ此ノ森林竊盜ガ起キルカト云フ原因ヲ探究シテ之ヲ除去スル方法、即チ東北ノ住民ニ對シマシテハ特ニ他地方ト同ジヤウナ割合ニ國有林ヲ持續セシムルヤウニ致シマシテ、他地方ガ國有林ガ三割シカナイ場合ナラバ東北モ國有林ヲ大體三割位ニ致シマシテ、他ノ二割何分或ハ三割ト云フモノヲ特ニ住民ノ爲ニ使用サセル、私ハ決シテ之ヲ只デ全部解放シロナドト云フコトハ申シマセヌ、現在ノ國有林ノ二割乃至三割ヲ東北ノ特殊性ニ鑑ミマシテ、特別ニ住民ニ利用サセ一面農林省トシテモ都合ノ好イヤウナ何方名案ガアラウト思フノデアリマス、ソレニハ只今ノヤウナ色々ナ案ヲ以テ進ムモ宜イト思ヒマスルケレドモ、モウ少シ百尺竿頭一步ヲ進メテ、他地方ト同ジヤウナ割合ニ東北ノ國有林ノ東北ノ爲ニ利用サレルト云フ一ツ大乗の見地ニ立ツテ其ノ案ヲ實行セラレタナラバ、私ハ全ク斯ノ如キ刑罰規定ヲ設ケル必要ハナイト思ヒマス、全然サウ云フ犯罪ヲ犯スコトハ東北ニハナイト私ハ思ヒマス、東北民ガ

今日斯ル犯罪ヲ犯スノハ、全ク生活難ニ因ルノデアルカラ、此ノ點ニ對シマシテ私ハ特ニ農林政務次官並ニ山林局長ノ善處ヲ促シタイト思フノデアリマス、ドウカ再ビ御答辯ヲシテ戴キタイト思ヒマス

○松村政府委員 今ノ御話デアリマスガ、東北ノ國有林ヲ此ノ際幾割カラ割イテ地方民ノ利用ニ任セロト云フ御言葉デアリマシガ、ソレハ今日ニ於キマシテ其ノ利用ト言ハレルコトハドウ云フ程度ノ御話デアルカ存ジマセヌケレドモ、ソレダケノモノノ經營ヲ其ノ地方ニ任セロト言ハレマスコトハ、遽ニ同意ヲ致シ兼ねマスノデゴザイマス、ソレハ今日ノ國有財産ノ主ナモノヲ成シテ居リマス點カラ申シテ、農林當局ト致シマシテ、サウ云フコトニ同意ハ致シ兼ねル次第デアリマス、併シソレハ御承知ノ通り昨日モ申シマシタガ、山林局ノ從來ノ方針ガ出來得ルダケ其ノ地方ノ利益ノ爲ニ共ニ手ヲ携ヘテ國有林ノ經營ヲヤツテ行キタイト云フ方針デ進ンデ居リマシテ、近來ハ特ニ著シク其ノ町村部落ト極メテ密接ナ親善ノ關係ニナツテ來テ居ルト思ヒマス、曾テ御承知ノ通り農村恐慌ノ起リマシタ齋藤内閣ノ時アタリニ致シマシテモ、營林署ノ救済ノ施設ガ最モ與ツテ地方ノ救済ニ力ガアリマシ

タコトハ、伊藤君モ御承知下サルコトト思ヒマス、是ガ民有林ニ任セ若クハ共有林トシテ荒廢ニ任シテ居リマシタナラバ、其ノ土地ハ一時ハ拂下ゲマシタ當時ハ非常ニ地方トシテハ宜イカモ知レマセヌケレドモ、長イ眼カラ見マシタナラバ、國ガ經營ヲシテ其ノアリマス地方ト協力シテ互ニ共存共榮ヲシテ行クト云フコトガヤハリ地方ノ爲ニモナルコトト思フノデアリマス、之ヲ何カ東北ガ國有林ガ非常ニ多イ爲ニ東北ガ疲弊スルト云フヤウナ見方ハ少シ見當ガ違ツテ居ルノデアリマシテ、是ハヤハリ地方ト國ノ經營ト相俟ツテ東北ノ振興ヲ圖ルト云フコトモ出來ルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○伊藤委員 イヤ私ハ全部東北ノ國有林ヲ一定割合ヲ無償デ開放セヨト云フヤウナコトヲ言ツテ居ルノデハナイノデス、例ヘバ只今山林局長ガ仰セラレタヤウニ、大規模ナ町村部分林ト云フモノヲ造ルノモ宜イダラウシ、或ハ無立木地帯ヲ百町歩ナラ百町歩ノ開放致シマシテソレニ對シマシテ相當ノ割合デ之ヲ耕作サセルト云フ方法モ宜イダラウシ、斯ウ云フヤウナ一ツ暖イ氣持デ山林ヲ開放シテ貰ヒタイト云フノデス、是ハ私ハ異論ガナイト思フ、ソレニ私ハ只今農林政務次

官ガ東北ノ窮乏ハ國有林ガアルカラデハナイト云フヤウナコトヲ仰セラレテ居ルケレドモ、農林政務次官モ東北ニオ出デニナツタコトト思ヒマスガ、私ノ家ナドハ軒下マデ國有林デス、併シ一本ノ木、一本ノ柴ト雖モ採ルコトハ出來ナイ、本當ノ山間ニ在ツテ吾々ハ薪炭ニ困ツテ居ル、此ノ狀況ヲ御覽ニナツタナラバ、私ハ農林政務次官ノ御認識ハ更ニ新ニナルダラウト思フノデアリマス、確ニ東北ガ疲弊シテ居ル所ノ一ツノ原因ハ非常ニ東北ニ國有林ガ多イコトデアルト云フコトハ私ハ何人モ異論ノナイ常識ダト思フ、山林局長モソレヲ御認メナルト思フ、隨テ此ノ窮乏ヲ本當ニ察知致シマシテ相當程度ニ利用サセルト云フコトガ私ハ農林省ノ執ルベキ態度デハナイカ、サウスレバ之ニ吾々ハ大イニ感激致シマシテ國家ノ爲ニ益、貢獻スルノデアリマス、サウ云フ意味ニ於テ私ハ農林省ニ御願スルノデアリマス、是非此ノ際山林局長ニ更ニ御伺ヒ致シタイトハ、只今ノヤウナ無償デ全部ノ國有林ヲ開放スルト云フノデハナク、大規模ナル所ノ部分林ノ性質ヲ有スル所ノ町村林トカ、其ノ他ノ公共團體林ヲ更ニ大規模ニオヤリニナル所ノ御意思ガゴザイマセヌカ、斯ウ云フコトヲ尋ネタノデアリマ

ス、一ツ山林局長カラ御答辯ヲ願ヒマス

○村上政府委員 私共ハ東北地方ニ國有林ガ偏重シテ居ルコトガ東北窮乏ノ原因ヲ成シタモノダト云フコトニ付テハ、ドウモ是ハ認メル譯ニ參リマセス、私共ハ其ノ點ニ付テハ却ツテ違ツタ見解ヲ持ツテ居リマス、併シ世間ニ於テハサウ云フ御見解ノ方ガ非常ニ多イノデゴザイマスガ、之ニ付テハ私共モ十分ニ反省シ、考慮シナケレバナラス所ガアルト云フコトハ勿論デアリマス、是ガ爲ニハ東北ノ國有林ニ付キマシテ地元ノ爲ニ相當ノ利益ヲ圖ル、即チ國有林ガ在ルコトハ地元ニハ恩惠ダト感ゼシメルヤウニ世論ヲ向ケテ來ルヤウニ國有林行政ヲ段々變ヘテ行カケレバナラスト云フコトニ付テハ私全ク同感デアリマス、併シ其ノ方法等ニ付キマシテハ是ハ中々直グ茲ニドウ斯ウ申上ゲル譯ニハ參リマセヌケレドモ、サウ云フヤウナ方法ニ變ヘテ行カケレバナラス、是ダケノコトハ申上ゲテ宜イト思ヒマス

○伊藤委員 最後ニモウ一點御尋致シマス、是ハ私ノ長イ間ノ經驗カラ申上ゲルノデスガ、私ハ實ハ田舎デ小學校ヲ卒業シテカラ百姓ヲヤツテ、十九歳マデ殆ド草刈ト云フ商賣ヲヤツタノデアリマスガ、其ノ草刈ヲ

ヤツタ者デナケレバ分ラナイノデアリマス、

即チ今日東北地方或ハ其ノ他ノ山間地方ニ澤山採草地ガアリマス、此ノ採草地ハ一年ニ一回或ハ三年ニ一回火ヲ入レナケレバ到底立派ナ草ガ出ナイノデアリマス、立派ナ草ガ出ナケレバ立派ナ肥料ガ出來ナイ、立派ナ牧草モ出ナイ、隨テ立派ナ馬モ出來ナイト云フコトハ御承知ノコトト思フノデアリマス、デアルカラシテ採草地トシテ許可ヲシタ所ニハ、三年ニ一回或ハ五年ニ一回必ズ絶對ニ火ノ漏レナイ防火地區ヲ設ケマシテ、火ヲ入レテ貫ヒタイト云フコトガ、我ガ東北地方ノ全縣全村ノ要求デアルノデアリマス、我ガ山形縣ノ如キハ全部町村ガ結束致シマシテ之ヲ秋田營林署ニ御願シテ居ルヤウナ次第デアリマス、サウスルコトガ結局僅カノ部分、僅カノ採草地デ澤山ノ草ガ採レルカラシテ效果ガ百パーセント「デア」ル、而シテ造林ヲスル面積モ亦隨テ殖エテ行クト思ヒマス、採草地ガ少クナレバ、造林スル面積ガ殖エルノモ當リ前デアリマス、ダカラシテ此ノ際山林局長ハサウ云フ地方ノ要望ニ基イテ少クトモ採草地ニ對シマシテハ二年ニ一回、三年ニ一回火ヲ入レテモ宜イヤウナ一ツ通牒ヲ發シテ貫ヒタイト思フノデアリマス、是ハ本當ニ草刈ヲヤ

ツタ者デナイト分ラナノデアリマスケレドモ、私ガ特ニサウ云フ御願ヲスルノハ、自分ノ過去ノ經驗ヨリ微シマシテ、ドウシテモヤツテ貫ヒタイノデアリマス、斯ウヤツタダケデモ如何ニ東北民ガ助カルカト云フコトハ想像ニ餘リアルノデアリマス、之ニ付テドウカ山林局長ノ溫イ御答辯ヲ御願スル次第デアリマス

○村上政府委員 採草地ノ改良ニ火入ヲスルノガ宜イカ、他ノ方法ヲ採ルノガ宜イカ、是ハ色々議論ノアル所デアリマス、今マデモ地方ノ慣行ニ依リマシテ火入ヲ爲シテ居ル所ニ付テハ是ハ縣廳ノ方ニ於テ許可ヲ爲シテ居ル答デゴザイマス、是ハ實地問題デアリマスカラ、果シテ火入ヲ許シテ居ラナイカドウカ、是ハ取調ベテ見ナイト分リマセヌガ、併シ所ニ依リマシテハ、火入ヲ認メテ居ラナイ所モアリマス、是ハヤハリ其處ノ實地々々ニ依リマシテ、火入ヲ爲スコトガ却ツテ草ノ發生ヲ阻害スルト云フヤウナ所トカ、或ハ周圍ニ造林地デモ多クテ非常ナ危險ガアルト云フヤウナ所ニ於テハ火入ヲ認メナイト云フヤウナ所ガアル、是ハ各府縣々々ニ依リマシテ從來ノ慣行等ニ依ツテ認メタリ認メナカツタリシテ居ルヤウナ實情デゴザイマシテ、國有林ノ方ニ付テ

ハ火入ノ許可トカサウ云ツタヤウナコトハナカラウト思ヒマスガ、是ハ取調ベテ見ナイト分リマセヌ

○伊藤委員 採草地ニハ火ヲ入レナケレバ全ク是ハ全然草ガ採レナイ、第一蝮ガ非常ニ殖エル、草ノ中ニ蝮ガ一杯入ツテ來テ逆モ危クテ仕様ガナイ、ソレト火ヲ入レナイト木ノ株ガ残ツテシマフ、草ヲ刈ルノハ到底不可能デス、ダカラ山形縣、東北ニハ澤山採草地ガアルケレドモ、火ヲ入レサセナイ爲ニ全ク利用價值ガナイノデアリマス、是ハ實際吾々ノヤウニヤツタ者デナイト分ラナイノデアリマスカラ、其ノ火ノ危險ノナイ所ニハ一ツ山林局長ハ、サウ云フ吾々ノ熱烈ナル要求ヲ何トカシテ、東北ニ對シテ、其ノ他ノ山間地ニ對シテ、火ヲ入レテモ差支ナイヤウナ——防火地區ト云フモノガチヤントアリマスカラ、決シテ心配ガナイノデアリマス、ソレニ肥料ノ問題カラ云ツテモ、又馬ノ牧草ノ問題カラ云ツテモ、是ハ非常ニ大事ナコトデアリマスシ、國策ニ順應シタ一ツノ方策ダト思ヒマスカラ、ドウカ一ツ何トカシテ東北ノ採草地ニ對シテハ火ヲ入レテモ宜イト云フヤウナ御取計ヒヲ願ヒタイト思ヒマス

○村上政府委員 研究シテ見マス、二ツノ

説ガアリマス

○伊藤委員 研究シテ見ルコトハ非常ニ有難イケレドモ、吾々ノヤウニ實驗ニ即シタ人間ノ説ヲ容レテ一ツ御研究アランコトヲ願ツテ私ノ質問ヲ終リマス

○北委員長代理 松尾君

○松尾(四)委員 私ハ昨日ノ質問ニ關聯シマシテモウ少シ組合ノ經費及ビ收益分配ノコトニ付テ伺ヒタイノデス、ドウモ此ノ組合ノ構成トソレカラ組合ノ經費ノ分賦等ニ付テ、此ノ法案ヲ精讀シテ見マスト疑問ノ點ガ出ルノデス、ソレデ其ノ點ヲ伺ヒタイ、第一ニ伺ヒタイノハ、第六十二條ニ森林組合ノ規定ガアルノデスガ、此ノ森林組合ノ場合ニ於テハ第七十條ノ出資組合ニアラザル組合デアリマシテ、是ガ本法案ノ一番通則的ナ組合ノ規定ニナツテ居リマスガ、此ノ組合ノ仕事ハ施業案ヲ編成シ、其ノ目的トスル所ハ「森林組合ハ組合員ノ所有スル森林ニ付自ラ施業ヲ爲シ又ハ組合員ノ施業ヲ調整シテ森林生産ノ保護ヲ圖ルヲ以テ目的トス」斯ウアルノデス、ヤハリ施業案ヲ編成シテ、サウシテ施業ヲ行フト書イテアル、サウ致シマス、其ノ施業案ヲ行フト云ヘバ事業ヲ行フヤウニ思ヒマスガ、是ハ事業ヲ行フノデアリマス、施業スルト云

フコトモ書イテアリマスカラ……

○村上政府委員 是ハ一項ト二項ト二ツノ態様ノ森林組合ガアルノデアリマス、一項ノ森林組合ハ自ラ事業ヲ行フ組合デアリマス、是ハ現ニ合同作業組合ト云フ森林組合ガアリマス、ソレヲ言ウテ居ル譯デアリマス、主トシテ共有林或ハ部落有林ノ變形ノヤウナモノデ、各人ガ共有デ持ツテ居ル、斯ウ云フヤウナ森林ニ付テ普通ヤツテ居リマス、第二ノハサウデナクシテ、昨日カラ御質問ニナツテ居ル今度作ツテ行カウト云フヤウナ森林組合デアリマシテ、組合ハ組合員ノ爲ニ施業案ヲ編成シ、サウシテ之ニ基イテ組合員ノ爲ニ施業ヲ調整スルト同時ニ、施業ニ必要ナル共同施設、例ヘバ林道ヲ作ルトカ云フヤウナコトヲヤル、斯ウ云フ譯デ、一ト二ハ違ツタ形態デアリマス

○松尾(四)委員 所ガ其ノ經費ヲ組合員ニ分賦スルコトヲ又更ニ決メラレテ居ルノデス、ソレハ第六十九條ノ二決メラレテ居ルノデス、其ノ第六十九條ノ二ノ所決メラレテ居ルノニ依リマス、事業ト云フコトニ要シタ經費ハ分賦出來ヌヤウニナツテ居ルヤウニ思フノデスガ、ドウデゴザイマス、組合員ニ分賦シ得ベキ經費ハ、役員及施業技術者ノ給料旅費、事務所費、會

議費等ノ事務費並ニ施業案ノ編成及檢討費、斯ウ云フヤウナモノデスカラ、事務的ノコトバカリデ、仕事ノコトハ少シモ入ツテ居リマセヌカラ、若シ事業ヲナサツタラ、其ノ仕事ト云フモノニ對シテノ經費ハドウシテ支出スルノデスカ

○村上政府委員 第六十九條ノ二ノ二項ハ出資組合ノ場合デアリマス、出資組合ノ場合ニ於テ、第七十條ニ書イテアリマスヤウナ、資金ノ貸付トカ、或ハ特ニ貯木場ヲ經營スルトカ、斯ウ云フヤウナコトハ出資デヤレ、サウシテ組合ノ組合役員ノ俸給、施業案ノ編成、サウ云フヤウナモノハ費用ノ分賦デヤレ、斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、ソレデ是ハ出資組合ニ關スル規定デアリマシテ、合同施業組合ト云フノハ出資ヲ必要トシマセヌ、出資シナクテヤレル組合デアリマスカラ、是ハ分賦デヤル譯デアリマス、經費ノ分賦デヤツテ行キマス

○松尾(四)委員 サウ致シマス、此ノ場合ノ組合ヲ設立致シマスニ當リマシテハ、組合員ニナル資格ハドウシテ御決メニナルノデアリマス、分賦ト言ヘバヤハリ組合員ニ均等ニ賦課サレルモノト思フノデス、甲ノ組合員ト乙ノ組合員トノ間ニ不公平ハナイ譯デスガ、此ノ事柄ニ依レバ、施業ニ依ツテ

受ケル所ノ利益ハ非常ニ差違ガアリマス、大キナ山林ヲ持ツテ居ル人ハ大キナ利益ヲ受ケル、小サイ山林ヲ持ツテ居ル人ハ利益モ小サイ、然ルニ其ノ經費ノ分賦ハ均等デアル、斯ウ云フコトニナルト、此ノ間ニドウモ一致セヌ所ガ出來ルノデスガ、ドンナ工合ニナツテ居ルノデスカ

○村上政府委員 無論分賦ノ方法ハ定款ニ依ツテ定メマスガ、普通ノ所謂六十二條ノ二項ノ組合デアレバ面積割ニナルノガ至當ダト思ヒマス、尙ホ面積割ト申シマシテモソレハ用材林ト薪炭林デ多少ソコニ違ヘナケレバナラヌコトハアリマス

○松尾(四)委員 面積割ト云フト、ドウモ何カ御考違ヒハアリマセヌカ、個々ノ山林ト云フモノハ面積ノ上ダケデハ到底山林ノ價值ヲ決メラレマセヌ、施設サレマシタ施業ガ山林ニ與ヘル利益ハ面積デハサイト思フノデス、其ノ山ノ價值ニ對シテ與ヘラレル、十萬圓ノ山ニ與ヘラレル價值ト五萬圓ノ山ニ與ヘラレル價值ハ非常ニ違フ、ソレハ面積デハナイ、面積ノ上ニアル物件ニ依ツテ違フ、私等ノ方ハサウナツテ居ルガ、ソレハ面積ノミニ比例シテヤルト非常ナ不公平ガ起ルヤウニ思フノデスガ……

○村上政府委員 面積割ト云フノハ一寸言

葉ガ足リナカツタノデ、森林ノ評價額ニ依
ル譯デス

○松尾(四)委員 サウ致シマス此ノ組合
ヲ構成シマス時ニ口數ニ差違ヲ設ケルヤウ
ニ昨日ノ御答辯ガアリマシタ、其ノ地域内
ニ於ケル、即チ其ノ一組合ノ中ニアル山林所
有者ノ評價ニ準ジテ口數ヲ決メヨウ、但シ
其ノ口數ハ全口數ノ五分ノ二以上一人ハ超
エルコトヲ得ナイト云フコトニナツテ居ル
ノダト云フ御話デゴザイマシタガ、口數ニ
依ツテ決メタ其ノ出資ニ對シテ分賦サレマ
スカ、又ソレハ別ニ其ノ評價額ニ對シテ分
賦サレマスカ

○村上政府委員 分賦ハ今モ申上ゲタ通り
大體定款ニ依リマシテ評價額面積等ヲ睨ミ
合セテソレヲ分賦スル譯デアリマス、ソレ
デ出資ト云フモノトハ違ヒマスガ、出資ニ
應ジテ分賦スルノデハゴザイマセス、出資
ハ是ハ別ノモノデゴザイマス

○松尾(四)委員 サウスルト、出資ノ組合
ト此ノ第六十二條ニ依ル組合トハ全然別箇ノ
モノニナルノデゴザイマスガ、全然第六十二
條ノ組合ニハサウ云フ口數ノ關係ハ起ラナ
イデモ宜イ譯デス、詰リ山林ノ評價ニ對シ
テ分賦スルト云フノデスカラ、組合ノ出資
ガ箇々ノモノデアツテモ、均等ノモノデア

ツテモ構ハスノデスガ、ソレモ餘程違フヤ
ウニ思フノデスガ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○村上政府委員 出資ヲシナイ組合ニ付テ
ハ費用ノ分賦ハ是ハ今申上ゲマシタヤウナ
方針デヤル譯デアリマス、ソレカラ出資ヲ
スル組合ニ付キマシテハ色々ノ特別ノ事業
ヲスル、是ハ必ズシモ組合員ノ全體ガ利益
スルコトデハナイノデアリマスカラ、是ハ
特ニ出資ノ形態ニ依ツテ各自ガ出資ヲシテ
之ニ依ツテソツチノ方ノ費用ハ補ツテ行ク、
併シ出資組合デアツテモ役員ノ費用トカ技
術員ノ費用トカ會議費トカ、斯ウ云ツタヤ
ウナモノハ費用ノ分賦デ行ク、即チ出資組
合ニ付テハ二ツアル譯デアリマス、經常費、
事務費ノヤウナモノハ費用ノ分賦デ行ク、
特別支出ノモノガ出資デ行ク、斯ウ云フ譯
デアリマス

○松尾(四)委員 私ハドウモ是ハ實際ノ運
用ニ當ツテハ色々ナ障礙ガ起ルト思フコト
ヲ實ハ憂ヘルノデスガ、今當局ノ御考ニナ
ツテ居リマスノハ現行ノ森林組合ヲ考ヘテ
居ラレルノデスガ、今度ノ法案ニ依ツテ一
町村ヲ一區域トシテ、ソレヲ網羅シタル大
キナ森林組合ヲ拵ヘタ場合ハ全然違ヒマス、
此ノ點能ク御考ニナラナイト非常ナ不公平
ナコトニナル、此ノ條文デ行キマス、殆

ド行ヒ得ナイヤウナコトガ起ル、ソレハ段
段御間ヒシテ行クト分リマスガ、何故カト

云フト、今地方ニ於テ森林組合ヲヤツテ居
ルノハ利害ノ伴ツタ者ガ申合セテソコニ作
ルノデス、ソレハ全ク利益ガ目的ニナリマ
シテ、勿論農林當局ナリ地方長官ナリノ御
心配ニ依ツテソレニ相當ノ施設ヲスル必要
ガ起ルノデスカラ、此ノ利害關係ガ集ツテ
ヤル、斯ウ云フノデスガ、今度ノハサウデ
ハナイノデス、全然反對スルモノガアルカ
モ知レナイ、一町村ヲ一區域トスルト相當
ノ大キナ區域デアリマス、其ノ區域内ニ又
評價ト云フモノガ非常ナ差異ガ起ルノデ
ス、ソレハ私ハドウ云フ風ニシテ公平ナ負
擔ヲシ、公平ニ收益ヲ分配スルコトガ出來
ルカ、ドウモ此ノ法案カラ見ルトドウシテ
モ此ノ點ガ出テ來ナイノデスガ、ソコデサ
ウ云フコトヲ諄々シク御尋スルノデス、デ
スカラ、御考違ハナイノダラウトハ思ヒマ
スケレドモ、昨日ノ御答辯ニ依リマシテ
モ、出資組合ニアラザル組合ヲ拵ヘテ置イ
テ、ソレカラ定款ヲ變更シテ又出資組合ガ
出來ルノダ、斯ウ言ハレルガ、ソナコト
ハ出來ナイノデス、出資組合ニナル場合ニ
ハ利害關係ガ全然變ツテ來ルノデス、此ノ
組合ハ分賦ノ條件ガ決ツテ居リマス、出資

組合ト云フ方ハ非常ナ事業ヲ行フ、其ノ事
業ニハ、茲ニハ營利ヲ目的トセズト書イテ

ゴザイマスケレドモ、營利ヲ目的トシナイ
ノナラ生産加工ト云フヤウナ事業ハ出來マ
セヌ、又ソレヲシナイノナラバ組合トシテ
ノナニハアリマセヌ、丁度ハ信用組合、
今ノ産業組合ノヤウナ仕事ヲヤラス御考ダ
ラウト思ヒマスガ、ヤハリ其ノ收益ノ分配
モヤラナケレバナラス、若シ損失ヲシタ場
合ニハ、是ハ大變ナコトナデス、損失ヲ
シタ場合ニハ、是ハ其ノ出資者ノ出資口數
ニ應ジテ全部其ノ損失ノ責任ヲ負ハナケレ
バナラスト云フコトモ第七十條ノ三デ決メ
ラレテ居ルノデス、第七十條ノ三デ債務ヲ
完済スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員ノ
全員ハ其ノ出資額及第六十九條ノ二ノ規定
ニ依ル費用負擔ノ外定款ノ定ムル一定ノ金
額ヲ限度トシテ組合ニ對シ責任ヲ負擔ス
斯ウアリマスガ、是ハ相當ナ金額ニナルノ
デス、一村ガ一組合トナルト大キナモノデ
スヨ、デスカラ出資組合ニアラザル組合ガ
一旦出來テ居ツテ、定款ノ變更ヲシテ直グ
ニト云フ、サウ簡單ニ行クモノデヤナイト
思フノデスガ、ソレガ御考ガ違ツテ居リハ
シナイカト思フノデス、ソレカラ出資組合
ノ方ハ評價ニ依ツテ口數ヲ決メテ出資セシ

メル、斯ウ云フコトニナツテ、ソレハ評價ニ準ズルノデスカラ出資ノ標準ハソレデ出テ参リマス、所ガ其ノ山林所有者ガ數年後ニ賣拂ツテシマツタ其ノ土地内ニ於テ評價サレルモノガ全クナクナルカモ知レナイ、サウ云フ場合ハ能クアルノデス、其ノ時ニハ又はハ直グ脱退スルカナンカセナイト、全ク組合ト利害關係ノナイ者ガ分賦或ハ收益ヲ主張シ義務ヲ負擔セナケレバナラスト云フヤウナコトガ起ルノデスガ、斯ウ云フ場合ニハヤハリ今日豫メ規定ヲ決メテ置カスト非常ナ紛糾ヲ來スモノダト思フノデスガ、ドウ云フ御考デスカ

○村上政府委員 森林所有者ニ限ツテ組合員デアリマスカラ、森林ヲ賣拂ツタ者ハ當然組合員カラ脱退スル、是ハ法律カラ當然出テ來ル、ソレカラ收益分配ト言ヒマスカ、收益分配ハ普通ノ組合デハ致シマセヌ、是ハ先程中シマシヤウナ共有林トカ何トカ云フモノニ限ツテ、組合員ガ合同施業ヲシテ、自分カラ收益シタ場合ニ其ノ收益ヲ分配スル、普通ノ場合ニハ收益分配ハ起ラヌト思ヒマス、尙ホ出資組合ニハ容易ニナレナイ、是ハ御承知ノ通り定款ノ變更事項ハ三分ノ二以上ノ同意ヲ必要トスル、隨テ一村ノ森林所有者ガ集ツテ、森林組合ガ出來

タナラバ、其ノ三分ノ二以上ノ同意ガナケレバ、是ハ出資組合ニハナレナイ、是ハソレデ宜シイト思ヒマス、ダカラ其處ニ於テ三分ノ二以上ノ者ガ同意シタ時ニ初メテ出資組合ニナルノダ、サウシテ出資組合ニナレバ又ソレダケ事業ノ範圍ヲ擴充スル、斯ウ云フ譯デアリマス、併シ出資組合ニスルヤウニ私ノ方ガ皆指導シテヤル譯デモアリマセヌ

○松尾(四)委員 サウスルト最初ニ出資組合ニアラザル組合ガ出來マシテ、其ノ組合員ノ三分ノ二以上ノ決議デ定款ヲ變更スレバ出資組合ニナルト、斯ウ言ハレルノデスカ——サウ致シマスト最初出資組合ニアラザル組合ガ出來ル場合ニ、ヤハリ財産ノ評價ニ依ツテ口數ヲ御決メニナツテ居ルノデスカ、サウ云フ場合ハ出資組合ノ時ニ限ツテ口數ヲ決メラレルノデスカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○村上政府委員 議決權ノ問題ハ重大ナル事項デアリマスカラ、初メニ組合ヲ設立スル時ニ定款デ議決權ハキチツト決メテ置カナケレバナラス、ソレカラ申上ゲマスカ、初メカラ出資組合ヲ作ツテモ宜シイノデス、組合ヲ設立スルト共ニ、此ノ出資組合ニスルト云フコトニ同意スレバ、初メカ

ラ出資組合ヲ作ツテモ宜イ、併シ出資組合ハ吾々ノ方デハ強制シナイ、何モ一旦組合ガ出來テ、更ニ定款ヲ變更シテ出資組合ニスル必要ハナイ、初メカラ出資組合ニシヨウト思ツテ總テノ人ガ同意スレバ、出資組合デモ宜シイ

○松尾(四)委員 ソレデハ最初ノ出資組合ニアラザル組合ヲ作ル時ニ於テモ、評價ニ依ツテ口數ヲ決メラレルノデスカ、即チ權利口數ヲ決メルノデスカ、其ノ出資口數ト云フモノハ、出資組合ニアラザル組合ニ於テモ、即チ第六十二條ノ二此ノ組合ニ於テ出來ルト云フノガアルノデスカ、其ノ出資口數ヲ決メテ置クカ、決メテ置カスカト云フコトガ問題ナノデアリマス、現行ノ森林組合ニ於テモ、サウ云フモノハ出來テ居ルト思ヒマスガ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○村上政府委員 現在ノ森林組合ニ於テモ、議決權ノ數ハ必ズ決ツテ居リマス、議決權ノ數ハ是ハモウ設立ノ時ニ必ズ決メナケレバナラス、議決權ノ數ト出資ノ口數トハ違ツテ居リマス、出資ノ口數ハ自由デアツテ、一口以上持ツベシト云フノデ、三口持ツテモ、二口持ツテモ、一口持ツテモ宜イ、出資ノ口數ト議決權トハ別個デアリマス、ソレハ組合ガ營利ヲ目的トセザル法人デアリ

マスカラサウナル、出資ノ多寡ニ依ツテ議決權ヲ持ツト云フコトニナリマス、營利ノ法人デアリマス、ダカラ出資ノ口數ト議決權ノ口數トハ違フ

○松尾(四)委員 出資ハ一口ニ三十圓ト云フ程度ニ書イデアリマスガ、此ノ口數ガ權利口數ニナルノデハナイノデスカ、サウ致シマスト別ニ權利口數ヲ定メルノニハドウ云フコトニナルノデスカ

○村上政府委員 出資ノ方ハ一口以上持テバ宜イノデアリマシテ、是ハ自由デアリマス、幾ツ持タウト自由デアリマスガ、餘リ澤山持ツコトハ困ル、併シナガラ議決權ノ方ハ必ズ是ハ一定ノ森林ノ面積及ビ評價額ニ依ツテ、一人ガ一箇、二箇三箇四箇五箇十箇トカ、キチツト決メナケレバナラス、議決權ガ決マラナイト定款ノ作成モ組合ノ設立モ決マリマセヌ

○松尾(四)委員 サウ云フコトニナリマス、議決權ハ、評價額ガ非常ニ少イ人モ、非常ニ大キナ人モ、即チ大キナ山林家モ、小サナ者モ、一箇ハ一箇ノ權利デスカ

○村上政府委員 昨日カラ屢、申上ゲテ居リマスガ、議決權ハ組合員ノ森林ノ面積及ビ評價額ニ比例シテ、一箇ノコト、或ハ二箇、三箇、四箇、五箇、或ハ又三十箇ト云

フヤウナコトモアラウト思ヒマス、決シテ一人一箇デハゴザイマセヌ、議決權ハソレハ大事ナモノデ、各人ガ一ツダツ云フコトニナリマス、是ハ一町ノ森林所有者モ五十町歩ノ森林所有者モ、議決權ガ一箇ト云フコトニナツテハ、是ハ到底サウ云フコトデハ仕様ガアリマセヌカラ、サウデハナイヤウニシテ居リマス

○松尾(四)委員 稍ハツキリシテ参リマシタ、私ハドウモ法文ヲ讀ンデ考ヘ違ラシテ居ルノカモ知レマセヌ、更ニ能ク考ヘマシテ、尙ホ本法案ヲモウ一度讀ミマシテ、更ニ伺ヒマス

ソレカラ今アナタハ收益ハ分配シナイヤウニ言ハレマシタガ、第六十九條ノ六ニハ、是ガ非常ニハツキリト書イテアルカラ御尋シタノデス、是ニハ「組合ノ施業ノ範圍ニ於テ使用及收益ヲ爲スノ權利ヲ有ス」此ノ收益ハ「森林ノ評價額其ノ他命令ヲ以テ定ムル標準ニ依リ之ヲ組合員ニ分配スヘシ」トハツキリ書イテアル、ソレデスカラ私ハ御尋ラスルノデス、サウ云フコトガ條文ニアルカラ御尋致シマス

○村上政府委員 組合員ノ所有スル森林ニ付キ施業ヲ編成シ、施業ヲ爲スコト、即チ合同施業ヲアル、即チ組合ガ恰モ自分ガ全部ノ山ヲ持ツテ居ルト同ジヤウニ、自分

デ伐採ラシ、サウシテソレヲ賣ル、賣ツタ所ノ收益ヲ今度ハ各組合員ニ之ヲ分配スル、斯ウ云フヤウナ組合、是ハ共有林デナケレバ行ハレナイ、合同施業組合ト言フノハ是デス、今モヤハリサウ云フ組合ハ多數アリマスカラ、是ハ今後モ殘ツテ來ル、是ハ今後トツサリ出來ルモノトハ思ヒマセヌガ、普通奈良縣地方ニアリマスル組合ハ、各人

ガ自分デ施業シテ、自分ノ木ヲ自分デ伐ラレルノデスカラ、收益分配ト云フコトハ起ツテ参リマセヌ

○北委員長代理 ソレデハ午後二時マデ休憩致シマス
午後零時十分休憩
午後二時十八分開議

○小山委員長 午前ニ引續キ會議ヲ開キマス——川俣君

○川俣委員 私此ノ森林法ノ改正法案ニ付キマシテ、種々ナル點カラ政府ノ答辯ヲ求メタイト思ヒマス、先ヅ大臣ニ御尋致シタイト思ヒマスガ、大臣ガ御見エニナラナイノデアリマスカラ、事務當局カラ意見ヲ御伺致シテ置キタイト思ヒマス

第一ノ點ハ、私ノ本會議ニ於ケル質問ニ對スル大臣ノ答辯ノ中ニ、此ノ森林法ト入會權トハ關係ガナイト云フヤウナ御答辯ガ

アツタノデス、事務當局モ左様御考ニナツテ居リマスカドウカ、其ノ點ヲ第一ニ御伺シタイノデアリマス

○村上政府委員 森林法ノ改正ト入會權トハ關係ガナイト思ヒマス、勿論此ノ法律ノ改正ニ依ツテ現行ノ入會權ヲドウスルスト云フコトハ致シマセヌ、唯入會權ガ整理セラレテ、其ノ結果森林トシテ管理スベキ土地ト決ツタモノニ付キマシテハ、此ノ森林法ニ依ツテ施業ヲ確定スルト云フコト

ニナリマスガ、入會權ノアル所ハマダソレガ果シテ林野トシテ經營スルノカ、サウデナイノカ、決ツテ居ラナイ所ガ大分アル、斯ウ云フマダ未確定ノ所ニ付テハ森林法ヲ其ノ儘適用スル譯ニハ参リマセヌ

○川俣委員 ソレデハ御尋致シタイノデアリマスガ、私有林ト言ヒマシテモ、公有林竝ニ私有林ノ中デ荒廢シテ居ルト云フヤウナ所ニ對シテ恐ラク施業案ガ計畫サレルノデアラウト思ヒマスガ、其ノ荒廢致シテ居ルヤウナ所ハ何故荒廢致シテ居ルカ、何故無立木地ニナツテ居ルカト云フヤウナ點ニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイ

○村上政府委員 從來公有林野ニ付テハ他村ノ入會權ガ大分多カッタ、サウ云フコトガ荒廢ノ原因デモアルト認メマシテ、治水

事業費ニ依リマシテ、數箇村入會ト云フノヲ段々整理スル方針ヲ執リマシタ、其ノ結果此ノ間御提示致シマシタ資料ニアリマス通り、一ツノ山ニ對シテ數箇町村ガ入會シテ使用スルト云フ慣行ハ非常ニ減ツテ居リマシタ、隨テ今日荒廢シテ居ル林野ハ此ノ入會權ノ結果ニ依ツテ荒廢シテ居ルト云フ所ハ極メテ少イノデアリマシテ、ソレハ其ノ外ノ原因、例ヘバ地質ガドウモ花崗岩質其ノ他ノ關係上餘程十分ニ管理經營シナイト次第ニ荒廢シ勝チデアル、斯様ナモノデアルトカ、或ハ年々野火ガ多クシテソレガ爲ニ造林等ガ出來ナイトカ、或ハ植伐ノ均衡ガ破レテ伐採跡地ガ其ノ儘荒廢シタトカ、或ハ薪炭林デアツテ十分ニ改良ガウマク行ツテ居ラナイガ爲ニ一體ニ非常ニ荒廢シタ粗惡林相地ノ薪炭林ニナツタ、斯様ナ所ガ多イト思ツテ居リマス

○川俣委員 私共ノ見ル所デハ一體公有林地ガ他ノ私有林ト比較シテ非常ニ荒廢シテ居リ、又無立木地ガ多イト云フコトハ、大體私共ノ見ル所デハ、其ノ公有林中ニハ長イ間ノ慣習ニ依ル所ノ部落有林、或ハ入會權ノ慣行ヲ有スルモノガ多イト云フコトガ原因ノ第一ダト思フノデス、又町村ガ貧弱ニシテ林野ヲ經營スル餘裕ガナイト云フヤウ

ナ、大體此ノ二點デナイカト思フノデス、私共ノ考ト當局ハ御考ヲ異ニシテ居ラレルカドウカ、其ノ點モウ一度確メタイト思ヒマス

○村上政府委員 昔ハ公有林野ノ荒廢ガ著シカツタノデス、併シナガラ一方入會ノ整理ヲ致シマスト共ニ、他面ニ於キマシテ造林ヲ獎勵シ、施業案ノ編成ヲ命ジタ、サウ云フヤウナコトノ爲ニ今日公有林野ハ明治ノ終カラ見ルト面目ヲ一新シテ居リマス、唯今日尙ホ殘ツテ居ル部落有林野等ハ相當荒廢シテ居リマスガ、從來部落有林野ハ町村ニ統一シロ、斯ウ云フ議論ガ多カツタガ爲ニ、部落有林野ニ對シテハ山林局等ニ於テ何等ノ施設ヲシテ居ラナカツタ、即チ造林ノ補助モ致サズ、其ノ他ノ補助モ致サナカツタコトガ荒廢ノ一ツノ原因ニナツテ居ルト思ヒマス、併シ部落有林野ニ對シテサウ云フヤウナ繼子のニ扱フコトハ今日ノ情勢ニハ適セズ、今後ハ部落有林野ニ對シテモ造林ノ補助其ノ他ヲ徹底致シマシテ、部落有林野等ノ荒廢ヲ防グヤウニモウ少シ施設ヲシテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○川俣委員 ソコデ大體政府ノ部落有林並ニ公有林ノ中ノ入會權ノ慣行ノアルモノヲ統一サレテ、而モ日本ノ林政ノ大本ヲ立テ

ヨウトサレル意圖ダケハ分ルノデアリマシテ、其ノ意圖ト今申上ゲダ入會權ト云フモノハ必ず衝突スルモノダト思フノデス、殊ニ此ノ法案ノ唯一ノ目標ニサレテ居ル所ハ無立木地デアリ、荒廢地デアルト致シマスレバ、私有林中最も荒廢地ノ多イ、無立木地ノ多イ公有林ガ當然其ノ目標ニナリ、ソレト相俟ツテ其ノ附屬シテ居リマス私有林ガ此ノ施業案ノ目標ニナラザルヲ得ナイデアラウト思フ、御承知ノヤウニ私有林ダケガ集團シテ居ルモノデモアリマセヌ、公有林ノミガ集團致シテ居ルモノデモアリマセヌ、隨テ公有林ト私有林トノ間ニ入亂レテ森林地ガアルノデアリマスカラ、一ツノ施業案ヲ立テマス上カラハ、必ず荒廢地所謂無立木地ガ、公有林、私有林共ニ施業案ノ目標トナラザルヲ得ナイデアラウト思フノデスガ、其ノ點ニ付テノ御意見ハ如何デアリマスカ

○村上政府委員 公有林野ニ付キマシテハ、既ニ御承知ノ通り二百二十二万町歩ト云フモノガ既ニ施業案ガ確定シテ居リマス、殘リノモノハドウ云フモノカト云フト、是ハマダ大體森林トシテ管理スベキカ或ハ牧野或ハ採草地トシテ管理スベキカ、サウ云フコトノ未決定ノモノ、或ハサウデナク

トモ、此ノ部落有林野或ハ自己山入會ト申シマシテ、共同使用地、斯ウ云フヤウナモノハ施業案ガ確定サレテ居ラナイ、ソコデ私共トシテハ、今マデハ部落有林野ニ對シテハ、之ヲ町村ニ統一スルト云フヤウナ方針ヲ取ツテ居リマシタ、併シ是ハ私ハ今デハソレニ對シマシテ寧ロ反對ノ意見ヲ持ツテ居ルノデアリマス、部落有林野ヲ強ヒテ町村ニ統一スル必要ナシ、是ハ現ニ仄聞スル所ニ依リマス、此ノ度町村制ヲ改正シマシテ、部落ニモ法人格ヲ認メテ相當ノ財産ノ所有、處分ト云フモノヲ認メヨウ、斯ウナレバ、部落有林野ト云フモノヲ敢テ町村ニ統一スル必要ハナイト思ヒマス、ソコデ從來此ノ部落有林野ニ對スル山林局ノ態度モ多少此ノ際改メナケレバナラス、即チ從來ハ之ニ對シテ補助金モ何モヤラナイ、補助金モ何モヤラナイデ困ツタラ統一スルダラウ、斯ウ云フヤウナ策ヲ執ツタ、是ハ非常ニ私ハ誤マレル策デアルト思フノデアリマシテ、今後部落有林野ト致シマシテモ、其ノ中森林トシテ經營スベキモノニ付テハ施業案ヲ立テルト共ニ、之ニ補助金等モヤルベキモノト思ヒマス、又共同使用地等モ是モ必ズシモ自己山入會ヲ解消スル必要ガナイ、共同使用地デアツテモ、唯放漫ナ使ヒ方ハイケナイ、

ヤハリ之ヲ薪炭林トシテ取ルトカ或ハ綠肥ヲ採取スル營場ト云フコトニシテ、綠肥ヲ採取スル所ハ、共同ノ儘デモ、共同使用ヲ規制スルト十分ニ立派ナ營場ニナツテ綠肥ガ採レルト思フ、隨テ營場ヲ作ルトカ、或ハ綠肥ヲ採取スルト云フ所ハ、無論是ハ森林地帶デハナイノデスカラ、斯ウ云フ所ハ施業案ノ適用ヲ省イテ宜イ、唯共同使用地ノ中デモ薪炭林、散生地ト云フ所ハ是ハ森林狀態デアリマスカラ、是ハ施業案ヲ作ツテ行ツテ合理的ニ共同使用ナラ共同使用デモ宜シイカラ、作ラシテ行キタイト思フ、尙ホ公有林ハ普通ノ場合ニ於テハ森林組合ニ入ル義務ハナイト思ヒマス、是ハ獨立シテヤツテ行ツテ宜シイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○川俣委員 今ノ部落有林ニ對スル局長ノ御考ニ付テ私共ハ全く意見ヲ同ジウスルノデアリマシテ、當局ガ其ノ方針デアラルルコトヲ私ハ大イニ希望スルノデアリマス、殊ニ局長モ仰セノヤウニ、内務省ニ於テ最近町村制ノ改正ヲ目論ンデ居ラルル中ニハ部落ノ強化ト云フヤウナコトガ考ヘラレテ居リマスノデ、ソレト相俟ツテ部落地ニ對スル或ハ共有地ニ對スル特別ノ保護、援助ト云フモノガ日本ノ林政ノ上ニ非常ニ大キ

ナ役割ヲ持ツデアラウト云フコトヲ私共ハ期待致シテ居リマスノデ、當局ノ其ノ方針ニ付キマシテハ私共賛成ヲ表スルノデゴザイマスガ、問題ニナリマシタ公有林ニ付キマシテ、施業案ノ目標ニナラナイト申サレマシタガ、私共ハ公有林ト云フ中ニ所謂共同林、共有林ト云フモノモ考ヘテ居ルノデス、ソレハ施業案ノ目標ニナラナイノデスカドウデスカ

○村上政府委員 共有林ハ無論ハ森林地帯デアル以上施業案ノ目標ニナラナケレバナリマセヌ

○川俣委員 サウスルト私共ハ公有林ト云フノハ、公有林ト云フ言葉ガ非常ニ廣範圍デ、其ノ範圍ヲ確定シ難イト思ヒマスガ、普通ノ觀念カラ言ヘバ、公有林ト云フ中ニハ、實際法規上ハ別ト致シマシテモ、御承知ノヤウニ部落有林ガアリ、或ハ共同ノ所有林ガアルト云フヤウナコトニナリマスノデ、私が先程カラ申上ゲテ居ルノハ、所謂公有林ノ中デモ部落有林或ハ共有林ヲ指シテ言ツテ居ルノデゴザイマス、是等ガヤハリ施業案ノ目標トナルト致シマスレバ當然施業案ノ實行ニハ、森林法ノ第十三條ガ適用サレ、其ノ施業案ノ實施ヲ可能ナラシメルト思フノデアリマス、隨テ森林法ノ第九

十五條ノ罰金モ可能ニナル、隨テ入會權ノ制限トナツテソレヲ侵ス者ハ罰則ニ觸レルト云フ工合ニ相成ルト思フノデアリマス、入會權ト此ノ森林法ト關係ガ無イト云フ建前ガ、ドウシテモ私共ニハ理解出來ナイノデゴザイマス、入會權ヲ何等カノ形デ制限スルト云フ考ヲ持タズニ施業案ガ實施サレルト云フコトハ考ヘラレナイノデゴザイマスガ、其ノ點ニ付テ……

○村上政府委員 所謂共有林ニ對シテハ入會權ト云フモノガ、是ハ色々ナ見方モアリマセウガ、私ハ無イト思ヒマス、公有林ニ對シテハ入會權ト云フモノガアル、斯ウ云フ解釋ヲ執ツテ居リマス、公有林ノ共同使用地ニ付キマシテハ、從來ハ色々ナ慣行ガアリマスガ、是ハ御承知ノ通り部落ノ決議及ビ町村條令等ニ依リマシテ、其ノ入會權ノ内容ハ變ヘルコトガ出來マス、即チ今マデ柴ヲ何束取ツテ居ツタケレドモ、是カラハ何束以上ハ取ツテハナラナイト云フヤウナコトニ變ツテ來ル、入會權ノ内容ト云フモノハ一定不變デナク、古來カラ永久ニ變ラヌモノデナク、ヤハリ其ノ時ノ事情々々ニ依ツテ、時勢ノ進歩ニ伴ツテ變ヘテ行クベキモノデアリ、又行クノデナケレバナラヌ、從來ノ儘放漫ナル使ヒ方スレバ、山

ハ段々無クナツテシマフカラ、ヤハリ入會權ノ内容ハ、各人ノ入會フ所ノ態様ヲソレゾレ規整シテ行クト云フコトガ必要ト思ヒマス

○川俣委員 局長ノ御意見ト私ノ意見ト喰違フノデスガ、部落有林ト云フハ公有林デヤナイノデスカ

○村上政府委員 部落有林ハ公有林デアリマス

○川俣委員 部落有林ハ此ノ施業案ノ目標ニハナラナイノデスカ

○村上政府委員 部落有林ハ施業案ノ目標ニナリマス、併シナガラ部落有林ハ必ず全部入會權ガアルト云フ譯デハナイノデアリマシテ、ソレハ部落有林ノ中ニモ、入會權ノアル所モアルシ、無イ所モアル、ソレデ先ヅ施業案ヲ作ルニモ、部落有林等ニ付テハ森林ニスベキカ、或ハ營場デアルカ、或ハ綠肥採草地デアルカ、ソレガ決ツテ居ナイ、先ヅソレヲ決メナケレバナラヌ、ソレガ決ツテ之ヲ森林或ハ造林ニスベキ土地トナツタ所ダケ施業案其ノ他森林法ガ適用ニナルノデアツテ、營場トカ、綠肥採草地ト云フモノハ、森林法ノ適用ガ全然出來ナイノデアリマス、サウ云フ方面ニ對スル色々ノ處置ト云フモノハ、ドウシテモ此ノ森林

法デ變ヘル譯ニハ參リマセヌ

○川俣委員 ソコデ御尋シナケレバナラヌノデスガ、私ハ別ニ入會權ヲ制限スルコトガ必シモ惡イト云フヤウナ觀念デ言ツテ居ルノデナクテ、一定ノ林政ヲ立テマスル上カラ施業案ガ計畫サレ、其ノ施業案ノ計畫ノ中ニハヤハリ入會權ト云フモノガ問題ニナルノダ、問題ニナツタ場合ドウ云フ處理ヲスルカト云フコトヲ大體御尋フシタイ爲ニ今マデ議論ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレデ是ガ農林省デ立案サレ、實際計畫サレルノハ各府縣長官デアリマスガ、農林省ノ意圖サレテ居ル意圖ガハツキリ致シマセヌト、地方長官ノ施業案ノ指導、輔導ニ當ル場合ニ於キマシテモ、或ハ計畫ヲ命ズル場合ニ於キマシテモ、ソコニ色々ナ齟齬ガ來シハセヌカト考ヘマスノデ、入會權ニ對スル將來ノ制制竝ニ處理竝ニ指導ニ付テノ御意見ヲモウ一度承リタイト思ヒマス、尙ホ地方長官ガ大體施業案ニ對スル監督權ヲ持ツテ居ルノデアマスガ、地方長官ト農林省ト此ノ施業案ニ對スル決定ハ、地方長官ガ自分ノ所屬ノ農林技師ヤ何カト相談ノ上デ之ガ計畫ヲ立テルノデアルカ、或ハ農林省ノ地方官廳デアアル營林局ト相談ノ上デ之ヲ決定スルノカ、其ノ點ヲ承リタ

イ

○村上政府委員 ドウ云フ施業案ヲ執ルベキカト云フコトニ付テハ、是ハ巨細ニ農林省カラ示シモシ、又長官會議、或ハ林務主任官會議其ノ他サウ云フヤウナ會合、或ハ地方ノ山林會ノ意見、サウ云フヤウナモノヲ十分參酌シテ、サウ云フ時ニ具體的實行方法ヲ決メテ行カナケレバナラス、併シナガラ編成シタ施業案ニ對シテ認可ヲ與ヘルノハ是ハ地方長官デアリマシテ、地方營林局トハ是ハ相談ハ致シマセヌ、ソレカラ入會權ヲドウ云フヤウニ整理スルカ、例ヘバ薪炭林ノ入會權デアルトスレバ、是ハ其ノ入會權ノ内容ハ御承知ノ通り種々雜多デアリマスガ、併シナガラ今後薪炭林ヲ共同的ニ使用スルト致シマシテモ、非常ニ細カイ所ノ徑級ノ木ヲ各人ガ取ツテ行クト云フヤウナヤリ方ヲシテ居ツテハ、是ハ薪炭林ダツテ本當ノ薪炭林ハ出來マセヌデ、終ヒニハモウ炭モ燒ケナイドコロカ粗朶モ取レナイト云フコトニナリマスカラ、是ハヤハリ一定ノ規制ヲ致シマシテ、直徑何寸以下ノモノハ伐ツテハナラヌトカ、一年ニ一人ノ數量ハ此ノ位ダトカ、是ハ山ノ實情ニモ依リマセウガ、サウ云フコトヲヤハリ段々規制シテ行カナケレバナラス、或ハソコニ天然

生ノ機ダトカ、或ハ樺トカ生エテ居レバ、是ハ當分ノ間殘存シテ置クトカ、或ハ此處ダケハ一時伐ルナトカ、斯ウ云フヤウナコトハ部落ノ決議等ニ依リマシテ、入會權者ノ總會デスネ、ソレニ依ツテ規則シテ行クベキモノダト思ヒマス、サウ云フヤウナコトニコチラノ施業案モ作ツテ行カナケレバナラス、即チ施業案ヲ作ル場合ニ於テ、從來ノ殆ド粗朶山デアルカ、草野デアルカ分ラヌ、唯草野ノ所ヘ自然發生的ニ闊葉樹ガ生エタト云フヤウナ森林ハ、是ハ施業案ニ依ツテ相當規制シテ行ク、斯ウ云フコトニナリマス、隨テ村ノ入會權ト云フモノモソレニ應ズル入會權ノ内容ヲ處理シテ行カナケレバナラス、其ノ意味ニ於テ森林法ト入會權ト關係ガアルト云ヘバ關係ガアリマス

○川俣委員 結局入會權トヤハリ關係ガアルト云フコトニナツタト思フノデスガ、私共ドウモ入會權ノアル所ハ此ノ施業案ノ目標ニナラナイノカナルノカト云フコトヲ非常ニ疑問ニ思ツタノデアリマシテ、即チ入會權地、所謂無立木地或ハ荒廢シテ居ルヤウナ所ニアル入會權地モ森林トシテ適當ナル所デアルナラバ、ヤハリ施業案ノ目標ニナルト云フコトデアラウト思フノデアリマス、ナラナイト云フコトニナルト——入會權ノ

アル所ダケガ此ノ森林法ノ適用ヲ受ケナイト云フコトニナレバ是ハ又別デアリマスケレドモ、ヤハリ含マレルヤウニ説明サレタノデアリマシテ、私ハ當然ナコトダト思ヒマス

次ニソコニ問題ニナルノハ、私共ハ政府デドウ云フ風ニ御考ニナツテ居ルカ分リマセヌガ、私有林ノ反別ナドノ不正確ナ點ニ付テハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居ラレマスカ、實際甲ノ所有者ハ臺帳面積三反歩、乙ノ面積ハ臺帳面二反歩デアルケレドモ、實際ハ甲ハ四反デアリ、乙ハ三反五畝デアルト云フ場合ニ於ケル處理ノ方法ニ付テ如何ニ御考ニナツテ居リマスカ

○村上政府委員 施業案ヲ作リマス時ニハ、施業ノ容體トナルベキ森林ノ面積ハ之ヲ決メナケレバナリマセヌ、隨テ其ノ時ハツキリト臺帳面積デナイ所ノ實測面積ガ出ル譯デス

○川俣委員 サウスルト臺帳面積デナク、實測面積ト云フコトニナリマスカ

○村上政府委員 大體左様ニ考ヘテ結構ト思ヒマス

○川俣委員 ソコデ御尋致シタイノデアリマスガ、私共ハ此ノ森林法ノ狙ツテ居ル點ハ非常ニ能ク分ルノデアリマスケレドモ、

是ハドウモ机上論ダト云フ風ニ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、ソレデ結論ヲ言フトコンナヤウナ施業案デハ迎モ日本ノ林政ノ改革ナドト云フコトハ思ヒモ及バヌコトダ、唯徒ニ人ノ所有權ヲ制限シテ命令スルノダト云フヤウナコトハ、是ハ机上デハ考ヘラレマスケレドモ、實際ニ當ツテハ中々サウ出來ルモノデナイ、前ニ立派ニ森林法ガアル、此ノ森林法ガ旨ク運用出來ナカツタト云フコトハ何處ニ原因ガ在ルカト云フコトヲ餘程當局モ考ヘテ見ナケレバナラス、一體法律ガアレバ、ソレヲ運用スル人ハソレヲ或ル以上ニ擴大シテ現在運用サレテ居ルニモ拘ラズ、此ノ森林法ダケガ或ル範圍内ニ止メナケレバナラヌト云フコトハ、恐ラク實際運用ガ出來ナカツタト云フ點ニアツタト思フノデス、此ノ法律ガアル以上、ソレニ携ハツテ居ル人ハ十分擴大シテ使ヒタイト思ヒナガラモ出來ナカツタト云フコトニ實情ガアルノデアリマシテ、私共ハ例ヲ普通ノ田畑ノ耕地整理ノ場合デモ取り得ラレルノデアリマス、耕地整理ヤ水利組合ト云フヤウナモノノ計畫ハ實ニ立派デアリマス、其ノ計算ノ通り收穫ガ舉ガリマスナラバ、ソレハ洵ニ結構ナノデス、併シ机上デハサウナツテ來マスケレドモ、何分ニモ其ノ

中ニ持ツテ居ル個々ノ人々ト云フモノハ、オ
互ニ家庭ヲ持チ、其ノ他ノ仕事ヲ持ツテ居
リマス爲ニ、時ニハ病氣ヲスルコトモアリ
マス、其ノ他家庭ノ事情カラ、一定ノ計畫ノ
通り山ナリ田ヲ持続スルコトガ出来ナイ場
合ガ往々アリ得ルノデアリマス、殊ニ小面
積ノ所有者ナドガ森林組合ヲ作りマシテ、
其ノ爲ニ受ケル利益ト云フヤウナモノハ殆
ド考ヘラレナイト云ツテモ宜イガラウト思
フノデス、御承知ノヤウニ森林組合ガ他ノ
組合ヨリモ比較的發展ヲシナイト云フノハ、
恐ラク此ノ森林組合ニ入ツテ居ル小面積ノ
人々ガ——或ハ同ジ面積デモ臺帳面積ヨリ
大キイ人、或ハ臺帳面積位ノ人トカ、色々
アリマスケレドモ、臺帳面積ヨリ數倍モ大
キイト云フヤウナ人々ハ森林組合ニ入ツテ
比較的宜カツタト云フヤウナコトモ往々聞
キマスケレドモ、大體臺帳面積ヨリ三割カ
四割シカ大クナイヤウナ所有者ニ於キマ
シテハ、而モソレガ中小所有者ニ於キマシ
テハ、森林組合ノ負擔ヲ負ヒ切レナイデ、
途中デ其ノ所有地ヲ他ニ放サナケレバナラ
スト云フヤウナ場合ガ澤山起キテ來ルト云
フコトハ、既ニ御承知ノ通りダト思フノデ
ス、恐ラク森林組合ガ最初設立サレマシテ
カラ現在マデ五年ナリ六年ナリノ間ニ、所

所有者ノ三割カ四割ハ變ツテ居ルガラウト思
フノデス、其ノ位移動ガ激シイノデアリマ
ス、隨テ實際自分ノ生活ガ負ヒ得ナイ、成
程森林組合ヲ作りマシテ計畫通りニ行キマ
スカラ、結果ニ於テ良クナルコトハ見エ透イ
テ居リマス、併シナガラ其ノ日ノ生活、
或ハ色々ノ經濟上ノ變動ノアリマス爲ニ、
森林カラ受ケマス利益ヨリモ他ニ損費ノ多
イ場合ニハ、逆モソナ將來長期間ニ舉ツ
テ來ル所ノ經濟ヲ安閑トシテ待ツテ居ルヤ
ウナ山村デハナイト思フ、御承知ノヤウニ
山村ノ金利モ非常ニ高イノデアリマス、恐
ラク都會デ想像モ出来ナイヤウナ金利デア
ルト云フヤウナコトモ既ニ御承知ダト思ヒ
マス、其ノ高イ金利ヲ拂ツテ生活致シテ居
リマス山村民ガ、森林組合ヲ作ツテ、山林
ガ成長シテソレカラ受ケル經濟ヲ待ツテ居
ルダケノ餘裕ガアルヤウニ御考ニナツテ居
ルカドウカ、サウ云フ點ニ付キマシテノ御
意見ヲ一ツ伺ヒタイ

○村上政府委員 山村ガ今餘裕ガアル生活
ヲシテ居ルトハ私等モ毛頭思ツテ居リマセ
ス、併シナガラ森林組合ガ出來ルコトニ依
ツテ山村ノ負擔ガ重クナルトモ毛頭思ツテ
居リマセス、又今マデノ實例ニ依リマシテ
モ、森林組合ガ出來タ爲ニ所有者ガ負擔ニ

堪ヘズ山ヲ賣ツテ外ノモノニ代ハルト云フ
ヤウナ實例ハ、是ハナイト思ヒマス、勿論
山林所有者モ多イノデスカラ、色々ナ關係
カラ山ヲ賣ラナケレバナラナイ者モアルシ、
森林組合員モ相當變ルデアラウト思ヒマス
ガ、森林組合自體ノ爲ニ負擔ニ堪ヘナイデ
山ヲ賣ルト云フヤウナコトハ、從來私ハ餘
リ聞イテ居リマセス、今後モ恐ラクサウ云
フ負擔ハ多ク掛カルモノデハナイト思ヒマ
ス

○川俣委員 ソレハ今マデノ森林組合ハ比
較的可能ナ所ニ出來タカラ比較の無理モナ
カツタノデアリマセウシ、併シ其ノ無理ガ
ナカツタニ致シマシテモ、恐ラク統計ハ御
承知ダト思ヒマスケレドモ、私共ノ見ル所
デハ特ニ東北ニ至リマシテハ十年間ニ四割
位ノ森林所有者ノ移動ガアルト思ツテ居リ
マス、此ノ點ニ付テノ御意見ヲモウ一應伺
ヒタイ

○村上政府委員 四割ノ移動ガアツタカド
ウカ、數字ノコトハ一寸分ツテ居リマセス、
併シ是ハドンナ所有者デモ、是ハ田畑ノ所
所有者デモ移動ハアルノデス、森林組合ノミ
ガ移動シタカドウカ、ソレハ一寸分ラスト
思ヒマス

○川俣委員 私ノ伺ヒマスノハ、森林法ガ

アルカナイカニ依ツテ動クト云フノデハナ
クシテ、森林業ガ此ノ施業ヲ以テ束縛サ
レルコトニ依ツテ其ノ爲ニ受ケル打撃ガ相
當ニ大キイト云フコトヲ私共ハ考ヘテ居ル
ノデアリマス、何故カト云フナラバ之ヲ採
草地トシテ持ツテ居ル、或ハ秣場トシテ持
ツテ居ルナラバ、採草地トシテ、或ハ秣場ト
シテ、或ハ其ノ他ノ利用ニ依ツテ年々收入
ガアル、然ルニ之ヲ一定ノ施業案ヲ以テ實
行サレルコトニ依リマシテ、十年ナリ、十五
年ナリ或ハ二十年ナリ、三十年ナリト云フ
モノヲ——薪炭材ト用材トハ勿論年數ガ違
ヒマスケレドモ、最低十五年トカ二十年、
其ノ間毎年ノ收入ガ無イト云フ所ト、僅カ
ナ收入デモアル所トハ、ソレハ非常ナ違ヒ
ガアルト云フコトヲ私共ハ考ヘルノデアリ
マス、ソレハ計算ノ上カラ言ヘバ一年ニ
三圓アル、ソレガ二十年ノ後ニ其ノ二十倍
以上ノ或ハ五十倍ニナルト云フ收入トハ勿
論算盤ノ計算カラ言ヘバ違ヒマス、併シ實
際ノ生活ト云フモノハ算盤ノ生活デハナイ、
隨テ毎年收入ガアルト云フ方ト二十年ナリ、
三十年ナリ經ツテ入ル方ト非常ニ自ラ違フ
ノデアリマス、毎年入ルト云フナラ持チ耐ヘ
ル者モ二十年、三十年、五十年計畫デハ持チ
耐ヘラレナイト云フ所ニ、今日ノ森林所有者

ノ變動ガ激シクテ、色々土地ガ併合サレルト云フ原因モ茲ニアル、是ハ當然考ヘテ居ラレル點ダト思ヒマス、特ニ東北ニ於キマシテノ部落有林ガ統一サレタ結果デアルトカ、或ハ森林法ニ基イテ盛ニ獎勵サレマシタ結果無理ニ贊成致シタト云フヤウナ所モアリマスシ、比較的可能な場合ト無理ニ勸メラレタ場合ト自ラ違ヒマスケレドモ、大體ニ於テ私共ノ見ル所デハ、特ニ東北ニ於キマシテハ、寧ロ束縛ヲ受ケテ居リマシテ中小山林ノ所有者ハ甚ダ迷惑ヲ受ケテ居ル、ソレハ國家的ナ林政ノ改革ト云フコトニハナツテ居ルカモ知レマセヌ、併シ個人的ニ言フト甚ダ迷惑ナ森林組合デアルト云フコトハ、是ハモウ地方ヲ御廻リニナツテ居ツテ當然サウ云フコトハ御聞キニナツテ居ル筈ダト思フ、是ハ地方ノ營林局デアルトカ營林署アタリヲ御訪ネ下サレバ御分リニナルト思ヒマスケレドモ、是ハ相當小サイ所有者カラノ反對ハ御聞キニナツテ居ラナケレバナラヌ筈ダト思ヒマス

○村上政府委員 無立木地或ハ採草地等ヲ此ノ森林法ニ依ツテ縮少スル、或ハソレヲ取上ゲテ其處ニ施業案ニ依ツテ造林ヲスルノダ、斯ウ云フヤウナ御話ノヤウデスガ、サウデハゴザイマセヌノデ、東北邊リノヤウナ金錢收入ノ少イ所ニ於テハ、成ベク現物デ支辨スルト云フノガ宜シイノデ、其處デ金肥モ段々少クナリ、綠肥ヲドツサリ取ル爲ニ、採草地、放牧地、營場、斯ウ云フモノハ何處マデモ維持シナケレバナラヌ、是ガ爲ニハ特ニ山林局デモ別ノ豫算マデ取ツテ、サウ云フモノノ改良費マデ支出シテ居ルヤウナ狀態デアリマス、斯様ナ放牧地、採草地ト云フモノハ、是ハ其ノ所有者ハ森林組合ニハ入レマセヌ、又ナリ得ル資格モナイ、是ハ森林デハナイ、原野デアリマス、原野ハ此ノ森林組合ノ區域デモナケレバ、原野ノ所有者ガ森林組合ニ入レル譯モナイ、昔ハ隨分廣イ原野ガアリマシタ、ソレガ茫々漠々タル原野デアツテ、是ハ森林デモナケレバ、立派ナ採草地デモナイ、ソレガ爲ニドチラノ利用モ付カナイ、即チ土地ガ狹イ日本ニ於キマシテ、土地ヲ集約的ニ利用シナケレバイカヌト云フ見地カラ、今マデ山林局デモ色々ノ土地ノ管理、區分等ヲ決メマシテ、大體ニ於テ、此處ハ森林トシテ經營スベキモノデアアル、此處ハ綠肥採草地、或ハ放牧地、或ハ營場トシテ經營スベキモノデアルト決ツテ居リマス、尙ホマダ決ラヌ所モアリマスガ、サウ云フヤウナ綠肥採草地——綠肥ヲ採草スルト云ウヤウナ

所ハ、是ハ其ノ儘改良シテ行クベキモノダト思ヒマス、是ハ森林法デアル譯ニハ行キマセヌ、是ハ普通ノ助成トカ、サウ云ツタヤウナ方面デアルベキモノデアツテ、之ヲ少クシ、之ヲナクナシテシマツテ、森林ノ造成ヲ圖ルト云フ譯デハゴザイマセヌ

○川俣委員 牧野ニナツテ居ルトカ或ハ林場ニナツテ居ル所ヲ取上ゲテ森林ニセヨト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデハナイノデアリマシテ、原野ト森林ノ區別ハ何處デナサレルカ、大體跡地ト云フモノガ、段々造林スル費用ガナイ爲ニ、手近ナ收入ヲ得ル方法トシテ原野ニ變更サレタ所ガアルト云フコトモ御承知ダト思ヒマスガ、原野ト山林ノ區別ハ何處デナサルノデスカ

○村上政府委員 是ハ社會通念デ定メルヨリ外仕方ガナイト思ヒマスガ、私共トシテハ、無立木地デアツテモ、所有者ガ尙ホ之ヲ山林トシテ經營スル、造林スルト云フヤウナ所ハ山林トシテ扱ツテ居リマス、營場、綠肥採草地ニスル、放牧地ニスルト云フ所ハ山林トシテ扱ツテ居リマセヌ、併シソレガ一時綠肥ヲ採リ、草ヲ採ルコトヲ止メタト云フ爲ニ、潤葉樹等ガ出テ來ル所ガアリマスガ、ソレハ山林トシテハ扱ヒマセヌ、サウ云フ所ハ潤葉樹ヲ除去スル、其ノ場合ニ當リマシテ火入レヲスルガ宜シイカドウカト云フコトハ議論ガアリマスガ、何カノ方法ニ依ツテサウ云フ所ハ木ヲ伐リ拂ツテ立派ナ原野トシテ經營シテ居ル方ガ宜シイト思ヒマス

○川俣委員 ソレハ計畫ト致シマシテハ、サウ云フ方針ニ於テ森林組合ヲ指導シ、サウ云フ計畫ノ下ニ指導サレテ居ルト云フコトハ當然ナコトデアリマス、併シナガラ森林組合ガ出來マシテ、地方ノ營林署長アタリガ行ツテ祝辭ヲ述ベタリシテ居リマスガ其ノ祝辭ヲ述ベタ爲ニ、御承知ダト思ヒマスガ、是ハ山形ノ例デアリマスガ、祝辭ヲ述ベタ晩ニ、自分ノ所有地ガ森林組合ニ無理ニ加入ヲ強制サレタト云フコトデ、署長ガ毆ラレタ例モアリマス、一昨年デアリマスガ、恐ラク御承知ダト思フ、サウ云フコトモアル、ソレハ別ナ感情モアツタカモ知レマセヌ、其ノ他ノ理由モ恐ラクアツタカモ知レナイ、私ハ其ノ點ハ論ジマセヌガ、可ナリ獎勵サレテ居ル、其ノ意圖モ能ク分ルノデス、併シナガラ御承知ノヤウニ大中小ノ面積ヲ持ツタモノヲ一ツノ森林組合ニ統制シテ、ソコデ計畫ヲ立テラレルノデアリマスケレドモ、ソレガ或ハ秋田縣トシテ見、或ハ岩手縣トシテ見、或ハ東北トシテ

見レバ一ツノ適當ナ林政ノ計畫デアルカモ知レマセヌガ、個々トシテ見テハ耐ヘラレナイモノガアルト云フコトヲ御認メニナルカドウカト云フコトヲ先ヅ念ヲ押シテ、御認メニナラナケレバ例ヲ以テ申上ゲタイト思ヒマス

○村上政府委員

私共ノ考デハ、原野ハ原

野トシテ改良スル、森林ハ森林トシテ改良シテ行ク、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、個個トシテ耐ヘラレナイコトハナイト思ヒマス、ソレハドウ云フ場合デアルカ、森林組合

ハ今マデ私共ノ方トシテモ別ニ設立ヲ強制シテ廻ツタコトモナイノデアリマス、又營林署長ハサウ云フ職務權限モゴザイマセヌカラ、ソレハ何カ他ノコトガラウト思ヒマシテ、森林組合ヲ作ルコトニ依リマシテ、若シ森林所有者ガ、不利益ヲ受ケルト假定

致シマスレバ、ソレハ早期ニ幼齡林ガ伐採ガ出來ナイ、其ノ事以外ニハ私共ハ考ヘテ居リマセヌノデ、原野ハ原野ノ儘利用スル、原野ヲ無理ニ取上ゲテ之ヲ森林ニ造

成スルト云フコトニナツタラ、或ハ耐ヘラレナイト云フコトモアラウト思ヒマス、サウデナイ以上、サウ云フコトハナカラウト思ヒマス

○川俣委員 私共ノ見ルノハ、御承知デセ

ウガ、原野デアルガ、小サナ木ノ育ツテ居ル所、灌木ノアル所、或ハ地目ハ山林デアリマシテモ實際ハ原野ノヤウナ取扱ヲシテ居ル所モアリ、又地目ハ原野デアリマシテモ實際ハ造林シテ居ル所モアリマセウカラ、地目ダケデハ何トモ言ヘナイデアリマセウ

ケレドモ、大體附近ニアル林相カラ見マシテ、伐採跡ガ採草地ニナツタリ、或ハ簡易ナ薪炭材用地ニナツタリシヤウナ場合ニハ、附近ノ人ハ造林計畫ヲ立テテ林相ヲ整

ヘタイト思ヒマシテモ、個人ト致シマシテハ、所謂自家用薪炭材用地トシ、或ハ附近ノ部落民ニ薪用トシテ供給スル方ガ經濟的デアルト云フ場合ガ澤山アルノデアリマス、ソレハ原野デアルト云フヨリモ寧ろ實際ハ

山林地デアリマセウ、實際ハ山林地デアリマシテモ、ソレヲ原野ト云フコトヨリモ寧ろ薪炭材用ノ土地トシテ利用シテ居ル方ガ

小サナ面積ヲ持ツタ者ニ取ツテハ、個々ノ經濟、其ノ日ノ經濟、一箇月ノ經濟カラ言フト、其ノ方ガ得デアルト云フ考ヲ持ツテ

居リナガラモ、一ツノ森林組合ニ強制サレマシテ加入サセラレテ、ソレニ造林サセラ

レル、其ノ方ガ非常ナ苦痛デアル、同時ニ財産上ノ負擔モ大キクナツテ來ル、ソレニ堪ヘ得ルヤウナ財産ヲ持ツテ居ルノデハナ

イ、造林致シテ所得ヲ擧ゲルダケノ個々ノ生活ヲ營ンデ居ルノデハナイノデアリマス、日常生活其ノモノガ、造林ヲ致シテ、ソレニ依ツテ浮ンデ來ルヤウナ生活ヲ致シテ居ラナイノデアリマス、非常時ニ備ヘル爲ニ

貯金ヲ致シテ、五年ナリ或ハ六年ナリ生命保險ニ掛ケテ居ルコトガ、家ノ經濟カラ言フナラバ、算盤ニ於テ言フナラバ或ハ宜イカモ知レマセヌガ、實際上ハ中々貯金モ出

來ナイシ、生命保險モ掛ケルコトガ出來ナイト云フ狀態同ジヤウニ、造林ノ結果舉ル所ノ收入ヲ安閑ト待ツテ居ラレナイ小面積ノ所有者ガアルト云フコトヲ私共ハ申上

ゲテ居ルノデアリマス

○村上政府委員

森林組合ノ中ニ入りマシ

タモノニ付キマシテハ、必ズシモ造林ヲ人工的ニヤラナケレバナラヌト云フコトヲ強

制スルモノデハナイノデアリマシテ、薪炭林モ薪炭林ノ經營ニ適スル所ハ、是ハ薪炭

林トシテ經營スルノガ適當ト思ヒマス、而シテ薪炭林ノ經營ニ付キマシテハ、是ハ初メ造林スル場合ニハ或ハ礫等ヲ植栽スルト

云フコトモアリマスガ、普通現在植ツテ居ル所ノ天然性ノ闊葉樹ヲ撫育シテ行クト云フコトガヤハリ薪炭林經營ノ一番良イ方法

ヤウナ所デアレバ、是ハ薪炭林ヲ撫育スル、薪炭林ヲ改良スルト云フ方法ヲ採ルコトガ、其ノ森林所有者ノ利益ニモ合致シ、又サウ云フコトヲ施業案ニモ織込マレナケレバナ

○川俣委員

私ノ言葉ガ少シ惡カツタト思

ヒマス、私が薪炭ト云フ言葉ヲ使ツタノハ、ソレハ言葉ノ誤デアリマシテ、所謂芝草的ナ薪用ノ小サイ灌木ヲモツト成長サセデー

ツノ薪炭材トスルヨリモ、其ノ灌木ヲ東北デ謂フ芝草、細イ木トシテ利用シテ居ル方

ガ年々ノ收入ガアル譯デス、薪炭材ト云フモノハ一定ノ成長ヲ待タナケレバナラヌガ、

芝草ト云フモノハ根カラ切レバ其處カラ芽ヲ出スカラ、ソレヲ薪ニスル譯デス、ソレ

カラ薪炭材ニスルニハ一定ノ十年ナリ二十年ノ成長ヲ待タナケレバナラヌ、芝草ト云

フモノハ、根カラ伐ツテ芽ガ四尺ナリ五尺ニ成長スレバ、ソレヲ薪ニスル、其ノ方ガ個人ノ經濟カラ云フト經濟ダト云フノデヤ

ツテ居ル云フコトデス、御分リデスカ、薪炭材ノヤウニ十年トカ十五年ト云フモノデヤナイノデス、私ノ言葉ガ惡カツタカモ知レナイガ、所謂芝草ハ毎年採ラセル方ガ經濟デアルト云フコトデス

○村上政府委員

唯芝草ヲ毎年刈ルト云フ

コトニナルト、是ハ段々芝草ノ採取量ヲ減
ツテ參ルノデアリマシテ、現在自覺シテ居
ル所ニ於テハ芝草ヲ一年毎ニ採ルノヲ止メ
テ、五年目ニ採ルトカ十年目ニ採ルトカ云
フコトニシテ、而モ相當多イ所デアツテモ同
ジ所ヲ毎年採レバ年々減リマスケレドモ、
一ツノ面積ヲ決メテ一定ノ所ヲ五年目トカ
六年目毎ニ採ルト云フヤウナ經營方法ヲ執
レバ、所謂小芝山ガ薪炭林ニナル譯デ、サ
ウ云フコトヲシテ行クノガ宜シイノデ、施
業案デモサウ云フ所ハサウ云フヤウニ指導
シテ行カウト思ツテ居リマス

○川俣委員 局長ノ言ハレル通りサウスル
コトガ一番宜イコトデアルコトハ、是ハ私
共モ存ジテ居リマス、局長ノ言ハレル通り
デアリマス、其ノ位ノコトハドシナ山奥ノ
百姓デモ知ツテ居リマス、四年目カ五年目ニ
一回採レバ宜イト云フコトハ、十分承知シテ
居ル、承知シテ居リナガラ、荒山ニナル程毎
年伐ルト云フ理由ハ何處ニアルカト云フコト
ヲ申上ゲタイ、勿論十年ナリ十五年經ツテ
薪炭材トシタ方ガ、收入モ多クテ、其ノ方ガ
宜イコトハ分ツテ居ル、山村ノ農民ガ如何ニ
無智ダカラト云ツテモ、其ノ位ノ算盤ガ全然
出來ナイト云フ譯デハナイ、サウ云フ事情ガ
分ツテ居リナガラモ年々伐ラナケレバナラ

ナイト云フ事態ニアル者ガ居ルノデアル、サ
ウ云フ者ガ居ルニモ拘ラズ、ソレヲ無理ニ
入レテ、十年ナリ二十年待テト云フ所ニ無
理ガアルト云フコトヲ私ハ申上ゲテ居ルノ
デアル、五年ニ一回、四年ニ一回伐レバ、
ソレハ理想的ナ芝草モ出來、量モ採レル、
採草地ニ致シマシテモ同様デアリマス、併
シナガラ採草地ヲ爭ツテ無理ニ採ツタリ、芝
草ヲ無理ニ採ルト云フ——人ノ所有地ヲ無
理ニ採ルト云フ事態モアル、サウ云フモノ
ヲ括メテ一ツノ理想案ヲ以テ之ヲ計畫シロ
ト云フ、其ノ計畫ガ惡クハナイケレドモ、
非常ニ無理ガアルト云フコトヲ申上ゲテ居
ル、サウ御考ニナリマセヌカ

○村上政府委員 ソレハ全部ガ無理ガナイ
トハ申セナイカモ知レマセヌガ、從來ノ經
驗ニ依リマシテモ、從來薪炭林ヲ改良シテ
來マシタ所ニ依リマシテモ、大體前ニ申シ
マシタヤウナコトニ依ツテ、部落ノ住民モ
段々福祉ヲ得ルシ、山ハ良クナツテ居ル、
東北方面モ山ハ廣イノデアリマスカラ、ソ
レハ非常ニ山ノ芝刈場ガ狭イヤウナ所ハ毎
年採ラナケレバナリマスマイガ、左様ナ所
ハ森林組合等ヲ作ル必要ガナイ、併シナガ
ラ廣大ナル面積ノ山ヲ持ツテ居ツテ、ソレ
ガ非常ナ粗惡林相地デアルト云フ所ハ、是

ハ治水其ノ他ノ關係カラ見テモ放任シテ置
ク譯ニ參リマセヌ、多少苦痛ガアルカモ知
レマセヌケレドモ、少クトモ之ヲ薪炭林ト
シテ經營スルガ爲ニ相當今マデノ放漫ナル
所ノ使用ハ規整シナケレバナラスト思ヒマ
ス

○川俣委員 私共ハ日本ノ林政ノ改革ノ上
カラ云ツテ、一定ノ目標ヲ立ナケレバナ
ラスト思ヒマス、最近農林省ガ立デテ居ラ
レルヤウナ計畫ノ意圖ニ付テハ、私共ハ贊成
スルノデアリマス、計畫其ノモノニ付テハ
反對デハナイノデアリマスカ、モット計畫
ヲ大規模ニ致シマシテ「ガツリン」代用ノ木
炭ノ計畫ニ付テモ、用材ノ計畫ニ付テモ、
輸入防遏ノ計畫ニ致シマシテモ、計畫ノ貧
弱サヲ考ヘテ居ル位デアリマシテ、モット
大規模ナ計畫ヲ立テラレルコトヲ希望致シ
テ居リマスカ、併シ同時ニ一方ニ於テ私共
ガナゼ斯ウ云フコトヲ持出スカト云ヘバ、
此ノ森林法ノ計畫サレテ居ルヤウナコトハ、
實際ニ於テハ過去ノ法律ガ生シダト同ジヤ
ウニ、如何ニ理想トシテ此ノ邊デ御立テニ
ナリマシテモ、ソレガ中々思フヤウニ運用
サレナイ實情ニアルノデアル、此ノ際モウ
少シ考ヘテ大キクセラレマシテ、計畫ヲ立
直ス必要ガアルデハナイカ、實行ノ可能ナ

方ニ持ツテ行クベキモノデハナイカト思フ
ノデ、此ノ議論ヲ申上ゲテ居ルノデアリマ
スカ、私共ハ結論カラ云ヘバ、私ハ大體東
北ヲ主體トシテ申上ゲテ居リマスカ、東北
ノ小面積ノ所有者ナドニ向ツテ、森林組合
ヲ作ラシテ、其ノ林相ヲ整ヘサシテ、或ハ薪
炭材ニシテモ用材ニシテモ、官有林ト對等
ニ——勿論對等以下デアリマセウケレドモ、
之ヲ指導サレマシテモ、ソレハ日本ノ全體
ノ上カラ云ヘバ、決シテ惡イコトデナイニ
致シマシテモ、中々サウ云フ指導ト云フモ
ノハ容易ニ出來ルモノデハナイ、寧ロ其ノ
間ニ犧牲ノ方ガ多イト云フコトヲ考ヘル、
ソレヨリモモウ一層救ツテ貰ヘルナラバ、
ソレダケ本當ニ山村民ノコトヲ考ヘテ指導
サレルト云フナラバ、此ノ際緊要一番シテ
サウ云フ小サイ所有者ノ土地ヲ買フトカ、
或ハ買ハナイニ致シマシテモ、寧ロサウ云
フ小所有者ノ土地ヲ集メマシテ、特別ナ特
設會社ヲ作ルトカ、或ハ之ヲ一定ノモット
大規模ナ委託林會社ト云フヤウナモノヲ作
リマシテ、其處ニ其ノ土地ヲ提供スル、提
供スル代リ年々株ノヤウニ金ノ配當ガ來ル
ヤウニスル、サウ云フ風ニスルト同時ニ、
一方ニ於テハ官有林ノ方ニ一定ノ計畫ヲサ
レ、此ノ計畫ニ基キマシテ、採草地或ハ林

場或ハ薪炭用地、コチラハ何々用材ノ樹種
林ヲ植エル、サウ云フコトニ依ツテ寧ロ小
所有者ノ土地ヲ全部取上ゲテ、國家ノ計畫
ニ基イテ指導シテ行ク方ガヨリ日本ノ經濟
ノ上カラモ、個々ノ山林ノ所有者ニ對シテ
モ、寧ロ私ハ親切ナリ方デアルト同時ニ、
國策ニモ合フノデヤナカラウカト考ヘルノ
デアリマス、御承知デモアリマセウケレド
モ斯ウ云フヤウナ法案ヲ以テ、無理ニ所有
者ノ自由ヲ抑ヘルト云フコトニ付キマシテ
ノ反對運動ハ、日本ハ比較的少ナイ方デセ
ウ、外國ノ例ニ於テハ寧ロ反對ガ非常ニ熾
烈デアツタコトハ十分御承知ダト思フ、是
ハ非常ニ負擔ガ無理ナノデアリマス、昔ハ
日本ノ山村民ハ大抵山林ヲ所有シテ居ッ
タ、ソレハ現在ノヤウナ經濟組織デナカッ
タ過去ノ時代ニ於キマシテハ、孫或ハ子供
ニ財産ヲ譲ルニシテモ、金デ譲レバ無クス
ルケレドモ、田デ譲ズルナラバ比較的金ヲ
使ハナイデ済ムデアラウ、殊ニ田ヨリモ山
林ニスルト尙ホ買手ガナイシ、或ハ擔保ニ
シテモ金ノ貸手ガナイカラ一番安全ダト云
フコトデ、昔ノ人々ハ子孫ノコトヲ思ツテ、
山林ヲ持ツテ居ツタノデアリマセウケレド
モ、今日ノヤウナ金融ノ状態、今日ノヤウ
ナ社會ノ組織状態ニ於キマシテハ、サウ農

林省ガ御考ヘニナルヤウナ悠長ナ生活ハト
テモ出來ナイ状態ニアル、ソコデ思ヒ切ッ
テ、此ノ小面積ノ土地ノ所有者ニ對シテ
ハ、之ヲ國デ買上ゲテ、一定ノ報酬ヲヤル、
或ハ寧ロ特別ナル會社ヲ作ツテ、ソコニ土
地ヲ集メマシテ、其ノ土地ヲ借りテ年々支
拂フスル、或ハ一定ノ計畫ニ基イタ場合ニ
ハ、其ノ計畫ノ何割カヲ拂フト云フヤウ
ナ、又ハ土地ヲ約時價ノ七割ナラ七割デ會
社ニ賣ル、何十年後ニハ何割ノ割戻シヲス
ルト云フヤウナコトデ買集メテ、一定ノ日
本ノ國策ニ副フヤウナ會社ヲ作ツテ、ソコ
ヘ纏メテ地種別或ハ地域別、或ハ區域
別的ナ施業案ノ體制ト云フモノガ初メ
テ立ツト私ハ思フ、サウシナイデ唯現
在ノヤウナ工合ニシテ居ツタノデハ、特
別ナ金融ノ方法ハ考ヘマスガ、補助ナド
ト云フモノハ是ハ考ヘラレナイト云フヤ
ウナ方針ノ下ニ、此ノ森林法ガ改正サ
レマシテモ、恐ラク私ハ効果ト云フモノハ
無い、効果ガ無いバカリデナイ、寧ロ國策
ニ合ハセルノダト云フコトデ、國策ノ犠牲
ヲ強ヒルヤウナモノダ、其ノ結果國策ニ合
フヤウナ結果ガ生レマスカラバ、私ハ犠牲ニ
ナツテモ已ムヲ得ナイト思ヒマスケレド
モ、一方國策デアルト云フコトデ強制シ、

一方ハ國策ノ犠牲ニナツタト云フダケデ、
何等ノ國策的ニモ、亦偉大ナル林政ノ結果
モ得ラレナイト云フコトニナルナラバ、名目
ハ國策デアリ時局ニ寧ロ便乗シテ、小所有者
ヲ壓迫スルコトニナルノデハナカラウカト
私ハ憂ヘルノデアリマス、斯ウ云フ特別ナ
金融方法ヲ考ヘラレレバ是ハ別デアリマス、
今マデノヤウナトモ生溫イ金融方法デ、此
ノ施業案デ以テ森林組合ヲ指導シテ行クト
云フコトハ、到底是ハ考ヘラレルモノデハ
ナイト思フ、ダカラ特別ナ金融——ドナタ
カ申上ゲタヤウデアリマスガ、山林金庫法
ヲ作ルトカ、或ハ之ヲ銀行ニ委託トシテ、
一ツノ銀行ニ共同デ擔保ニ入レルコトガ出
來ルト云フヤウナ金融ノ方法ガアリマスナ
ラバ、或ハ又共同體自體ガ一ツノ計畫ヲ持
ツト云フヤウナ會社デモアリマスカラバ、
銀行ノ金融ノ途モ或ハ現在ノ儘デ開ケルダ
ラウト思ヒマスガ、サウ云フコトヲ考ヘナ
イデ、一體一方デ、國策ガカラト言ツテ犧
牲ヲ強ヒルト云フコトハ、是ハ國策ノ犠牲
ニナルバカリデナク、國策其ノモノモ立テ
ラレナイノデハナカラウカト私ハ思フノデ
アリマス、之ニ對スル御意見ヲ伺ヒマス

シタヤウニ、一町歩位ノ小所有者ハ、是ハ
命令ヲ以テ除外スル積リデアリマス、ソレ
カラ勿論此ノ森林法ニ依リマシテ、森林組
合ヲ作ラセルヤウナコトハ前ニモ申上ゲマ
シタヤウニ、森林トシテ經營スル外ニ土地
ノ有利ナ經營方法ガナイ所デアリマシテ、
隨テ人家ニ近イ所ノ或ハ薪炭林ニモナリ、
或ハ場合ニ依ツテハ農耕地ニモナリ、採草
地ニモナル所ハ含マセナイ積リデアリマス、
ソレ以外ノ山ノ中ノ所ニ於キマシテハ、是
ハ薪炭林等ニ付テモ、今ヨリ相當改良シテ
行カナケレバナラス、現在ノ薪炭林カラ出
マス所ノ一年ノ伐採量ハ一年ニ一億二千萬
石位ハ出マスガ、併シ日本ノ薪炭林ヲ改良ス
レバ、是ハモツト出ルヤウナ計算ヲ吾々ハ
持ツテ居リマス

殊ニ今後「ガソリン」ノ國策ニ伴ヒマシテ、
薪炭林ノ改良ハ今日ドウシテモヤラナケレ
バナラス仕事ダト思フノデアリマス、隨テ
之ニ付テハ色々ノ助成モ必要デアラウト思
マヒスガ、而モ左様ナコトヲ致シマスコト
ニ依ツテ決シテ山村民ニ損トカ或ハ苦難ト
云フモノヲ加ヘルモノデナクシテ、之ニ依
ツテ山村民ガ更生スルモノダト考ヘテ居リ
マス、小柴山ノヤウナ一年ニ幾ラ出ルカ分
ラナイヤウナモノヲ毎年伐ツテ居レバ段々

木ハナクナツテ、終ヒニハ何モナクナツテシマフ、是デハ金融ノ目的ニモ何ニモナリマセヌ、ソレカラ今川俣サンノ仰セノヤウニ、之ヲ國家デ買上ダタラドウカト云フコトデアリマスガ、是ハ餘程難カシイ問題ダラウト思ヒマス、併シナガラ若シ將來之ニ付テ森林信託會社或ハ國策何會社ト云フヤウナモノヲ考慮致シマシテ、サウ云フモノガ出來ルコトガアリマシタトスレバ、サウ云フコトモ是ハ十分考慮ニ入レテ考ヘナケレバナラスト思ヒマス、尙ホ森林金融ニ付テハ屢、此處デモ色々方ヨリ御意見ヲ拜承シテ居リマス通りニ、私共モ現在ノ儘デ是ハ適切デアルトハ思ヒマセヌ、是ハ改善ヲ加ヘルコトヲ必要トシマス、ソレニハ或ハ森林組合ノ中央金庫ト云フモノヲ設ケルト云フヤウナコトヲ一部ニ於テハ考ヘラレテ居リマス、或ハ現在ノ興業銀行法或ハ農工銀行ノ改正ト云フコトモ考ヘラレテ居リマスシ、或ハ森林信託會社、或ハ其ノ他ノ特殊金融會社モ色々目下考究中デアリマス、少クトモ森林事業ニ付テハ低利ナ資金ガ十分ニ廻ハルト云フヤウナ金融制度ヲ考ヘナケレバナラスト、此ノ點ヲ根幹トシテ成ベク早く、サウ云フヤウナ金融制度ノ樹立ニ邁進シタイト思ツテ居リマス

○川俣委員 私ガ申上ゲルノハサウ云フ一ツノ金融方法ヲ講ゼズニ此ノ案ヲ執行スルト云フコトハ壓迫ニナルノダ、即チサウ云フ手段ヲ講ゼズニ此ノ法案ヲ施行スルト云フコトニ無理ガアルノダ、サウ云フ方法ガ出來レバ、今考ヘラレテ居ルヤウナ方法ガ出來レバ無理デナイ、法案自體其ノモノガ無理ダト云フコトヲ申スノデナク一方ニ於テ強制スル代リ、其ノ強制ヲ受ケル犠牲ヲ何等カノ形ニ於テ犠牲ナラザルヤウニ——別ニ補助バカリヲ私共ハ狙ツテ居ル譯デハナイ、國策トシテ耐ヘ得ラレナイ犠牲ヲ強ヒルノナラ、強ヒルダケノヤハリ方法ヲ講ジテヤルト云フ所ニ無理ガナイト云フ結果ニナル、一方ニ於テ犠牲ハ強ヒルガ、一方ニ於テ勿論サウ云フコトハ氣ノ毒ダカラ後ニ三年後經ツタラ考ヘテヤル、是カラ考ヘテヤルノダト云フコトハ、施行スル方ハ宜イガ、サレル方ハ堪ヘラレナイ、サウ云フ方法ヲ考ヘテ、同時ニ施行サレルナラバ決シテ此ノ法案ハ無理トハ思ハナイ、是モ一進步ダト考ヘル、一方ニ於テハ一ツノ制限ヲ加ヘ、一方ニ於テハ一ツノ國策デアルカラト云フコトデ、恐ラク是ハ色々ナ風ニ相當獎勵モサレ、指導モサレルト思ヒマス、ウマ／＼ト話ニ乗ツタ結果非常ニ困ツタ結

果ニナルト云フコトハ、私共ハ見エ透イタコトダト思フ、一方ニ於テサウ云フ金融ノ方法ガ講ゼラレテ居ルナラバ、是ハ犠牲ダケレドモ、國策ニ合フノダカラ國策上之ヲヤレト云フコトハ、是ハ或ル犠牲モ已ムヲ得ナイト思ヒマス、サウ云フコトヲ考ヘラレナイデ、ソレハ是カラ考慮中デアツテ、是カラ何トカシテヤリマセウト云フコトデアルナラバ、其ノ時ニナツテ法案ヲ御出シナレバ非常ニ結構ダト思フ、餘リ長クナツテ意見ノヤウデアリマスガ、一ツ政務次官ノ御意見ヲ伺ヒタイノデスガ、モウ少シ待ツテサウ云フ萬端ノ準備ヲ整ヘテカラオヤリニナルノカ、或ハ準備ノ方ヲ急速ニヤラウトスルノカ、其ノ點ヲ一ツ聽キタイ

○松村政府委員 御話ノ點ハ御尤デアリマス、私共モ出來得ルナラバ此ノ森林金融ノ途ヲ講ジテ、其ノ後ニ若シクハソレト同時ニ此ノ案ガ出來タナラバ宜カツタト思ヒマス、併シナガラソレガ出來ルマデ待ツテ之ヲ延バスヨリモ、之ヲ作ツテ置キマシテ、サウシテヤリ得ルモノカラ先ヅ著手スルト云フ方ガ宜イダラウ、今日焦眉ノ急デアリマスカラ、之ヲ先ヅ提案致シタノデアリマス、併シ御話ノ金融ノ點ハ是ハ斷ジテ放ツテ置ク譯ニハ行キマセヌノデ、先日モ申上ゲマシタガ、其ノ調査機關ヲ省内ニ設ケテ居リマス、ソレニ付キマシテハ必ズ最近ノ機會ニ於キマシテ、今度ノ議會ニハ其ノ案ハ出來マセヌガ、次ノ機會ニ於キマシテハ、是非共森林金融ニ對スル根本ノ方策ヲ立テタイト思ヒマス、サウシテ今仰セラレルヤウナ色々迷惑スル者ノナイヤウニ、又此ノ法ノ本當ノ目的ヲ達スルヤウニ致シタイト思ヒマス

○川俣委員 ソレカラ御尋致シタイト思フノデスガ、簡易委託林ト云フモノガ最近出來シテ、非常ニ成績ガ好イヤウニ思フノデスガ、之ヲ増加スルヤウナ御意向ハアリマセヌカ、委託林ハ殖エテ居リマセヌガ、簡易委託林ハ殖エテ非常ニ成績ガ好イヤウニ聞イテ居リマス

○村上政府委員 是ハ増加シタイト思ヒマス、マダ全體ニ擴ガツテ居リマセヌ、福島縣等ニハマダ半分シカ廻ツテ居リマセヌ、其ノ他ノ各地ニ於テモマダ廻ツテ居ラナイ所ガ多イノデアリマスガ、今鋭意調査中デ、成ベク之ヲ日本全國ノ國有林ニ廣ク及ボシタイト考ヘテ居リマス、鋭意實行中デアリマス

○松浦委員 一寸關聯質問デ伺ヒタイノデスガ……先刻川俣委員ノ色々質問應答中ノ

薪炭林ノ問題デアリマスガ、山林局長ハ常ニ彈力性ノアル施業案ト云フコトヲ御言ヒニナリマス、サウ云フ御考ノヤウデゴザイマスガ、一ツノ一貫シタ「イデオロギー」ヲ以テ森林國策ヲ立テナケレバナラス、百年ノ後ニ使フベキ森林資源ヲ色々思ヒ「イデオロギー」、思ヒ「ノ彈力性ノアルモノデヤルト云フコトハ、ソレハドウ云フモノカト思ヒマス、森林ノ性質カラ言ツテ勿論薪炭備林ノヤウナモノモ必要ダト思ヒマスガ、農林省ノ中ニハ勿論アルコトデアリマセウガ、矮林作業カラ喬林作業ニ行ク、所謂薪炭林主義カラ用材林主義、所謂林利ノ潤澤ニナルヤウニ計畫シ、之ヲ指導スル其ノ爲ニハ數回川俣委員カラ御尋致シマシタヤウニ、金融ガ先ツ必要デアルコトハ議論ノ餘地ガゴザイマセヌ、此ノ金融ノ途ヲ付ケテ、矮林作業カラ喬林作業ヘト云フ一ツノ一貫シタ、小面積ノ中カラ多クノ收入ヲ得ルト云フ方面ニ向ケテ行クコトガ私ハ本當デハナイカト思ヒマスガ、農林省ハ一體此ノ事業ニ對スル、或ハ此ノ森林ニ對スル所ノ信念ハ何處ニ持ツテ居ラレマスカ、甲ガ聽ケバ甲ニ向ツテ彈力性デアル、又薪炭備林ニ付テ色々聽ケバ、ソレニ對シテモ適合スルヤウナコトヲスルト言ヒ、只今川

俣サシノ御尋ノ小柴林ノコトニ付テ聽ケバ、小柴林ニ付テモ考慮スルト言ハレマスガ、サウ云フ八方美人デハ此ノ森林經營ト云フモノハ前途憂慮サレルノデアリマスガ、本當ニ考ヘルナラバ、日本ノ森林政策ハ中心ヲ何處ニ置クカ、ソコニ一ツノ肚ヲ決メテ、其ノ一貫セル「イデオロギー」ノ下ニ全國ノ森林行政ニ向ツテ行クベキデハナカラウカト思ヒマス、ソレガ即チ森林政策ニ對スル見透シト云フモノデハナカラウカ、ソレニ對スル御信念ヲ御伺シタイト思ヒマス

○村上政府委員 小柴林ハ小柴林デ宜シイト申上ゲタノデハナイノデアリマシテ、之ヲ改良シテ薪炭林トシテ適當ナモノニスルヤウニ導イテ行カナケレバナラスト思ヒマス、併シナガラ日本ノ森林ハ矮林カラ全部喬林ニ導クベキカ、斯ウ云フ御質問デアリマスガ、是ハ日本ノ實情ハ中々サウハ參ラヌノデアリマス、御承知ノ通り日本ニ於キマシテハ炭、薪ト云フモノハ燃料トシテ重要ナモノデアリマス、是ハ薪炭林ト云フ特殊ノ經營ニ依ツテ產出スベキモノデアアル、唯現在ノ薪炭林ハ面積ノミ廣漠デアリマシテ、是カラ上ル所ノ實質ノ產出量ガ少ク、ソコデ私共ハ前カラ豫算ヲ取りマシテ、薪炭林ノ改良ト云フコトヲ考ヘテ居リマス、

改良ノ結果ニ依ツテ更ニ多クノ薪炭ノ產出量ヲ出サウト斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、日本ニ於テハ矮林作業ト云フモノハヤハリ必要ナコトト思ツテ居リマス、現ニ國有林等ニ於テモ矮林ヲ採ツテ居ル所ガアリマスシ、又民間ノ施業案等ニ於テモ、相當ヤハリ矮林ト云フモノハ矮林トシテノ使命ヲ持タセル爲ニ今後モ指導シテ行カナケレバナラストデアリマス、唯或ル縣、例ヘバ新潟縣ノヤウニ粗惡林相地トシテ薪炭林ガ龐大ニアツテ、是カラ上ル所ノ產出量ガ少イト云フ所ニ於テハ、是ハ相當薪炭林ヲ改良スルト共ニ、或ル特殊ノ面積ニ付テハ之ヲ用材林、喬木林ニ變更致シテ行ク必要ガアルト思ヒマスガ、全般的ニ見レバ、全部矮林カラ喬林ニスルト云フコトハ、日本ノ森林狀態トシテハ必要ガナイヤウニ考ヘマス

○松浦委員 ソコデ只今御話ノ、割合ニ廣イ面積ヲ持チナガラ澤山ノ薪炭ヲ產出スルコトガ出來ナイ狀態ニアルカラ、之ヲ整理シテ薪炭林トシテノ質ノ向上ヲ圖ルト云フ御話デアリマスガ、サウ云フ御見解ナラバ整理シテ小面積カラ從來供給シテ居ツタモノヲ供給スルコトガ可能ニナルノデアリマセウガ、所謂多收穫主義ニナルデアリマセウガ、然ラバ多收穫主義ニ依ツテ餘リ土地

ガ出來テ來ル、其ノ餘リ土地ニ對スルモノハ、少クトモ現在日本ノ森林總面積カラ眺メテ、ドノ部分ノ種類ノモノガ多ク、ドノ部分ノ種類ノモノガ少イト云フコトハ最早御分リノコトト存ジマス、其ノ少イ有用ナモノ、所謂針葉樹或ハ其ノ他ノ潤葉樹ノ有用樹種、斯ウ云フモノニ對シテ御考慮ヲ拂フコトハ當然ノコトデアリマセウ、其ノ點ヲ御聽キシテ置キマス

○村上政府委員 有用樹種トシテハ用材林ノ檜、松、杉モサウデアリマスガ、一方ニ於キマシテ、櫟、檜ノ薪炭林ノモノモ有用デアリマシテ、兩者ノ間ノ優劣ヲ付ケル譯ニ參ラスト思ヒマス、勿論薪炭林ガ改良サレテ其ノ結果今ノ倍モ出ルト云フナラバ、ソレ程ノ薪炭林ハ勿論必要デナイノデアリマスカラ、斯様ナコトニナレバ、其ノ中ノ用材林ハ多々益々辨ズデ幾ラアツテモ必要デアリ、場合ニ依ツテハ輸出モ致シマスカラ、サウ云フモノニ變ヘテ行クコトハ必要デアリマスガ、薪炭林ノ面積ト云フモノヲ此ノ場合全部縮小シテ用材林ニスルト云フコトハ、吾々ノ方トシテハマダ今日ノ情勢ニ於テハ尙早ダト思ヒマス、何トナレバ今後色々燃料政策ノ強化ニ伴ヒマシテ、薪炭ノ必要量ト云フモノガ更ニ増加シマス、之ニ對應ス

ル爲ニハ現在ノ薪炭林ヲ縮小スルノデハナク、改良シテ、之ニ應ジテ行クコトヲ先ヅ第一著手トシテ考ヘナケレバナラス、更ニソレデ餘計ニ出來マシタ時ニハ、其ノ一部分ヲ用材林ニ變更スルト云フコトデ宜シイノデハナイカ、現ニ用材林トシテ適スル所デアツテモ、是ガ薪炭林ニモナラズ、用材林ニモナラズ、粗悪林相地トシテ其ノ儘殆ドホツタラカサレテ居ル所ガアリマス、サウ云フ所ヲ整理シテドン／＼開發シテ行ク必要ガアルダラウト思ヒマス

○川俣委員 今簡易委託林ノ増加ヲ希望シタ所ガ、局長カラ其ノ増加ニ向ツテ期待ニ副フヤウニ努力スルト云フコトデアリマシタ、是非共此ノ簡易委託林ノ増加ガ地方民カラ熱望サレ、又其ノ成績ハ洵ニ良好ノヤウニ見テ居リマスカラ、出來ルダケ御努力ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ是ハ他ノ議員カラ御尋ニナツタカモ知レマセヌケレドモ、一寸私聞キ漏シテ居リマシタノデ御尋致シマス、是ハ私本會議ニ於テモ此ノ點ヲ問ウタノデアリマシマス、明瞭ナ返事ガナカツタノデアリマス、昭和四年五月國有林野所在市町村交付金交付規則ト云フモノガゴザイマシテ、ソレニ依ツテ所謂普通ノ有租地ナラバ課セラレル

ベキ地租附加税ニ相當スル金額ヲ、地方ニ交付スルト云フ趣旨ノヤウデゴザイマス、此ノ中デ、第一項ノ中ニ保安林ニ當ルベキ土地ノ面積ダケハ除イテ居ルノデアリマス、其ノ他公共用ニ供スル土地、或ハ第二條ノ規定ニ依リ地租ヲ課セラレザルモノニ該當スル土地等ハ除カレルヤウデアリマスガ、此ノ中ノ保安林ニ當ル分ダケ、即チ此ノ規則ノ保安林ノ條項ダケヲ取除ク目的カラ言フナラバ、保安林ニ當ル地租附加税ニ相當スル金額ヲ地方ニ交付スベキモノデアルト

私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ保安林ノ必要ハ私ガ今申上ゲルマデモアリマセヌ、大藏當局ニ於テモ十分ニ認識セラルル所デアリマシテ、一般ニ於テモ保安林ノ必要デアル點ハ是ハ説明ヲ要シナイ點デアリマス、隨テ保安林ヲナクシヨウトカ、或ハ伐採ヲ禁ジテ居リマスル保安林、或ハ伐採ノ可能ナ保安林ニ致シマシテモ、其ノ何レノ保安林タルトヲ問ハズ、保安林ナルガ故ニソレニ當ルベキ地租附加税ニ相當スル金額ヲ地方ニ交付サレナイト云フコトハ、少シ妥當デナイヤウニ思フノデアリマス、或ル町村ニ依リマシテハ國有林ノ中ノ大半ガ保安林デアアル爲ニ、隣リノ國有林ハ相當交付金ガアルガ、隣リノ町村ハ保安林ナルガ

故ニ全然交付金ガナイト云フヤウナ極端ナ例サヘアルヤウニ見受ケルノデアリマシテ、此ノ點ニ付テノ緩和手段ヲ御考慮ニナツテ居ラレルカドウカ御伺致シタイノデアリマス

○村上政府委員 只今ノ交付金ノ制度ハ、地租ノ附加税ニ當ルモノヲ交付スル、保安林ハ御承知ノ通り地租ヲ負擔シテ居リマセヌガ爲ニ、隨テ附加税ガナイ、斯ウ云フ建前カラ保安林ニ當ル所ノモノハ交付金ガナイ譯デアリマス、其ノ結果村ニ依リマシテハ國有林ガ多クテモ一ツモ交付金ガナイト云フヤウナコトデ、是ハ或ル意味カラ言フト成程變ノヤウナ形ニナツテ居リマス、是等ノ點ニ付テハ將來篤ト考慮シタイト思ヒマス

○川俣委員 局長ガ御考慮ニナルサウデアリマスカラ私ハソレ以上申上ゲル必要ハナイノデアリマス、十分御承知ダト思ヒマスケレドモ、保安林ノ所在スル地方ダケノ爲ノ保安林デハ決シテナイ、御承知ノヤウニ保安林ハ三箇町村、四箇町村ノ利益ノ爲ノ保安林デアルケレドモ、丁度地目ガ此ノ村デアル爲ニ此ノ地方ダケガ交付金ヲ受ケヌ、其ノ他ノ町村ガ國有林ノ恩惠ヲ受ケテ居ルニ拘ラズ、此ノ町村ダケガ交付金ヲ受ケヌ

ト云フコトハ、是ハ相當考慮ヲ要スル問題ダト思ヒマス、是ハ大臣カラモ尙ホ一ツ御答辯ヲ煩シタイト思ヒマスケレドモ、局長カラ考慮スルト云フコトデゴザイマスカラソレ以上ハ御尋ハ致シマセヌ

次ニ御尋致シタイノハ農林省ノコトヲ特色言ヒマスケレドモ、是ハ私共斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、内務省ノ方々ハ旅費ノ豐富ノ爲カ、能ク地方ヘ歩カレル方ガ多いノデアリマスケレドモ、農林省ノ方ハ比較的地方ヘ廻ラレルコトガ少イノデ、ドウモデアリマス、其ノ點ニ付テハ農林行政ノ上カラモ——諸費節約ノ折デハアラウケレドモ、認識ヲ高メル上ニ於テモ、農政ノ確立ヲ圖ル上ニ於テモ、相當ナ旅費ヲ御請求相成ツテ、本當ニ、忠實ニ、林政計畫、農政計畫ヲ立テラルベキダト思ヒマス、ソコデ地方ノ森林主事デアルトカ、技手デアルトカ、屬デアルトカ云フヤウナ方々ガ、相當ナ數ニ上ツテ居ルヤウデアリマス、技手ト屬ハ千三百人、雇員二千八、森林主事ガ千五百十人トナツテ居ルヤウデゴザイマス、是等ノ人々ノ待遇ヲ見マスルニ、同じ現場ニ居ツテ重要ナル國策ヲ遂行ナサツテ居ル國有鐵道ノ現業員ヨリモ、待遇ガ惡イヤウ

ニ私バ思フ、危險ノ上カラ云ツテモ、決シテ鐵道従業員ト相劣ラザル所ノ、相當ナ勞苦ヲ忍バナケレバナラス、風雪ヲ忍ビ、暴風雨ニ遭ヒナガラ相當危險ナ仕事ヲ致シテ居リナガラ、日本ノ國策ノ、林業開發ノ上ニ指導ノ任ニ當ツテ居ル譯デアリマスガ、其ノ待遇ガ同ジ國家一ツノ機關デアル鐵道従業員ヨリ惡イヤウニ考ヘルノデアリマス、惡イコトハ事實デアリマス、此ノ待遇ヲ改善サレルヤウナ御考ガアリマスカドウカ、斯ウ云フコトヲヤルヤウナ熱意ガナケレバ、如何ニ法律ヲ作ツテモ、末梢神經ノ技手ヤ屬ガ熱心ニヤラナケレバ、其ノ指導ハ出來ルモノデハナイト思ヒマス、其ノ點ニ付テノ御所見ヲ伺ヒタイ

○村上政府委員 大變御同情アル御言葉ヲ戴キマシテ私共其ノ局ニ當ル者トシテ有難ク御禮ヲ申上ゲマス、洵ニ其ノ通りデアリマシテ今他ノ現業職員ヨリ此ノ森林關係ノ屬、技手、森林主事ノ平均俸給ハ非常ニ低イト云フコトハ私共モ甚ダ遺憾トシテ居リマス所デ、其ノ引上ニ付テハ色々財務當局トモ交渉シテ居リマスガ、中々私共ノ希望通りニ參リマセスコトハ、私共ノ努力ノ足リナイ所デ汗顔ノ至リニ堪ヘナイ所デアリマス、併シ次第第二ニモ引上ツテ參リマシテ、

來年度カラハ相當一部ニ付キマシテハ平均單價等モ高ク致シテ居リマス、ソレデ是ハ今日ノヤウナ狀態デ官吏ノ待遇ヲ上ゲルト云フヤウナコトハ是ハ自肅自戒シナケレバナラスヤウナ時デアリマスノデ、私共モ餘リ財務當局ニ猛烈ニ是ガ運動ヲスルト云フ譯ニモ行カナイヤウナ情勢ニアリマスノデ、實情ハ御注意ノ通りデアリマスカラ、今後ハ更ニ是ガ待遇改善ニハ努力シタイト思ツテ居リマス

○川俣委員 私ハ決シテ御世辭言フノデナク、實際技手ヤ、屬、雇員ノ人々ガ山ヘ入ツテ居ツテ相當ニ苦勞ラシテ居ルノデアアル、日本ノ天候ハ決シテ氣象觀測所ニ依ツテ報告セラルル通り必ズシモ天氣豫報ガ當ニナラスト同ジヤウニ、相當ニ危險ガ多イノデゴザイマシテ、隨テ相當ノ待遇ヲ與ヘツツ、本當ニ現場ニ在ル者ノ指導其ノ宜シキヲ得ナケレバ、是ハ法律ガ出來タ所デ其ノ成績ハ擧ラス、今ノ所ハ實際ノ指導ニ當ル所ノ技術員ガ比較的居ラナイノデアリマシテ、サウ云フ所謂地方ノ營林署、或ハ擔當區域ニ於ケル此ノ人々ノ御世話ニナル點ガ多大ニアルト思ヒマスカラ、サウ云フ人々ノ待遇ヲ好クシテ置カナケレバ、優秀ナル技術員ヲ得ラナイ結果ニナル、結局施業

案ト云フモノガ計畫倒レニ終ル虞ガアルノデハナイカトモ思ハレマス、是ハ單ナルオ世辭デナク、本當ノ意味デ私共申上ゲルノデアリマスカラ、特ニ御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

次ニ御尋致シタイノハ、是モ地方カラ言ヘバ非常ニ有難イコトニナツテ居リマスケレドモ、其ノ結果ハ必ズシモ有難クナイコトニナルノデアリマス、所謂國有林野ノ採草地、或ハ放牧地トシテノ限定地ガ不要存置國有林トシテ時々緣故特賣ヲ受ケマスガ、是ハ非常ニ地方民ガ有難イ恩惠デアルト言ツテ喜ンデ居ルノデアリマス、其ノ特賣ノ方法ガ決シテ惡イト云フコトデモナシ、非常ニ結構ダト思フノデアリマスガ、是ハ五年經テ六年經ツテ見ルト、其ノ結果ハ必ズシモ良イトハ言ヘナイ、特賣ヲ受ケタ時ハ非常ニ有難イノデアリマスケレドモ、ソレガ何時ノ間ニカ個人ニ獨占サレテシマヒマシテ、寧ろ國有林トシテ採草地デアツタリ、放牧地デアツタリスル方ガ有難イノデス、貰ツタ時ハ金ガ入リマスケレドモ、結局ハ個人ニ集メラレテシマツテ、前ニアツタヨリモ惡イ結果ニナツテ居ルト云フコトヲ時々見受ケルノデアリマシテ、五年カ七年ノ間ハ宜イケレドモ、長イ間經ツ

トドウモ結果ガ惡イノデアリマス、是ハ日本ノ採草地域ハ放牧地ノ統一ノ上カラ言ツテモ——餘リ斯ウ云フコトヲ言フト山村民ニ甚ダ怒ラレル虞ガアリマスガ、是ハ本當カラ言フナラバ、採草地ヤ放牧地ノ不要存置國有林ヲ特賣サレルコトハ如何ト思フノデス、是等モヤハリ存置サレテ、寧ろ地方山村民ノ經濟的更生ノ途ヲ圖ツテ下サル方ガ、本當ニ親切ノヤウニ私ハ考ヘテ居ルノデスガ、如何デアリマスカ

○村上政府委員 私モ大體同感デゴザイマシテ、地方カラ不要存置等ハ賣拂ハナイデ、其ノ儘貸付ケテ置イデ貰ヒタイト云フ陳情モ屢アリマス、從來ノ例ニ徴シマシテモ、後デハソレガ個人ノ手ニ轉賣サレテシマツテ、コチカラ賣拂ヲ爲シタ目的ヲ達シナイト云フヤウナコトモアリマス、併シナガラ採草地モ放牧地モ、大體ハ今國有林ノ貸付料金ト云フノハ大抵極メテ低廉デアリマシテ、其處ノ地租ニモ當ラナイヤウナ安イ値段デ貸シテ居ルノデアリマスカラ、今後モ大體地籍ヲ國有林ガ持ツテ居ツテ、サウシテ貸スト云フヤウナ方針行クノガ宜イノデハナイカト思フノデアリマス、寧ろ不要存置等ハ之ヲ賣ルコトニ決定シテ居ル山林デアリマスカラ、地方カラ之ヲ拂下ゲテ

吳レト云フ強イ御要望ガアツタ時ニ、之ヲ拒絶スル譯ニモ行キマセスガ、併シ大體地籍ダケハ國有ニシテ、其ノ使用權ヲ地元ニ設定スルト云フ方針ガ、採草地デアツテモ放牧地デアツテモ外ノ方ノ植林地帶デアツテモ其ノ方ガ宜シイノデハナイカ、地籍ヲ離スト、往々ニシテ今川俣サシノ仰セノヤウナ弊ガ生ズルノデアリマス、今後ハ成ベクサウ云フ風ニシテ處理シテ行キタイト思ツテ居リマス

○伊藤委員 關聯シタ質問デスガ……

○小山委員長 關聯デスカ——伊藤君

○伊藤委員 只今ノ川俣君ノ御尋、同僚ノ議員デアリマスケレドモ、甚ダ吾々ノ考ヘテ居ル所ト違フコトヲ御尋サツテ、實ニ心外ニ堪ヘナイノデアリマス、私ハソレト反對ノ質問ヲ爲シタイ、吾々同僚ノ諸君カラ是非其ノ質問ヲシテ貰ヒタイト云フノデ、ソレト反對ノ質問ヲスル、詰リ寧ロ耕地ニ適當ナル國有林ハ拂下ヲシテ貰ヒタイト云フノガ吾々ノ要望デアル、放牧地モ亦ソレト同ジデアリマス、是ハ低廉ナル料金ヲ以テ拂下ガテ貰ヒタイト云フコトヲ要望シテ居ルノデアリマス、特ニ東北ハ御承知ノ通り、非常ニ國有林ガ多ク、軒下マデ國有林ニナツテ居ルノデアルカラ、何トカシテ低廉ナル料金ヲ以テ拂下ヲシテ貰ツテ、其處デ耕作ヲシテ食糧ノ自給ヲ圖ル、斯様ナコトヲ要望シテ居ルノデアリマス、即チ川俣君トハ吾々ハ全く違ツタ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、放牧地モ亦サウデアリマスサウ云フ不用地ハヤハリ拂下ヲシテ貰ツテ、個人ノ所有ニシテ、サウシテ相當ニ之ヲ開發スルト云フコト、是ハ普通吾々ガ心理的ニ考ヘテモ其ノ方ガ良イト思フ、土ヲ愛スル精神、是ハ自分ノ物ニナレバ尙ホ更之ヲ愛シテ行クコトハ人情デアリマス、サウ云フ點カラ考ヘテモ斯ウ云フ適地ハ安イ料金デ拂下ヲシテ、サウシテ東北或ハ其ノ他山間地方ノ窮乏ヲ救ツテヤルコトガ本當デハナカラウカト思フノデアリマス、山林局長ハ特ニ御承知ノコトト思ヒマスガ、吾々ノ東北地方ニ於テハ、山間デハ炭焼ヲヤツテ居ル、今日ハ國有林ノ拂下ヲ願ツテモ中中ヤツテ居ルナイ、ソシテ炭焼ノ資源ガナクナツテ居ルカラ、炭ヲ燒ク者ハ何トカ轉業シナケレバナラスヤウナ現狀ニナツテ居ル、而シテソレハ何ニ轉業スルカト云ヘバ、ヤハリ百姓ヲヤルヨリ外ハナイ、併シ百姓ヲヤルニモ土地ガナイ、ソコデ仕方ガナイカラ開墾適地ノ國有林ヲ何トカシテ拂下ガテ貰ツテ、之ヲ耕ス、サウシテ之ニ依ツテ

食糧ヲ拵ヘテ自給自足ノ生活ヲシタイト云フノガ、今日ノ東北民全部ノ要望デアリマス、斯ウヤツテ貰ツテ、初メテ今度ハ吾々が更生シテ行ケルノデアル、此ノ土地ヲ何時マデモ國ガ管理シ保管シタ儘吾々個人ニ與ヘナイト云フ、サウ云フ方法ヲ今後山林局長ガ御採リニナルト云フコトニハ吾々ハ反對デアル、是ハ寧ロ低廉ノ料金ヲ以テ民間ニ拂下ヲヤツテ貰ヒタイト云フノガ吾々ノ要望デアル、此ノ點ハ川俣君ノ考トモ全然違フノデアリマスカラ、此ノ吾々ノ要望ノアル點ヲ御聽取ノ上、然ルベク御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○小山委員長 御諮リ致シマス、只今ノ官有地拂下若クハ官有地利用ニ關スル川俣君ノ御質問、之ニ對スル政府當局ノ答辯、更ニ伊藤君ノ強キ希望ヲ含メタ御質問トハ微妙ナル關係ヲ持ツヤウデアリマスカラ、暫ク休憩スルコトニシテ、協議會デ御懇談ヲ願ヒタイト思ヒマス

午後三時四十七分休憩

午後三時五十六分開議

○小山委員長 ソレデハ再開致シマス——
山林局長

○村上政府委員 國有林地ニアリマシテモ、農業ニ適スル土地ハ之ヲ解放スルニ吝カデ

ナイノハ、昨日モ御答辯申上ゲタ通りデアリマス、殊ニ東北ノヤウニ地積ノ狭イ所ニ於キマシテハ、今後モ農耕適地ハ成ベク之ヲ解放スル方針ヲ採ツテ居リマス、サウシテ是等ハ所ノ事情ニ依リマシテ、或ハ全然離權致シマスルカ、或ハ國ガ所有權ダケヲ押ヘテ使用權ヲ設定スルカ、ソレハ所々ニ依リマシテ、土地ガ兼併デモサレサウナ所ハ、是ハ權利ノミ國ガ持ツテ居リマシテ貸付ヲ致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○伊藤委員 山林局長ノ御理解アル御答辯ヲ戴キマシテ洵ニ感謝致シマス、出來ルダケ澤山東北ノ窮乏農民ヲ救フ爲ニ農耕適地ノ國有林ヲ、拂下ガ、若クハ事情ニ依ツテハ貸付ケラレンコトヲ希望致シマシテ、私ノ質問ヲ終リマス

○小山委員長 川俣君

○川俣委員 私ノ質問ハマダアルノデアリマスガ、中田君ガ今日ノ内ニ御質問ナサリタイサウデアリマスカラ、政務次官ガ見えタクノデ、先程ノ問題ヲモウ一點ダケ繰返シテ御尋シテ、御譲リ致シタイト思ヒマス、先程交付金ノ問題ヲ御尋致シタイノデアリマスガ、山林局長カラハ非常ニ好意アル答辯ヲ得タノデアリマス、國有林野所在町村數ガ三千百餘アルト思ヒマスガ、交付金ヲ

受ケテ居ル町村ハ二千三百シカナイノデア
リマシテ、約八百ノ町村ガ交付金ヲ受ケテ
居ナイ状態ニナツテ居ルノデアリマス、是
ハ恐ラク此ノ數カラ見テ、保安林其ノ他ガ
含マレテ居リマス爲ニ、交付金ヲ受ケテ居
ナイ町村ガ八百ト云フ數字ガ出テ來タノデ
ハナイカト想像サレマスガ、公共ノ用ニ供
スル土地「即チ保安林其ノ他地租法第二條ノ
規定ニ依リ地租ヲ課セラレザルモノハ地方
交付金ハ無イノデアリマスカラ、之ニ當ル
モノデアラウト思ヒマスガ、其ノ中デ保安
林ハ除イテ戴キタイト思ヒマス、保安林ダ
ケハ地方ヘ交付シテ欲シイ、斯ウ云フ希望
ヲ申上ゲタ譯デアリマス、即チ先程申上
ゲタコトヲ繰返スヤウニナリマスガ、御承
知デセウケレドモ、保安林ト云フモノハ
五六町村、或ハ郡或ハ縣ノ水源地培養ノ爲
ニ必要ナモノガ保安林デアリマスカラ、其
ノ保安林ノ必要ナコトハ認メマス、所ガ其
ノ保安林ノ所在ガ或村ノ地域ニアルト云フ
コトデ、受ケル利益ハ五箇町村、六箇町村、
或ハ十箇町村ニナルニ拘ラズ、所在地ガ其
ノ町村ダト云フコトニ依ツテ、保安林ガアル
爲ニ其ノ町村ニ交付金ガナイノデアリマス、
全町村ニ割當テテナイト云フコトナラ別デ
アリマスガ、隣ノ町村ハ、保安林デナイ爲

ニ全部ノ國有林地ニ對シテ交付金ガアル、
其ノ保安林ノ恩惠ヲ受ケテ居ルニ拘ラズ、
自分ノ所有地内ニ保安林ガ無イト云フコト
ダ全額ノ交付金ヲ受ケル、或ル町村ハ自分
ノ所有地内ニ國有地ノ保安林ガアル爲ニ交
付金ヲ受ケテナイト云フヤウナ不公平ナ結果
ニ相成ルノデアリマシテ、ソレヲ縣ノ全體
カラ天引シテ、ソレダケ交付シナイト云フ
ナラ、マダシモデアリマスケレドモ、原則
ト致シマシテヤハリ保安林ノ必要ハ認メル
ノデアリマシテ、其ノ保安林ノ名前ヲ取ツ
タカラト云フコトニ依ツテ、國家ガ之ヲ濫
伐スルト云フコトモ考ヘラレナイノデアリ
マスカラ、保安林ハ保安林トシテ存置サレ
テモ結構デアリマスケレドモ、其ノ地租附
加税ニ當ル分ダケハ地方ニ交付スル、殊ニ
サウ云フ所ハ山村ノ奥地デアリマスカラ、
特ニ御配慮願ヒタイト思フノデアリマシテ、
其ノ點ニ付テ局長カラ明確ナ答辯ヲ得テ居
リマスケレドモ、政府次官カラモ一ツ言質
ヲ得タイト思ヒマス

○松村政府委員 ソレハ先程局長カラモ申
上ゲタコトト存ジマスガ、實際保安林ガ、
今御話ノヤウナ譯デ、之ニ對スル附加税、
其ノ他ノ課税ヲスルコトガ出來マセヌノデ、
町村トシテハ困リマス事情ハ、能ク分ツテ

居リマス、十分ニ考慮ヲ致シタイト思ヒマ
ス、同時ニ又此ノ法ガ出來マシテ、施行セ
ラレルコトニナリマス、保安林ノ中デモ
ドウシテモ必要ナモノハ、是ハ解除スルコ
トハ出來マセヌガ、大體斯ウ云フ施業案デ
モ立テテヤツテ行クコトニナリマシタナラ
バ、ソレニ類スル保安林ハ出來ルダケ致シ
タイト思ウテ居リマス、交付金ノコトハ能
ク考慮致ス積デアリマス

○川俣委員 私ノ質問ハ明日マデ保留致シ
マシテ、次ノ中田君ニ御譲リシタイト思ヒ
マス

○小山委員長 川俣君ノ質問ノ残りハ後廻
シニ致シマス、此ノ際中田君ノ發言ヲ許シ
マス

○中田委員 本法案ニ對スル重要事項ハ既
ニ論議シ盡サレタヤウナ感ジガスルノデア
リマスガ、私缺席勝デアリマシテ、或ハ質
問ガ重複スルカモ知レナイノデアリマスガ、
若シ速記録デ分ルト云フコトデアリマシタ
ナラバ、簡單ニソレヲ御答辯得タイト思ヒ
マス、第一ニ御同致シタイト思ヒマスノハ、
五十町歩以下ノ山地ニ對スル扱ヒハドウ云
フ風ニ御扱ヒニナルノデアリマスガ、之ヲ
簡單ニ言ツテ戴キタイ

○村上政府委員 森林組合ニ入レルコトニ

ナリマス

○中田委員 サウシマス、各町村ニハ必
ズ森林組合ヲ組織シナケレバナラスト云フ
コトニナルノデアリマスガ

○村上政府委員 各町村デアツテモ、其處
ニ森林面積ノ少イヤウナ町村ニハ、是ハ森
林組合ヲ作ル必要ハアリマセヌ、併シナガ
ラ相當纏ツタ森林、大體五百町歩以上モ一
町村ニ纏ツテアリマスレバ、散在シテアル
場合ハ必要アリマセヌガ纏ツテ五百町歩以
上ノ森林ガアリマス場合ニ於テハ森林組合
ヲ作ル

○中田委員 サウ致シマス、五百町歩以
上ノ集團シタ森林ガナカツタ場合ニハ、五
百町歩未滿ノモノハ何等施業案ノ必要ガナ
イト云フ結果ニナルト思ヒマスルガ、サウ
考ヘテ宜シウゴザイマスガ

○村上政府委員 御説ノ通りデアリマス

○中田委員 過日ノ本會議ニ於キマシテ軍
馬資源保護法案ノ上程サレマシタ際ニ同僚
ノ質問ニ對シテ、此ノ國有林ノ開放ニ付テ
意見ガアリマシタ、農林大臣ハ營林ニ差支
ナイ範圍ニ於テ開放スルト云フ御答辯ヲサ
レタノデアリマスガ、此ノ營林ニ差支ナイ
範圍ト云フコトヲ、モット具體的ニ此ノ際
山林局長カラ何カ農林省ニ御考ガアルナラ

バ承リタイト思ヒマス

○村上政府委員 營林ニ大ナル支障ナキ限リニ於テ國有林ノ開放ヲスル、斯ウ云フヤウニ御答辯申上ゲタト思ヒマス、現在ノ放牧地以外ニモ馬ノ放牧ニ適スル所モアリマス、斯ウ云フ所ニ付キマシテハ之ヲ馬ノ放牧地ニ委シテ、是ガ爲ニ治水其ノ他國土保安上支障ヲ來スヤウナコトノナイ所ニ付キマシテハ、國有林ニ付テモ適當ニ之ヲ開放スル、斯ウ云フ考デアリマス、日本ハ御承知ノ通り山勢ガ險峻デアリマスカラ莫大ナル所ノ無立木地ヲ新ニ造成致シマスと云フコトハ場合ニ依リマシテハ治水其ノ他ノ關係上非常ニ被害ヲ及ボスコトガアリマシテ、其ノ結果下流ノ田野ガ不毛ノ地ニ化スルト云フヤウナ、殊ニ洪水ヲ起スヤウナコトガアツテハイケマセスカラ、ソレ等ノ點ヲ十分ニ考慮致シマシテ、サウ云フ危險性ノナイ所ニ於テ放牧適地ガアリ、サウシテ是ガ居ル所ノ放牧頭數等ノ關係カラ見マシテ、尙ホ相當牧野ガ要ルト云フ場合ニ於テハ、國有林ニ於テモ相當好意的ニ處理スル、斯ウ云フ意味デアリマス

○中田委員 私ノ御尋致シテ居リマス點ハ、無立木地デナク、立木地帶デアリマシテ、之ニ馬若クハ牛ヲ放牧シテモ別ニ差支ナイ所

ガ國有林内ニハ相當アルト思フノデアリマス、現ニ秋田縣ノ毛馬内營林署ノ管内ニ於キマシテハ、是ハ或ル時期ニ試験ヲシタコトモアルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、山村ノ經濟事情ト致シマシテ、馬産若クハ牛ノ飼養ニ依ツテ經濟ヲ立テ行クト云フコトハ非常ニ重要ナコトデアリマス、ソレヲ行ハントシテ結局軒ノ先マデ國有林デアアル、國有林内ニ牛ガ一足入ツテモ、馬ガ一足入ツテモ非常ニ束縛ヲ受ケル、斯ウ云フヤウナ狀態デ、是等ノ飼養ニ依ツテ自分ノ經濟ガ非常ニ助カルト云フヤウナコトガ分ツテ居ツテモ出來ナイ事情ガアルノデアリマス、殊ニ東北地方ナドニ於キマシテハ此ノ點ハ多年山村ノ要望デアリマシテ、國有林内ノ牛馬ノ放牧ヲ許可シテ貰ヒタイト云フ熱烈ナル要望ヲ持ツテ居リマスガ、只今ノ局長ノ御答辯デハ無立木地帶ト云フ風ニ御解釋ニナツタヤウデアリマスガ、立木地帶ニ放牧ヲ許可スルト云フコトニ付テ御意見ヲ承リタイ

○村上政府委員 放牧限定地ニナリマスト大體立木ハ伐ラナケレバナラス、整理伐シテ、態々無立木地帶ニシナケレバナラス、サウ云フ所ニ付キマシテハ、是ハ相當私共ノ方デモ考慮致シマセヌト、無制限ニサウ云

フ所ヲ認メマスと、是ハ茫々漠々タル荒廢山地ガ出來マシテ、馬モ入ラズ造林モ出來ズト云フコトニナリマスノデ、餘程ソコニ營林ノ施行ニ支障ガナイ範圍ト云フコトニ付テハ考ヘナケレバナラス、ソコデ中田サシノ仰セラレ立木ヲ立テタ儘其處ニ牛ヤ馬ガ入ツテ混牧林野ノヤウナモノヲ考ヘタラドウカト云フ御考デアリマセウガ、是ハ牛等ニ付キマシテハ潤葉樹林等ニ付テハ大體ニ於テ差支ナイヤウデアリマス、現ニ中國地方ニ於テハサウシタコトヲ認メテ居ル所ガアリマス、東北地方ニ於テモ牛等ニ付テハ潤葉樹林等ニ付テハモウ少シ積極的ニ開放シテモ宜イデヤナイカ、馬ノ混牧林野ト云フコトモ、是ハドンナモノデスカ、私モマダ十分ニ研究シタコトガナイノデアリマスガ、是ハ私ハ研究シタコトハナイノデゴザイマスガ、此處ニ説明員ガ居リマスカラ、御許ヲ得マシテ御答辯申上ゲタイト思ヒマス

○小山委員長 太田農林技師

○太田説明員 御話ヲ受ケマシテ森林ノ放牧ノコトニ付テ一寸申上ゲマス、此ノ森林放牧ト云フコトハ昔カラ行ハレテ居ツタ例モゴザイマスケレドモ、植物ノ成育ト放牧ト云フコトハ兩立致シ難イ場合ガ多いノデ

アリマス、殊ニ飼料ノ問題ニナリマスと、家畜ノ種類ニ依リマシテ、只今山林局長カラ言ハレマシタヤウニ、牛ノ如キハ林内ニモ相當ノ食料ガゴザイマス、併シ馬ニナリマスと必ズシモサウ參リマセヌ、殊ニ優良馬ノ生産、其ノ優良馬ノ仔馬ノ發育ト云フコトニナリマスと、林内ノ飼料デハ到底十分デハナイノデアリマス、隨テ極ク特殊ノ場合ニ付キマシテ、牛ニ付テハ林内ノ放牧ガ可能ト存ジマスガ、馬ノ方ニ付キマシテハ可ナリ問題ガアラウト思フノデアリマス

○中田委員 此ノ國有林ノ官林ト云ヒマスカ、是ダケノ地域ガ放牧地トシテ國有林カラ開放サレルト云フヤウナ一ツノ基本的ナ御研究ハ今農林省ニ出來テ居リマスカドウデアリマスカ

○村上政府委員 一應出來テ居リマス、併シナガラ是ハ今度第二次馬政計畫ノ遂行ニ伴ヒマシテ現在ノ國有林ノ放牧採草地ニ付テハ再檢定ヲ致シタイト思ヒマス、其ノ結果ニ依ツテ所ニ依リマシテハ更ニ放牧採草地ヲ殖ヤスト云フコトモ考ヘテ居リマス、是ハ純然タル放牧採草地デアツテ、隨テ立木ガアリマシテモ伐ラネバナリマセヌ、サウ云フコトモ考ヘテ居リマス

○中田委員 其ノ御決定ハイツ頃ニナル御

見込デアリマス

○村上政府委員 大體此ノ四月カラ始メテ一年間ニ完了シタイト思ツテ居リマス

○中田委員 次ニ國有林ニ於ケル天然更新ノ問題デアリマス、現在國有林ニ於キマシテハ皆伐造林ノ方針デナク、擇伐天然更新ノ方針ヲ執ツテ居ルヤウニ、承知致シマスガ、此ノ天然更新ノ成績ハ、現在マデノ所如何デアリマス

○村上政府委員 秋田邊リノ天然ノ杉林ニ付キマシテハ昔ハ皆伐更新ノ制度ヲ執ツテ居リマシタガ、段々研究シマシタ結果、天然更新ニ致シテ擇伐ヲ致ス方ガ宜シト云フコトニナリマシテ、ソレニ依ツテ著々實行中デアリマス、大體ニ於テ其ノ方ガ宜シイト云フ信念ヲ更ニ深メツツアル次第デアリマス

○中田委員 只今局長ノ御答辯デハ天然更新ガ宜シイト云フコトノ信念ヲ深メツツアルト云フ御答辯デアリマスガ、是ハ素人ノ批評カモ知レマセスケレドモ、大體ノ私ノ地方ニ於キマシテハ、アノ天然更新ト云フモノハ大失敗ニ終ルデアラウ、是ハ今ノ學者ノ學理ニ依ツテノミ行ハレタコトデ、此ノ方針ヲ執ツテ行ツタナラバ、二十年、三十年ノ後ニハ國有林ガ坊主山ニナルノデハ

ナカラウカト云フコトヲ非常ニ心配シテ居リマスガ、其ノ可否ハ私素人デアリマスカラ申上ゲル根據ヲ持ツテ居ラスノデアリマスガ、大體ニ於テサウ云フヤウナコトヲ非常ニ心配シテ居ルノデアリマス、只今ノ局長ノ御答辯デアリマスト從來ノ成績ニ依ツテ非常ニ信念ヲ深メツツアルト云フコト、此ノ民間ノ心配ト云フモノトハ其處ニ全ク相容レナイ點ガアルト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ更ニ何カ御確信ノアル根據ガアリマシタナラバ承リタイ

○村上政府委員 東北ノヤウナ氣候ノ所ニ於キマシテハ大體ニ於テ皆伐ハ避ケナケレバナラナイト思ヒマス、皆伐致シマスルト往々ニシテ裸地ガ出來ル、裸地ニハ直グ熊笹ガ生エル、サウスルト稚樹ノ發生ヲ妨ゲルヤウナ形ニナリマスノデ、是ハ寧ロ擇伐致シマシテ林内ノ鬱蔽ヲ疎開セシメ、サウシテ相當太陽ノ光線ヲ林内ニ導入スルト云フ方針ニ依ツテ天然更新ニ依ル所ノ稚樹ノ生育ヲ促ス、斯ウ云フ方法ガ宜シイ、尤モ天然更新ハ相當難カシイ技術ガ要リマスカラ、擇伐ノ場合ニ於キマシテモドウ云フ木ヲ擇伐スルカ、擇伐ノ方法ガ惡イト天然更新デナク天然破壊ニナル、唯良イ木ダケ伐木スルト云フコトニナリマス、後ハ雜木バカ

リニナツテ惡イ所ガ出テ來ル、左様ナコトノナイヤウニ十分指導シテヤツテ居リマスカラ今後ハ次第ニ成績ガ擧ツテ來ル、斯ウ考ヘテ居リマス

○中田委員 只今局長ノ御答辯ニ依リマスト、天然更新ニ對シテハ非常ニ御確信ノアルヤウナ御答辯デアリマスガ、私ハ是レ以上論破スルダケノ根據ヲ持タナイノデアリマスカラ此ノ程度ニシテ止メマスガ、併シ現實ノ問題トシテハ、現地ニ於テハ相當心配シテ居ル、此ノ事實ダケハ御認メ願ヒタイト思ヒマス、確カニ只今申サレタヤウナ色々ナル理論ニ依ツテ此ノ天然更新ノ方針ガ執ラレタト聽イテ居リマス、併シ其ノ後ニ於ケル實績ヲ見マス、必ズシモ理論ニ副ハナイ點ガ多アル、是ハ一年二年デ直グ變改ノ出來ルモノナラバソレモ宜シイノデアリマスケレドモ、五十年百年ノ後ニ於テ其ノ結果ガ現ハレコトデアリマス、今回態、森林法ヲ改正サレルト云フコトモ治山、治水、又急激ニ増加致シマシタ木材資源ノ潤渴ニ對スル對策トシテ斯ウ云フ御提案ヲセラレタノデアリマス、其ノ點カラ致シマシテモ非常ニ重大ナル問題デアルト考ヘルノデアリマス、簡單ニ之ヲ御扱ヒニナラズニ、事實ニ付テ十分御調査アラント

切ニ御願スル次第デアリマス、地元ニ於テハ相當ニ對シテ心配ヲ致シテ居リマス

○村上政府委員 御親切ナル御忠言ヲ戴キマシテ、私共モ天然更新ト云フコトハ非常ニ難カシイ仕事デアリマスカラ、常ニ林地ヲ觀察シテ是ガ誤リナイヤウニシナケレバナラナイト思ヒマス此ノ天然更新ヲ誤リマシテ、其ノ爲ニ將來地元ノ方ニ洪水ヲ起スト云フヤウナコトニナレバ、責任重大ナルコトニナリマスノデ、ソレノナイヤウニ十分ヤツテ行キタイト考ヘテ居リマス

○中田委員 次ニ御伺シタイト思ヒマスガ、先日松浦君ノ公賣ニ關スル質問ニ對シマシテ局長ハ成ベク公賣ハ見合セル方針デアルト云フコトヲ御答辯ニナリマシタガ、サウシマスと公賣ニ依ラザル林產物處分ノ方法ハ主トシテドウ云フ方法ニ依ツテオヤリニナル御考デアルカ、此ノ點ヲ御伺シタイト思ヒマス

○村上政府委員 指名ニ依ル所ノ入札カ、或ハ隨意契約、此ノ二ツヲ執リタイト思ヒマス

○中田委員 此ノ時局下ニ於ケル物資ノ配給統制ニ對シマシテ、商工省方面デハ工業組合、商業組合ヲ組織サシテ色々物資ノ配給ヲヤラセル機關ニ致シテ居リマス、木材

業者モ現在ニ於キマシテ工業組合、商業組合等ヲ組織致シテ居ルモノガ澤山アリ、又現在非常ニ殖エテ居リマスガ、是等ノ組合ニ對シテドウ云フ御考ヲ持ツテ居リマスカ此ノ際承リタイト思ヒマス

○村上政府委員 公入札ヲ廢スルト致シマスレバ、木材業者ノ工業組合、商業組合ト云フヤウナ、サウ云フ結成シタ所ノ團體ヲ相手方ニ取引スルト云フコトニ立至ルノデハナイカ、目下サウ云フ點ニ付テ考究中デゴザイマス

○中田委員 次ニ國有林所在地交付金ノ問題デアリマス、是ハ既ニ前質問者ニ依ツテ數回質疑應答ガ重ネラレタ問題デアリマスガ、私カラモ簡單ニ御同致シタイト思フノデアリマス、現在國有林所在地ノ町村ガ交付金ヲ貰ツテ居ルノデ非常ニ財政上助ツテ感謝シ喜ンデ居ルノデアリマス、唯併シ府縣ニ對スル交付金ハ現在ニ於テハ東北ダケダト云フコトヲ先日承リマシタガ、此ノ府縣ニ對スル交付金ハヤハリ地租ヲ標準トシテ、地租ノ附加税ニ該當スルダケノ額デアリマスカドウデアリマスカ、此ノ點ヲ承リタイト思ヒマス

〔委員長退席、池田委員長代理著席〕
○村上政府委員 其ノ通りデアリマス

○中田委員 現在全山林ノ殆ド半分以上モ國有林デアルト云フ府縣ノ財政狀態ト云フモノハ非常ニ窮乏シテ居ルト云フコトハ事實デアルト私ハ考ヘマス、此ノ府縣ニ對シテ現在地租ニ該當スルダケノ交付金ヲ交付シタダケデハ、到底其ノ府縣ノ財政ノ窮乏ハ救ハレナイ、斯ウ考ヘル譯デアリマス、一方ニ於キマシテ國有林カラハ相當ノ國庫ノ收入トシテ收入ヲ擧ゲテ居ル譯デアリマシテ、僅カ三十八萬圓ヤ四十萬圓ノ交付金ヲ出シタダケデハ、大局カラ見マシテ甚ダ不合理ナコトデアルト私ハ考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ府縣ニ對スル國庫補助ヲ更ニ増額スルヤウナ御考ガナイカドウカ、此ノ點ヲ承リタイト思ヒマス

○村上政府委員 國有林ガ多イカラ府縣ノ財政ガ逼迫ヲ告ゲルトハ私ハ考ヘテ居リマセス、府縣ノ交付金ニ付キマシテハ今日ノ所、是レ以上増額スル考ハ持ツテ居リマセヌ

○中田委員 理論的ニ見マシテ、國有林ガ多クアルカラ財政ガ窮乏シテ居ルト云フコトハ、論理的ニ或ハ成立ツ問題デナイカモ知レマセヌガ、現實ノ問題トシテハ私ハサウ言ヒ得ルト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ之ニ對シテハヤハリ地租附加税ニ該當ス

ルダケノ交付金ヲヤツタダケデ宜イト云フコトハ、甚ダ當ヲ得ナイコトダト考ヘルノデアリマス、若シ國有林ガ民有林デアツタ場合ヲ假想致シマスナラバ、ソレハヤハリ各個人ノ所得ニナリマス、色々ナ形ニ於テ負擔力ガソコニ生ジテ來ルノデアリマス、國有林デアアルガ故ニ、僅ニ其ノ附加税ダケヲ貰ツテ地元ガ我慢シナケレバナラス、斯ウ云フコトハ地元民トシテハ洵ニ堪ヘ得ナイ事實ナノデアリマス、現在ノ趨勢カラ致シマシテ益、富ハ大都市ニ集中シテ此ノ國有林ノ多クアル地方ト云フヤウナモノハ窮乏ノドン底ニ落チテ行ク、之ヲ緩和スル上カラ云ヒマシテモ、大局カラ見テ之ニ對シテヤハリ相當ノ額ノ交付金ヲ與ヘルト云フコトハ當然ダト思フノデアリマス、或ハ是ハ山林局長ニ要望スルト云フコトハ問題ガ少シ大キ過ギルコトデアツテ、政府全體ノ大キナ立場カラ論議セラルベキ問題デアルトモ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テハ更ニ一層御研究下サイマシテ、現状ヲ能ク御考ヘ下サレテ、出來得ルダケ此ノ交付金ヲ増額セラレルヤウニ御盡力ヲ御願致シタイト思フノデアリマス

シテ、種苗ト云フモノハ或ル程度取締ヲ受ケ、之ニ對スル不安ガ除去サレル結果ニナルト思フノデアリマス、從來官有林ニ於キマシテハ、官有種苗圃ト云フモノガ相當アルノデアリマスガ、此ノ官有種苗圃ガアル爲ニ、民間ノ種苗業者ガモツト經濟的ニ確實ノ種苗ヲ供給スル力ヲ持ツテ居リマシテモ、其ノ販路ニ困ルヤウナ事實ガアリマシタガ、此ノ法案ノ制定ト共ニ、此ノ官有種苗圃ヲ縮小サレル御考ヲ持ツテ居ラスカドウカ伺ヒタイ

○村上政府委員 官有種苗圃ハ國有林竝ニ官行造林ノ造林ニダケ充テルモノデアリマシテ、之ヲ縮小致シマス、民間業者ノ方カラ買入レナケレバナラスノデアリマス、サウスルト事業計畫上場合ニ依ツテ甚ダ支障ヲ來シマスカラ、今ノ官有種苗圃ヲ縮小スルコトハ困難デアルト考ヘマス

○中田委員 將來民間ノ種苗業者ノ力ガ十分出來マシテ、不安ノナイ程度ニ發達致シマシタナラバ、漸次此ノ官有種苗圃ト云フモノモ縮小セラレテ來ルコトニナルト考ヘマスガ、其ノ點ニ付テハ將來御緩和ニナル御考ハナイカドウカ重ネテ伺ヒマス

○村上政府委員 現在ノ所デハ左様ナ考ヲ持ツテ居リマセヌ、併シ將來色々種苗業者

ガ發達シタ場合ニハ、更ニ其ノ場合ニ於テ篤ト考慮シタイト思ヒマス

○中田委員 私ノ質問ハ大體是デ打切ニ致シマス

○松尾(四)委員 先程政府委員ガ答ヘラレタ中ニ疑問ノ點ガアリマスノデ御伺致シマスガ、森林組合ヲ設置スル場合、五百町歩以上森林ガ集團シタ所ニハ森林組合ヲ設ケルガ、ソレ以下ノ所ニハ森林組合ヲ設ケナイト云フヤウニモ考ヘラレ、本法ヲ適用シナイト云フヤウニモ考ヘラレマスガ……

○村上政府委員 森林デアルカラ森林法ハ適用シマスガ、森林組合ハ設ケル必要ハナイ、斯ウ云フ譯デアリマス

○松尾(四)委員 現存ノ森林組合ハサウ大キナモノデハナイノデスガ、サウ云フモノハドウナリマセウカ、五百町歩以下ノモノモ相當アルト思ヒマスガ、現存ノモノハ勿論御認メニナルデアリマセウケレドモ、現存ノモノモ必要ナシトハツキリ言ハレルノカ、一寸ソコガ分リマセヌノデ……

○村上政府委員 勿論五百町歩以下ノ町村デアツテモ、御希望ニ依ツテ森林組合ヲ作ラレルコトハ宜シイノデアリマスガ、私共ノ方カラ設立ヲ慫慂スルノハ五百町歩以上ノ森林ノアル所ノ町村、斯ウ云フ譯デアリ

マス、ソレカラ現ニアリマス所ノ森林組合ハ此ノ附則ニモアリマスマヤウニ、五年間ニ組織ヲ改メテ、今度ノ森林組合ニ入レル、隨テ今一町村ニ三ツ四ツアリマスレバ、ソレガ一ツニ合併スルコトニナリマス、尤モ獨立シテヤルコトガ色々ナ關係カラ都合ガ好イト云フ場合ニハ特別ノ事情ガアルト認メマシテ、一町村ニ三ツ四ツアツテモ差支ナイト云フコトニナリマス

○池田委員長代理 本日ハ此ノ程度デ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ開會致シマス

午後四時三十分散會

昭和十四年二月十六日印刷

昭和十四年二月十七日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局